

CICS Transaction Server for z/
OSバージョン 5 リリース 6

CICSplex SM モニター・ビュー・リファ
レンス



注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、[製品の特記事項](#)に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM® CICS® Transaction Server for z/OS®, バージョン 5 リリース 6 (製品番号 5655-Y305655-BTA)、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典：

CICS Transaction Server for z/OS
Version 5 Release 5
CICSplex SM Monitor Views Reference

発行：

日本アイ・ビー・エム株式会社

担当：

トランスレーション・サービス・センター

© Copyright International Business Machines Corporation 1974, 2020.

目次

この PDF について.....	v
第 1 章 CICSplex SM モニター・ビューの概要.....	1
第 2 章 CICS モニター・ビュー.....	3
アクティブ・モニターの仕様 - POLMON.....	3
CICS 領域モニター・ビュー.....	3
DSA のモニター・データ - MCICSDSA.....	4
CICS 領域 - MCICSRGN.....	6
トランザクション・クラス - MTRANCLS.....	10
接続モニター・ビュー.....	12
ISC/MRO 接続 - MCONNECT.....	12
LU 6.2 モード名 - MMODNAME.....	15
DB2 モニター・ビュー.....	16
スレッド - MDB2THRD.....	16
FEPI モニター・ビュー.....	18
接続 - MFEPICON.....	18
ファイル・モニター・ビュー.....	19
管理対象データ・テーブル - MCMDT.....	20
ローカル・ファイル - MLOCFILE.....	23
リモート・ファイル - MREMFIL.....	25
グローバル・リソース・モニター・ビュー.....	27
LSR プール・バッファ - MLSRPBUF.....	27
LSR プール - MLSRPOOL.....	28
区画内一時データ・キュー - MTDQGBL.....	31
一時記憶域 - MTSQGBL.....	33
ジャーナル・モニター・ビュー.....	36
ジャーナル - MJRNLNAM.....	36
プログラム・モニター・ビュー.....	37
プログラム - MPROGRAM.....	37
一時記憶域キュー・モニター・ビュー.....	39
一時記憶域 - MTSQGBL.....	39
端末モニター・ビュー.....	42
端末 - MTERMNL.....	42
トランザクション・モニター・ビュー.....	44
ローカルまたは動的 - MLOCTAN.....	44
リモート - MREMTAN.....	54
一時データ・キュー・モニター・ビュー.....	55
間接 - MINDTDQ.....	55
区画内 - MNTRATDQ.....	56
リモート - MREMTDQ.....	58
区画外 - MXTRATDQ.....	59
第 3 章 ヒストリー・ビュー.....	61
最近 - HTASK.....	61
タスク・ヒストリー・コレクション - MASHIST.....	85
CICSplex 認知の MAS - MAS.....	86
特記事項.....	97

索引.....	103
---------	-----

この PDF について

この PDF は、複数の CICS システムをモニターおよび制御するために使用できる CICSplex® SM WUI ビューのリファレンスです。

WUI ビューは、CICS リソースを制御するために使用する一連の操作ビュー と、これらの操作ビューとほぼ一致するリソースのモニター用のモニター・ビュー、そして CICSplex でアクティブになっている CICSplex SM 定義を管理するために使用する定義ビュー などからなります。

モニター・ビューおよびヒストリー・ビューのコマンドについては、この PDF で説明しています。

操作ビューのコマンドについては、*CICSplex SM Operations Views Reference* で説明しています。

CICSplex SM 定義については、以下の資料を参照してください。

- *CICSplex SM Managing Workloads*
- *CICSplex SM Managing Resource Use*
- *CICSplex SM Managing Business Applications*

WUI のビューには、EYUSTARTobject という名前が付いています。ここで、*object* は管理対象リソースの名前です。CICSplex SM WUI の使用に関するガイドラインは、*CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース・ガイド*に記載されています。CICSplex SM 環境の CMAS 構成およびトポロジーを定義するために使用するビューについては、*CICSplex SM Administration* で説明されています。

本書で使用している用語や表記の詳細については、IBM Knowledge Center の [CICS 資料で使用されている表記規則および用語](#)を参照してください。

この PDF の日付

この PDF の作成日は 2020 年 5 月 28 日です。

第 1 章 CICSplex SM モニター・ビューの概要

CICSplex SM モニター・ビューは、リソースのモニターが要求されている CICS リソースの単一システム・イメージを提供します。

注:

1. モニター・データは、CICSplex SM によって現在モニターされているリソースについてのみ使用可能です。モニター対象のリソースの定義については、[リソース・モニターの属性の定義](#)を参照してください。
2. Windows の CICS を実行中のシステムの場合、モニター・データは使用できません。

モニター・ビューは、以下の 2 つのタイプの情報を提供します。

- CICS COLLECT STATISTICS データ
- CICSplex SM 派生データ

派生データとは

派生データとは、CICSplex SM が CICS 統計を処理してレート、平均、およびパーセンテージを生成した結果です。これらの値は、以下の 2 つの異なる期間の値として報告されます。

- サンプル間隔。リソースのデータが収集される期間です。リソース・モニターをセットアップする際に、サンプル間隔でデータを収集する頻度を指定します。モニターが開始されると、最初の完全なサンプル間隔の終了時にデータが表示されます。
- モニター間隔。サンプル間隔からのデータを累積および平均する期間です。モニター間隔の終了時に、CICSplex SM 統計カウンターは自動的にリセットされます。

モニター・ビューの派生値は、以下のいずれかで始まるフィールド名の下に表示されます。

CS または CURR

現在のサンプル。この値は、最後のサンプル間隔中に収集されたデータを反映します。

MI または INTV

モニター間隔。この値は、モニター間隔でこれまでに累積されたデータを反映します。

総称名のサポート

CICSplex SM は、そのコマンドの多くにおいて総称名の使用をサポートします。例えば、名前が文字「DNW」で始まるすべてのトランザクションが 300 秒ごとに 1 度モニターされるように指定できます。各トランザクションを個別に指定する必要はありません。

総称名の使用に適用される規則は、以下のとおりです。

- 1 つ以上の文字の代わりにアスタリスク文字 (*) を使用できます。この文字は、名前の中で 1 度だけ使用でき、部分的なストリングの末尾で使用する必要があります。例えばストリング「DNW*」は、文字 DNW で始まるすべての名前という意味です。
- 任意の単一文字を正符号 (+) に置き換えることができ、名前の任意の位置で使用できます。例えば「DNW+++L」は、文字 DNW で始まり文字 L で終わる 7 文字の任意の名前という意味です。

CICS リリースでの可用性

一部のビュー、アクション、またはフィールドは、サポートされているすべての CICS リリースで使用可能なわけではありません。可用性の情報は、ビュー、アクション・コマンド、およびフィールドに関するオンライン・ヘルプでも提供しています。

ビューを表示するときに、そのビューを使用できない CICS リリースを実行中のシステムが CICSplex に組み込まれている場合、そのビューに、これらのシステムは表示されません。CICS システムが実行中の CICS

リリースでは使用できないアクションまたはフィールドをクリックすると、以下のメッセージが表示されます。

```
EYUEI0596E      Action 'action name' for 'sysname' not supported for  
                  this release of CICS
```

ここで、

アクション名

アクション名またはフィールド名です。

sysname

操作を試行した対象の CICS システムです。

第 2 章 CICS モニター・ビュー

このセクションでは、CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース (WUI) に用意されているモニター・ビューについて説明します。

アクティブ・モニターの仕様 - POLMON

アクティブ・モニターの仕様 (POLMON) ビューは、現行コンテキストとして識別される CICSplex に認識される CICS システムにインストールされたモニター仕様に関する情報を表示します。

提供されるビュー

提供されている POLMON ビューはありません。

アクション

表 1. POLMON ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DEACTIVATE	時間枠が定義されているアクティブ・モニターの仕様を非活動化します。定義の状況は「保留」に変更されます。
DISCARD	アクティブまたは保留になっているモニター定義を、それがインストールされている CICS システムから破棄します。

フィールド

表 2. POLMON ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
活動期間	ACTIVETIME	モニター仕様がアクティブになる時間枠。このフィールドがブランクの場合は、モニター仕様がインストールされている CICS システムが稼働している限り、そのモニター仕様はアクティブのままです。
インクルード状況のモニター	INCLUDE	リソース名およびタイプ・フィールドで識別されるリソースが CICSplex SM モニターに含められるか除外されるかを示します。
定義名	NAME	モニター定義の名前。
リソース・クラスのモニター	RESCLASS	モニター・リソース・クラス。オプションは次のとおり: MCICS、MCONN、MGLBL、MDBX、MFILE、MJRNL、MPROG、MTDQS、MTERM、MTRAN。
リソース名のパターン	RESNAME	モニター定義が適用されるリソース (複数の場合あり) の名前。アスタリスク (*) または正符号 (+) を含む名前は総称名で、複数のリソースを表す場合があります。
リソース状況ファシリティーのモニター状況	RODMPOP	リソース名およびタイプ・フィールドで識別されるリソースが、リソース状況ファシリティーで識別され、モニターされるかどうかを示します。 入力値: YES NO
定義状況	STATUS	定義がアクティブか保留中かを示します。

CICS 領域モニター・ビュー

「CICS 領域モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の CICS システムに関する情報が表示されます。注: このモニター・データは、CICSplex SM によりモニターされる CICS システムにのみ使用可能です。MTRNCLS ビューの情報は、グローバル・リソースがモニターされる CICS システムにのみ使用可能です。

DSA のモニター・データ - MCICSDSA

「モニター動的ストレージ域」(MCICSDSA) ビューには、モニター対象の CICS システム内の動的ストレージ域 (DSA) に関する一般情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > **CICS 領域モニター・ビュー** > **DSA のモニター・データ**

表 3. 提供されている「DSA のモニター・データ」(MCICSDSA) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
DSA のモニター・データ EYUSTARTMCICSDSA.DETAILED	選択した動的ストレージ域に関する詳細情報
DSA のモニター・データ EYUSTARTMCICSDSA.DISCARD	現行サンプル間隔でモニターから DSA を除去し、その累積統計を破棄します。
DSA のモニター・データ EYUSTARTMCICSDSA.RESET	すべてのモニター・インスタンス属性をリセットします。
DSA のモニター・データ EYUSTARTMCICSDSA.TABULAR	各モニター対象 CICS システムでの動的ストレージ域 (DSA) に関するテーブル形式の情報

アクション

表 4. MCICSDSA ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル間隔でモニターから DSA を除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	すべてのモニター・インスタンス属性をリセットします。

フィールド

表 5. MCICSDSA ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
ストレージ・キー	ACCESSTYPE	この動的ストレージ域のアクセスのタイプ (CICS、USER、または READONLY)。ストレージ保護がアクティブではない場合、ERDSA 内のストレージ域を除くすべてのストレージ域のアクセス・タイプは CICS になります。
サブプールの追加要求数	ASUBTOTL	この動的ストレージ域からドメインまたはタスク・サブプールを作成する要求の数。
共通サブスペース・ユーザーの累計数	CUMCMNSSUSRS	共通サブスペース・ユーザーの累計数。
固有サブスペース・ユーザーの累計数	CUMUNQSSUSRS	この CICS の実行のための固有サブスペース・ユーザー要求の累計数。
共通サブスペース・ユーザーの現行数	CURCMNSSUSRS	共通サブスペース・ユーザー要求の現在の数。
現行サンプルのフリー・ストレージ (%)	CURFRESTDG	最後のサンプル期間中の、この動的ストレージ域でのフリー・ストレージのパーセンテージ。このフィールドは GCDSA には適用されません。
16MB 境界以上 / 以下で割り振られた現在の DSA	CURRALLOC	現在の DSA サイズ (バイト単位で表される)。
固有サブスペースに割り振られた現在のタスク数	CURUNQSSUSRS	固有のサブスペース・ユーザー要求の現在の数。

表 5. MCICSDSA ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
クッション・サイズ	CUSHION	この動的ストレージ域のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことで、
サブプールの削除要求数	DSUBTOTL	この動的ストレージ域からドメインまたはタスク・サブプールを削除する要求の数。
FREEMAIN 要求数	FREMTOTL	この動的ストレージ域からの FREEMAIN 要求の数。
GETMAIN 要求数	GETMTOTL	この動的ストレージ域からの GETMAIN 要求数。
16M 境界以上 / 以下で割り振られたピークの DSA	HWMALLOC	このサブプールのストレージ要件をサポートするために割り当てられるピーク・ページ・ストレージを含みます。
共通サブスペース・ユーザーのピーク数	HWMCMNSSUSRS	任意の一時点に行われた共通サブスペース・ユーザー要求の最大数。
使用可能フリー・ストレージのピーク・サイズ	HWMFREE	この CICS 実行用に空いていたストレージの最大容量。このフィールドは GCDSA には適用されません。
固有サブスペース・ユーザーのピーク数	HWMUNQSSUSRS	任意の一時点に行われた固有のサブスペース・ユーザー要求の最大数。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
モニター間隔のフリー・ストレージ (%)	INTFREESTG	モニター・インターバルにおけるこの動的ストレージ域でのフリー・ストレージの平均パーセンテージ。このフィールドは GCDSA には適用されません。
DSA の最大サイズ	LIMIT	バイト総数で示したストレージの最大容量。その範囲内で、CICS は 16 M 境界より下にある個々の 4 つの DSA にストレージを動的に割り振ることができます。
動的ストレージ域 (DSA) の位置	LOCATION	この動的ストレージ域が 16 MB 境界より上と下の、どちらにあるかを示します。GCDSA の場合、この値は NOTAPPLIC です。
使用可能フリー・ストレージの最小サイズ	LWMFREE	この CICS 実行用に空いていたストレージの最小容量。このフィールドは GCDSA には適用されません。
動的ストレージ域 (DSA)	NAME	動的ストレージ域の名前。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • CDSA、UDSA、ECDSA、EUDSA、ERDSA • RDSA、SDSA、ESDSA、GCDSA
NOSTORAGE が戻された回数	NSTGTOTL	SUSPEND(NO) を指定した GETMAIN 要求がストレージ不足状態を返した回数。
現在一時停止中のストレージ要求数	NSTGTSUSP	ストレージ不足のために現在一時停止されている GETMAIN 要求数。
使用可能合計ストレージのパーセント	PCTFREE	DSA の合計スペースの使用可能パーセント。この値は、DSA または EDSA 制限サイズ値から計算されます。
不使用プログラムが占有するストレージ	PGMONIU	この動的ストレージ域内で、不使用 (NIU) プログラムによって占められているストレージ量。
使用可能プール・ストレージのパーセント	POOLPCTFREE	16 M 境界を超えた、または 16 M 未満で割り振られたすべての DSA プールからの使用可能なスペース。
MVS ストレージ待ちの原因となった要求数	REQSWAITMVS	待機の原因となった MVS ストレージの要求数。
再入可能プログラム保護状況	RNTPGPROTECT	CICS のこの実行に対して再入可能プログラム保護が選択されたかどうかを指定します。これにより CICS ロード済みプログラムは直接書き込みを受けないよう保護されます。
DSA サイズ	SIZE	動的ストレージ域のサイズ (バイト単位)。
クッションの解放回数	STGCRELC	GETMAIN 要求によってストレージ・クッションがリリースされる回数。クッションは、フリー・ページ数が、クッション内のページ数を下回った時点で、解放されたと見なされます。
フリー・ストレージ・サイズ	STGFSIZE	この動的ストレージ域内の、クッションを含めたフリー・ストレージ量。このフィールドは GCDSA には適用されません。

表 5. MCICSDSA ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
DSA のピーク・サイズ	STGHWWM	DSA のピーク・サイズ。
最大フリー域サイズ	STGLSIZE	この動的ストレージ域内で最大の連続フリー域の長さ (バイト単位)。このフィールドは GCDSA には適用されません。
現行サブプール数	STGNSUBP	この動的ストレージ域内の現在のドメインまたはタスク・サブプール数。
ストレージ保護アクティブ	STGPROTECT	この CICS システムの実行に「ストレージ保護」オプションが選択されたかどうかを指定します。ストレージ保護がアクティブな場合、CICS ではシステム定義およびリソース定義で指定されたストレージおよび実行キーを監視します。
待機中にパージされたタスク数	STGPWCNT	ストレージ不足が原因で一時停止されていたときにパージされた GETMAIN 要求数。
一時停止中のストレージ要求のピーク数	STGSHWM	任意の時点で、ストレージ不足が原因で一時停止された GETMAIN 要求の最大数。
ストレージ不足カウント	STGSOSC	この動的ストレージ域で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。SOS は、クッションが現在使用中であるか、またはストレージのために少なくとも 1 つのタスクが一時停止していることのいずれかを意味します。
CICS がストレージ不足になった合計時間	STGSOST	この動的ストレージ域で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。SOS とは、クッションが現在使用中であること、またはストレージのために一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、あるいはその両方が生じていることを表します。
要求が一時停止された回数	STGSTOTL	ストレージ不足のために SUSPEND(YES) を指定した GETMAIN 要求が一時停止した回数。
ストレージの侵害回数	STGVTOTL	この動的ストレージ域で記録された記憶保護違反の数。
MVS ストレージ待ちの合計時間	TIMWAITMVS	この動的ストレージ域で CICS がストレージを待機した時間の合計。
トランザクション分離状況	TRNISOLATION	EXECKEY(USER) によって定義されたプログラムのストレージが、タスクの存続期間、その他の EXECKEY(USER) プログラムから保護されているかどうかを示します。

CICS 領域 - MCICSRGN

「**CICS 領域のモニター・データ**」(MCICSRGN) ビューには、モニター対象の CICS システムに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**モニター・ビュー**」 > 「**CICS 領域モニター・ビュー**」 > 「**CICS 領域**」

表 6. 提供されている「 CICS 領域のモニター・データ 」(MCICSRGN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
CICS 領域のモニター・データ EYUSTARTMCICSRGN.DETAIL1	選択した CICS システムに関する詳細情報
CICS 領域のモニター・データ EYUSTARTMCICSRGN.DETAILED	選択した CICS システムに関する詳細情報
CICS 領域のモニター・データ EYUSTARTMCICSRGN.DISCARD	現行サンプル期間で CICSplex SM モニターから CICS システムを除去し、その累積統計を破棄します。
CICS 領域のモニター・データ EYUSTARTMCICSRGN.RESET	CICS システムに関連付けられている CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

表 6. 提供されている「CICS 領域のモニター・データ」(MCICSRGN) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
CICS 領域のモニター・データ EYUSTARTMCICSRGN.TABULAR	モニター対象の CICS システムに関するテーブル形式の情報

アクション

表 7. MCICSRGN ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル期間で CICSplex SM モニターから CICS システムを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	CICS システムに関連付けられている CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 8. MCICSRGN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
自動インストールの現行要求数	AINSCREQ	現在処理中の自動インストール要求数。
自動インストール要求の最大数	AINSMREQ	一時点でキューに入れることのできる自動インストール要求の最大数。
自動インストール使用可能状況	AINSSTAT	自動インストール処理の状況 (ENABLED または DISABLED)。
アクティブ・タスクの最大数	AMAXTASKS	アクティブ・タスクの最大数。
CICS 状況	CICSSTATUS	この CICS システムの現在の状況。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> STARTUP - CICS システムは開始されています。 ACTIVE - CICS システムはアクティブです。 FIRSTQUIESCE - CICS システムは終了処理を開始しました。 FINALQUIESCE - CICS システムは終了の最終段階にあります。
合計 CPU 使用時間	CPUTIME	現行モニター間隔の開始以降、この CICS システムが使用した合計 CPU 時間 (秒)。
CICS Transaction Server レベル	CTSLEVEL	この CICS システムが実行している CICS Transaction Server のレベル。
現在アクティブなユーザー・トランザクション数	CURACTVUSRTR	現在トランザクション・クラスでアクティブなユーザー・トランザクション数。
現行サンプルの AMAX 比率	CURAMAXRATE	現行サンプルの AMAX 比率
前回サンプル期間中の CPU 使用	CURCPUPER	前回サンプル期間中の、この CICS システムによる CPU 使用比率。
現行サンプルのピーク AMAX 比率	CURPAMAXRATE	現行サンプルのピーク AMAX 比率。
現行サンプルのページイン比率	CURPGIRATE	前回サンプル期間中の、この CICS システムによるページイン 要求比率。
現行サンプルのページアウト比率	CURPGORATE	前回サンプル期間中の、この CICS システムによるページアウト 要求比率。
現行サンプルのピーク・タスク比率	CURPTSKRATE	現行サンプルのピーク・タスク比率。
現在キューに入れられているユーザー・トランザクション数	CURQUEDUSRTR	現在トランザクション・クラスのキューに入れられているユーザー・トランザクション数。

表 8. MCICSRGN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
現在キューに入れられている トランザクションの待ち時間	CURQUETIME	現在トランザクション・クラスのキューに入れられているトランザク ションが待機するのに費やした時間。
ディスパッチに適格な現在の ユーザー・タスク数	CURRAMAX	ディスパッチングに 適格な現在のユーザー・タスク数。
現在のタスク数	CURRTASKS	システム内のアクティブなタスク (すべてのシステムおよびユーザー・タ スクを含む) の現行数。
現行サンプルの入出力開始比 率	CURSIORATE	前回サンプル期間中の、この CICS システムによる入出力開始 (SIO) 要求 比率。
現行サンプルのタスク比率	CURTASKRATE	前回サンプル期間中のシステムのタスク実行比率。
MVS タスク制御ブロック (TCB) 数	CUTCBCNT	この領域で CICS により接続されている MVS タスク制御ブロック (TCB) の数。
MVS ストレージ待ち時間の合 計	DSGTOTMT	MVS ストレージ待機に費やされた合計時間。
MVS ストレージ待ちの合計数	DSGTOTMW	使用可能な TCB がなく、かつ MVS ストレージ制約が原因で TCB を作成で きなかつたために待機している MVS ストレージ要求の合計数。
外部セキュリティ・マネー ジャー・オプション	EXTSEC	外部セキュリティ・マネージャー (ESM) がこのシステムでアクティブで あるかどうかを示します。
間隔の AMAX 比率	INTAMAXRATE	間隔の AMAX 比率。
モニター間隔における平均 CPU 使用	INTCPUPER	モニター間隔における、この CICS システムによる平均 CPU 使用比率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔のピーク AMAX 比率	INTPAMAXRATE	現行間隔のピーク AMAX 比率。
モニター間隔のページイン比 率	INTPGIRATE	モニター間隔における、この CICS システムによる平均ページイン要求比 率。
モニター間隔のページアウト 比率	INTPGORATE	モニター間隔における、この CICS システムによる平均ページアウト要求 比率。
間隔のピーク・タスク比率	INTPTSKRATE	間隔のピーク・タスク比率。
モニター間隔の入出力開始比 率	INTSIORATE	モニター間隔における、この CICS システムによる平均入出力開始 (SIO) 要求比率。
間隔のタスク比率	INTTASKRATE	モニター間隔におけるシステムの平均タスク実行比率。
前回の CPSM 統計リセット後 のトランザクション実行	INTVTRANS	前回の CPSM 統計リセット以降実行したタスク数。
領域間通信 (IRC) 状況	IRCSTAT	領域間通信 (IRC) 状況。OPEN、CLOSED、CLOSING、または IMMCLOSING
ジョブ名	JOBNAME	この CICS システムの MVS ジョブ名。
前回統計リセット時刻	LASTRESET	統計フィールドが最後にリセットされた時刻。これは現地時間で表示さ れます。
一時停止タスクのピーク数到 達回数	LOADHWMC	中断状態のタスク最大数に達した回数。
ロード要求待ちのピーク・タ スク数	LOADHWMW	中断状態になって、ローダー・ドメイン要求が満たされるのを待機するタ スクの一時点の最大数。
不使用キューにあるプログラ ム数	LOADPNIU	不使用 (NIU) キューにあるプログラム数。
ロード要求数	LOADREQS	DFHRPL ライブラリー連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロー ドするためにローダーが MVS LOAD 要求を発行した回数。
不使用キューからの再利用回 数	LOADRNIU	不使用 (NIU) キューから CICS が行った再利用回数。現在 NIU キューに あるプログラムに対して要求が発行されると、再利用が発生します。
合計ロード時間	LOADTIME	すべてのライブラリー・ロード要求にかかった時間。

表 8. MCICSRGN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
不使用プログラムの削除に要する合計時間	LOADTNIU	すべてのプログラムが不使用 (NIU) キューで費やした合計時間数。
合計ロード待ち時間	LOADWAIT	ローダー・ドメイン要求が満たされるのを待機するのに、中断状態のタスクが費やした合計時間。
ロード要求待ちのタスク数	LOADWCNT	中断状態になって、ローダー・ドメイン要求が満たされるのを強制的に待機させられているタスクの合計数。
現在ログオンされている LU 数	LUCURR	現在のセッションの論理装置数。
一時点ログオン LU 最大数	LUHWM	一時点でのセッションの論理装置最高数。
アクティブ・タスク、一時停止タスク合計の最大数	MAXTASKS	システム内で同時に許可されている、アクティブおよび中断状態の両方のタスクの最大数。
MAXTASK 限度に達した回数	MAXTRCNT	MAXTASK 限度に達した回数。
バッチ処理される MRO 要求数	MROBATCH	接続システムからの MRO 要求をいくつバッチ処理した後に、このシステムに通知を送るか。
MVS システム ID	MVSSYSID	この CICS が実行している MVS システムのシステム ID。
z/OS レベル	OSLEVEL	この CICS システムが実行しているマシン上で実行している z/OS オペレーティング・システムのレベル。このフィールドが使用可能な CICS を実行していて、MVS レベルが z/OS よりも小さい場合、このフィールドにはブランクが表示されます。
ページイン要求数	PAGEIN	現行モニター間隔の開始以降、この CICS によって行われたページイン要求数。
ページアウト要求数	PAGEOUT	現行モニター間隔の開始以降、この CICS によって行われたページアウト要求数。
ディスパッチに適格なユーザー・タスクのピーク数	PEAKAMAX	一時点で同時にディスパッチングに適格なユーザー・タスク数のピーク値。
システム内のピーク・タスク数	PEAKTASKS	一時点でシステムに同時に存在するタスク数のピーク値。
アクティブなユーザー・トランザクションのピーク数	PEKACTVUSRTR	一時点でトランザクション・クラスでアクティブなユーザー・トランザクション最高数。
キューに入れられたユーザー・トランザクションのピーク数	PEKQUEDUSRTR	一時点でトランザクション・クラスのキューに入れられるユーザー・トランザクション最高数。
最終リセット時刻	PLASTRESET	最終リセット時刻。これは現地時間で表示されます。
圧縮により削除されたプログラム数	PRGMRCMP	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) 機構によってストレージから除去されたプログラム・インスタンス数。
CICS システムによるプログラムの使用回数	PRGMUCNT	この CICS システムによるプログラムの使用回数。
現在のローダー待ち要求数	PRGMWAIT	ローダー・ドメイン要求が満たされるのを待機する間に中断している現在のタスク数。
プログラムの自動インストール試行回数	PROGAUTOATTM	プログラムの自動インストール試行回数。
プログラムの自動インストール試行の失敗回数	PROGAUTOFAIL	プログラムの自動インストール要求の失敗回数。
プログラムの自動インストール要求が拒否された回数	PROGAUTOXREJ	自動インストール・プログラム要求が拒否された回数。
持続セッションのエラー件数	PRSSERRORCNT	CICS が復元しようとしたとき、既にアンバインド済みだった持続セッション合計数。
CICS 持続セッションの照会数	PRSSINQCNT	CICS が INQUIRE OPTCD=PERSESS を発行した合計回数。
持続した VTAM セッション数	PRSSNIBCNT	持続した VTAM セッション合計数。
正常に復元された持続セッション数	PRSSOPNCNT	正常に復元した持続セッションの合計数。

表 8. MCICSRGN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
終了された持続セッション数	PRSSUNBNDCNT	終了した持続セッション数。
DFHRPL の再オープンおよびロード再試行の回数	RDEBRBLD	ローダーが LOAD 中にエクステンツ終了状態を受け取り、DFHRPL ライブラリーを正常にクローズして再オープンし、ロードを再試行した回数。
使用中の実記憶域	REALSTG	現在この CICS により使用中の実記憶域の 1 キロバイト単位のフレーム数。
CICS リリース	RELEASE	システムで実行する CICS のリリース。
システム・ダンプの抑止回数	SDMPSUPP	CICS またはユーザーによって要求され、以下のいずれかによって抑止されたシステム・ダンプの数。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザー出口 ・ ダンプ・テーブル ・ グローバル・システム・ダンプ抑止
システム・ダンプ実施回数	SDMPTOTL	CICS の現行の実行中にシステム全体が取得したシステム・ダンプ数。
I/O 要求数	SIORREQ	現行モニター間隔の開始以降、この CICS によって行われた入出力開始 (SIO) 要求の数。
CICS 開始時刻	STRTTIME	ディスパッチャーが開始した時刻。これはこの CICS の実行が開始した概算時刻と見なすことができます。これは現地時間で表示されます。
システム・ダンプ状況	SYSDUMP	CICS システム・ダンプを取ることがグローバルに抑止されているかどうかを示します。
CICS システム ID	SYSID	この CICS システムのシステム ID。
トランザクション・ダンプの抑止回数	TDMPSUPP	CICS またはユーザーによって要求され、以下のいずれかによって抑止されたトランザクション・ダンプの数。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザー出口 ・ ダンプ・テーブル
トランザクション・ダンプの実施回数	TDMPTOTL	CICS の現行の実行中にシステム全体が取得したトランザクション・ダンプ数。
アクティブなユーザー・トランザクションの合計数	TOTACTVUSRTR	トランザクション・クラスでアクティブなユーザー・トランザクションの合計数。
キューに入れられたユーザー・トランザクションの合計数	TOTDELYUSRTR	キューに入れられたユーザー・トランザクションの合計数。
合計タスク数	TOTLTASKS	CICS 実行開始以降システムで実行したタスク数。
キューに入れられたトランザクションの合計待ち時間	TOTQUETIME	トランザクション・クラスのキューに入れられたすべてのトランザクションが待機するのに費やした合計時間。
VTAM ACB の動的オープン回数	VTMACBDOPE	制御端末を通して VTAM アクセス制御ブロック (ACB) が開いた回数。VTAM が CICS より前に開始し、CICS 実行中にアクティブのままであれば、この値はゼロになります。
RPL 最大値に達した回数	VTMRPLMAX	RPL 通知値最大数に達した回数。
通知された VTAM RPL の最大数	VTMRPLPOST	端末管理の任意の 1 ディスパッチで VTAM により通知された、任意受け取り要求パラメーター・リスト (RPL) の最大数。
VTAM がストレージ不足状況になった回数	VTMSOSCNT	VTAM が一時的ストレージ不足状態になった回数。
CICS-VTAM 接続状況	VTMSTATUS	CICS と VTAM の間の接続の状況。

トランザクション・クラス - MTRANCLS

「トランザクション・クラスのモニター・データ」(MTRANCLS) ビューは、モニター対象 CICS システム内のトランザクション・クラスに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「CICS 領域モニター・ビュー」 > 「トランザクション・クラス」

表 9. 提供されている「トランザクション・クラスのモニター・データ」(MTRANCLS) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
トランザクション・クラスのモニター・データ EYUSTARTMTRANCLS.DETAILED	選択したトランザクション・クラスに関する詳細情報
トランザクション・クラスのモニター・データ EYUSTARTMTRANCLS.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからトランザクション・クラスを除去し、その累積統計を破棄します。
トランザクション・クラスのモニター・データ EYUSTARTMTRANCLS.RESET	トランザクション・クラスに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
トランザクション・クラスのモニター・データ EYUSTARTMTRANCLS.TABULAR	モニター対象 CICS システム内のトランザクション・クラスに関するテーブル形式の情報

アクション

表 10. MTRANCLS ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからトランザクション・クラスを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	トランザクション・クラスに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 11. MTRANCLS ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
キューに入った後受け入れのトランザクション数	ACCEPTAFTRQD	キューに入れられた後、実行することが許容されたトランザクションの数。
即時受け入れのトランザクション数	ACCEPTIMMED	即時に実行することが許容されているトランザクションの数。
クラス内で現在アクティブなトランザクション数	ACTIVE	クラス内で現在アクティブなトランザクションの総数。
アクティブなトランザクションのピーク数	ACTIVEPEAK	特定の時点でクラス内でアクティブであったトランザクションの最高数。
合計 接続要求数	ATTACHES	接続要求の総数。
現行トランザクションがキューにある合計時間	CURQUEDTIME	このクラス内で現行トランザクションがキューに入れられていた合計時間。
インストールされたトランザクション定義数	INSTALLDEFS	現在インストールされているトランザクション定義の総数。
クラス内の最大許容トランザクション数	MAXACTIVE	クラス内で同時に実行することが許されているトランザクションの最大数。
トランザクション・クラス	NAME	8 文字のトランザクション・クラス名。
しきい値到達のためページされたトランザクション数	PURGEIMMED	定義されたしきい値に達したためにページされたトランザクションの数。

表 11. MTRANCLS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ページしきい値	PURGETHRESH	キューに入れて最初のディスパッチを待機させることができる、このクラス内のトランザクションの最大数。キューがその PURGETHRESH 限度に達しているときに、発生したこのクラスのトランザクションはページされます。 キューのサイズが無制限の場合 (タスク生成に使用可能なストレージによるものを除く)、 NO が表示されます。
キューにある間にページされたトランザクション数	PURGEWHILEQD	このクラス内でキューに入れられている間にページされたトランザクションの数。
ページしきい値到達回数	PURGTHRTIMES	ページしきい値に達した回数。
現在キューにあるトランザクション数	QUEUED	現在キューの中で最初のディスパッチを待機しているトランザクションの数。キューイングは、アクティブ・タスク数が既に最大値になっているか、あるいは、システムにとっても最大値に到達しているか、いずれかの理由で発生します。
キューに入れられたトランザクションのピーク数	QUEUEDPEAK	特定の時点において、このクラスでキューに入れられていたトランザクションの最高数。
キューに入れられたトランザクションの合計時間	QUEUE TIME	このクラス内でトランザクションがキューに入れられていた合計時間。
最大アクティブ・トランザクション数到達回数	TIMESATMAX	このトランザクション・クラスが、その定義された最大値に達した回数。
キューに入れられた合計トランザクション数	TOTQUEDCNT	このクラス内でキューに入れられたトランザクションの総数。

接続モニター・ビュー

「接続モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内のシステム間連絡 (ISC) 接続、複数領域操作 (MRO) 接続、および LU 6.2 モード名に関する情報が示されます。注: このモニター・データは、接続が CICSplex SM によりモニターされる接続にのみ使用可能です。

ISC/MRO 接続 - MCONNECT

「ISC/MRO 接続のモニター・データ」(MCONNECT) ビューには、モニター対象の ISC 接続と MRO 接続に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「接続モニター・ビュー」 > 「ISC/MRO 接続」

表 12. 提供されている「ISC/MRO 接続のモニター・データ」(MCONNECT) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ISC/MRO 接続のモニター・データ EYUSTARTMCONNECT.DETAILED	選択した接続に関する詳細情報
ISC/MRO 接続のモニター・データ EYUSTARTMCONNECT.DISCARD	現行サンプル間隔で CICSplex SM モニターから接続を除去し、その累積統計を破棄します。
ISC/MRO 接続のモニター・データ EYUSTARTMCONNECT.RESET	接続に関連付けられている CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
ISC/MRO 接続のモニター・データ EYUSTARTMCONNECT.TABULAR	モニター対象の ISC および MRO の接続についての表示情報に関するテーブル形式の情報

アクション

表 13. MCONNECT ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル間隔で CICSplex SM モニターから接続を除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	接続に関連付けられている CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 14. MCONNECT ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
アクセス方式	ACCESSMETHOD	この接続に使用中のアクセス方式 (VTAM、IRC、INDIRECT、または XM)。
自動開始プログラム記述子 (AID) の数	AIDS	AID チェーン内の現在の自動開始プログラム記述子 (AID) の数。
割り振り要求の合計数	ALLOCATES	このシステムに対する割り振り要求の総数。
キュー限度 (QUEUELIMIT) の割り振り	ALLOCQLIMIT	CONNECTION 定義で指定された QUEUELIMIT パラメーターの値。この値に達した場合、割り振りキュー要求は拒否されます。CONNECTION の QUEUELIMIT が NO と定義される場合、N/A が表示されます。
基本セッションで満たされる ATI 数	ATISBPRI	1 次 (コンテンション敗者) セッションで満たされた ATI 要求の数。
2 次セッションで満たされる ATI 数	ATISBSEC	2 次 (コンテンション勝者) セッションで満たされた ATI 要求の数。
送られた送信権要求の合計数	BIDSENT	送信された送信権要求の合計数。
現在進行中の送信権要求数	CONCURBIDS	現在進行中の送信権要求数。
接続設定の現地時刻	CONNCREATIME	この接続が自動インストールされた現地時間。APPC 接続の場合にのみ値が表示されます。
接続削除の現地時刻	CONNDELETIME	この接続が削除された現地時間。自動インストールされ、暗黙的に削除された APPC 接続の場合にのみ値が表示されます。
接続状況	CONNSTATUS	<p>APPC または MRO のプロトコルを使用する接続では、接続状況は次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ACQUIRED - 接続は獲得されています。つまり、パートナー LU と連絡が取れ、初期 CNOS 交換が完了しました。 AVAILABLE - 接続は獲得されていますが、現在バインド済みセッションはありません。 FREEING - 接続を解放中です。 NOTAPPLIC - この接続は、CICS 間 MRO または APPC 接続ではありません。 OBTAINING - 接続を獲得中です。 RELEASED - 接続は解放済みです。
現行サンプルのファイル制御シップ比率	CURFCFSRATE	前回のサンプル期間中に機能シップ要求が発行された比率。
DL/I 機能のシップ数	DLIFUNCSHIP	機能シップのための DL/I 要求の数。
分散プログラム・リンク機能のシップ数	DPLFUNCSHIP	この接続経由で機能シップされた分散プログラム・リンク要求の数。
QUEUELIMIT 到達のため拒否された割り振り	EXIT_REJALLC	XZIQUE 出口により拒否された割り振りの数。
その他の障害のある割り振り要求数	FAILEDOTHERS	セッションが現在使用不可であることが原因で失敗した割り振り要求の数。
リンクに失敗した割り振り要求数	FAILINKALLOC	接続の解放、サービス休止、またはクローズされたモード・グループが原因で失敗した割り振り要求の数。
ファイル制御機能のシップ数	FCFUNCSHIP	機能シップのためのファイル制御要求の数。

表 14. MCONNECT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
接続設定の GMT 時刻	GMTCREATIME	この接続が自動インストールされたグリニッジ標準時。APPC 接続の場合にのみ値が表示されます。
接続削除の GMT 時刻	GMTDELETIME	この接続が削除されたグリニッジ標準時。自動インストールされ、暗黙的に削除された APPC 接続の場合にのみ値が表示されます。
間隔制御機能のシップ数	ICFUNCSHIP	機能シップのためのインターバル制御要求の数。
間隔 ID	INTERVALID	間隔の ID。
間隔のファイル制御シップ比率	INTFCFSRATE	モニター間隔において機能シップ要求が発行された平均比率。
同時送信権要求の最大数	MAXBIDS	特定の時点で進行中であった送信権要求の最大数。
使用中の基本セッションのピーク数	MAXPRIMARIES	特定の時点で使用されていた 1 次 (コンテンション敗者) セッションの最大数。
XZIQUE 出口ルーチンがバージした割り振り数	MAXQTALLCPRG	キュー処理時間が最大キュー時間値を超える可能性があったためにバージされた割り振りの数。
最大キュー時間	MAXQTIME	接続の QUEUELIMIT 値に達した場合に、割り振りキューの処理に充てられる秒単位の合計最大時間。割り振りキューの処理にこれよりも長い時間がかかる場合、キューはバージされます。
MAXQTIME 値による割り振りキューのバージ数	MAXQTPURGCNT	処理時間が最大キュー時間値を超える可能性があったために、割り振りキューがバージされた回数。
一時点使用中 2 次局のピーク数	MAXSECOND	特定の時点で使用されていた 2 次 (コンテンション勝者) セッションの最大数。
接続 ID	NAME	CICS システム定義 (CSD) データ・セットで定義された接続名。
ネット名	NETNAME	リモート・システムを VTAM ネットワークに識別させるための名前。
セッション待ちの AID 数	NONSPECAID	セッションが使用可能になるのを待機している自動開始プログラム記述子 (AID) の現行数。
未解決割り振り要求のピーク数	OUTSALLOC	このシステムについてキューに入れられた割り振り要求の最大数。
現在使用中の 1 次局の数	PRICURRUSED	MRO および LU6.1 接続の場合、この接続に現在使用中の MRO RECEIVE セッション数または LU6.1 1 次局数。
接続プロトコル	PROTOCOL	VTAM のアクセス方式による接続の場合、LU6.1 または APPC のどちらの SNA プロトコルが使用中か示します。値 NOTAPPLIC は、この接続が VTAM 接続でないことを意味します。
キューに入れられた割り振り要求数	QUEDALLOCATE	このシステムに対してキューに入れられた割り振り要求の現在の数。
定義された受信セッション数	RECEIVECOUNT	CONNECT レコードで定義された受信セッション数。
現在使用中の 2 次局の数	SECCURRUSED	MRO および LU6.1 接続の場合、この接続に現在使用中の MRO SEND セッション数または LU6.1 2 次局数。
定義された送信セッション数	SENDcount	CONNECT レコードで定義された送信セッション数。
サービス状況	SERVSTATUS	システムがデータを送受信できるかどうかを示します。次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • INSERVICE - 接続はサービス中です。システムはデータを送受信できます。 • OUTSERVICE - 接続はサービス中ではありません。システムはデータを送受信できません。 • GOINGOUT - 接続に関する OUTSERVICE 要求が発行されましたが、現在の作業がすべて完了するまで処理できません。
一時データ機能のシップ数	TDFUNCSHIP	機能シップのための一時データ要求の数。
端末共用要求の数	TERMSHAREREQ	トランザクション・ルーティング・コマンドの数。
合計機能シップ数	TOTFUNCSHIP	機能シップ要求の合計数。これにはファイル制御、間隔制御、一時データ、一時記憶域、DL/I および DPL の要求が含まれます。

表 14. MCONNECT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
一時記憶機能のシップ数	TSFUNCSHIP	機能シップのための一時記憶域要求の数。
接続タイプ	TYPE	接続のタイプ。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • INDIRECT - アクセス方式が間接の場合。 • LU61 - アクセス方式が VTAM でプロトコルが LU6.1 の場合。 • LU62 - アクセス方式が VTAM でプロトコルが APPC の場合。 • MRO - アクセス方式が IRC か XM のいずれかの場合。
XZIQUE 出口ルーチンが要求したキュー・ページ数	XZIQALLCPRG	キューのページを要求する XZIQUE 出口の結果としてページされた割り振りの数。
XZIQUE 出口ルーチンが拒否した割り振回数	XZIQPRGCNT	XZIQUE 出口により要求された割り振りキューのページの数。
予約スペース	XZIQREJS	この接続が出口による割り振りを拒否された回数。

LU 6.2 モード名 - MMODNAME

「LU 6.2 モード名のモニター・データ」(MMODNAME) ビューは、モニターされる LU 6.2 モード名に関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「接続モニター・ビュー」 > 「LU 6.2 モード名」

表 15. 提供されている「LU 6.2 モード名のモニター・データ」(MMODNAME) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
LU 6.2 モード名用のモニター・データ EYUSTARTMMODNAME.DETAILED	選択した LU 6.2 モードネームに関する詳細情報
LU 6.2 モード名用のモニター・データ EYUSTARTMMODNAME.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから LU 6.2 モードネームを除去し、その累積統計を破棄します。
LU 6.2 モード名用のモニター・データ EYUSTARTMMODNAME.RESET	LU 6.2 モードネームに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
LU 6.2 モード名用のモニター・データ EYUSTARTMMODNAME.TABULAR	モニター対象 LU 6.2 モードネームについての表示情報に関するテーブル形式の情報

アクション

表 16. MMODNAME ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから LU 6.2 モードネームを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	LU 6.2 モードネームに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 17. MMODNAME ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
接続名	CONNECTION	このセッションのグループに関連している接続の名前。

表 17. MMODNAME ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
接続状況	CONNSTATUS	<p>接続の状況。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ACQUIRED - 接続は獲得されています。つまり、パートナー LU と連絡が取れ、初期 CNOS 交換が完了しました。 • AVAILABLE - 接続は獲得されていますが、現在バインド済みセッションはありません。 • FREEING - 接続を解放中です。 • OBTAINING - 接続を獲得中です。 • RELEASED - 接続は解放済みです。
間隔 ID	INTERVALID	間隔の ID。
モード名	NAME	<p>特定の接続に定義されたセッションのグループの名前。接続にモードネームが定義されていない場合、このフィールドはブランクになります。</p> <p>注: このフィールドがブランクの場合、行コマンドを使用して、モード名に対してアクションを実行する必要があります。1 次アクション・コマンドは、パラメーターとして指定するモードネームがないため、無効です。</p>
アクティブ・セッション数	SESSACTV	このグループ内で現在使用中のセッションの数。
使用可能セッション数	SESSAVAIL	現在使用中のセッションおよび使用可能なセッションを含む、グループ内のバインドされたセッションの現行数。
最大セッション数	SESSMAX	このグループ内で一度にサポートされるセッションの最大数。
コンテンション勝者セッションの最大数	SESSMAXWIN	このグループ内でコンテンション勝者としてサポートできるセッションの最大数。

DB2 モニター・ビュー

「DB2 モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の DB2 スレッドに関する情報が表示されます。注: このモニター・データは、CICSplex SM によってモニターされている DB2 システムでのみ利用可能です。

スレッド - MDB2THRD

「**DB2 スレッドのモニター・データ**」(MDB2THRD) ビューは、DB2 DSNCRCCT テーブルに定義されているモニター対象の DB2 スレッドに関する情報を表示します。スレッドは初期トランザクション ID 順にリストされます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**モニター・ビュー**」 > 「**DB2 モニター・ビュー**」 > 「**スレッド**」

表 18. 提供されている「DB2 スレッドのモニター・データ」(MDB2THRD) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
DB2 スレッドのモニター・データ EYUSTARTMDB2THRD.DETAILED	選択した DB2 スレッドに関する詳細情報
DB2 スレッドのモニター・データ EYUSTARTMDB2THRD.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから DB2 スレッドを除去し、その累積統計を破棄します。
DB2 スレッドのモニター・データ EYUSTARTMDB2THRD.RESET	DB2 スレッドに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
DB2 スレッドのモニター・データ EYUSTARTMDB2THRD.TABULAR	モニター対象 DB2 スレッドについての表示情報に関するテーブル形式の情報

アクション

表 19. MDB2THRD ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから DB2 スレッドを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	DB2 スレッドに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 20. MDB2THRD ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
打ち切り回数	ABORTCNT	ロールバックされたりカバリー単位 (アペンドと同期点ロールバックの両方を含む) の数。このカウントが増分されるのは、コミット処理中に CICS がアポート呼び出しと共に DB2 を呼び出したときだけであり、他のタイプの DB2 アポートはカウントされません。
許可回数	AUTHCNT	この DSNCRCT 項目に対して実行された許可検査の数。
許可タイプ	AUTHTYPE	DSNCRCT 項目の最初の AUTH= サブパラメーターで定義されている、このトランザクションの許可のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> CHARSTR - 特定の文字ストリング N/A - 許可を判別できません RACFGID - RACF のユーザー ID とグループ名 SIGNID - CICS システム 許可 ID TERMID - 端末 ID TRANID - トランザクション ID USER - ユーザー・オペレーター ID (3 文字) USERID - サインオン・ユーザー ID (8 文字)
現在のスレッド数	CURTHREADS	この DSNCRCT 項目に現在定義されているスレッドの数。
現行サンプルの使用率	CURUSERATE	現行サンプルに基づく DB2 使用比率。
ディスパッチング・モード	DPMODE	DSNCRCT 項目の DPMODE= または DPMODI= パラメーターで指定されている、CICS に関連する接続サブタスクのディスパッチング 優先順位。 <ul style="list-style-type: none"> EQUAL - サブタスクは CICS と等しい優先順位が許可されている必要があります。 HIGH - サブタスクは CICS よりも高い優先順位を持つことができます。 LOW - サブタスクは CICS よりも低い優先順位を持つことになります。
初期トランザクション	INITTRAN	DSNCRCT 項目の TXID= パラメーターで指定されている、スレッド内の最初のトランザクションを示します。ここに示される値は、どの TYPE= ステートメントが使用されたかに依存します。 <ul style="list-style-type: none"> -CMD - TYPE=COMD -POL - TYPE=POOL tranid - TYPE=ENTRY
間隔 ID	INTERVALID	間隔の ID。
間隔の使用率	INTUSERATE	インターバルに基づく使用比率。
最大スレッド数	MAXTHREADS	THRDM= パラメーターで指定されている、この DSNCRCT 項目のスレッドの最大数。
DB2 サブシステム	NAME	このスレッドが所属する DB2 サブシステムの名前。
グループ内トランザクション数	OTHERIDS	DSNCRCT 項目の TXID= パラメーターで指定されている、他のトランザクションの数。

表 20. MDB2THRD ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
動的割り振りでない場合の計画名	PLANNAME	DSNCRCT 項目の PLAN= パラメーターで指定されている、このトランザクションに関連付けられたアプリケーション・プランの名前。 このフィールドがブランクの場合、プラン名は指定されていません。値が '*****' の場合、PLNEXIT=YES パラメーターが指定されていたのでプラン名が適用されないという意味になります。
動的計画割り振り出口ルーチン・プログラム	PLANPRGM	DSNCRCT 項目の PLANPGME= パラメーターで指定されている、このトランザクションの出口プログラムの名前。このフィールドがブランクの場合、出口プログラム名は指定されていません。
読み取り専用コミット回数	READCOMMIT	このスレッドに関連付けられたトランザクションのために処理された読み取り専用コミットの数。
ロールバック・オプション	ROLLBACKOPT	DSNCRCT 項目の ROLBE= または ROLBI= パラメーターで指定されている、このトランザクションのロールバック・オプション。 <ul style="list-style-type: none"> • YES - アプリケーションに制御を戻す前に同期点ロールバックが発行されます。 • NO - ロールバックは発行されません。
予約済みスレッド	RSVTHREADS	THRDS= パラメーターで指定されている、この DSNCRCT 項目に対する開始済みスレッド・サブタスクの数。
使用中のピーク・スレッド数	THREADHWM	THRDA= パラメーターで指定されている、この DSNCRCT 項目について接続機能が接続を許可しているスレッドの最大数。
スレッド待機数	THREADWAIT	このトランザクションがスレッドを待機しなかった回数。
スレッド待機オプション	THREADWOPT	TWAIT= または TWAITI= パラメーターで指定されている、この DSNCRCT 項目のスレッド待機オプション。この値は、すべてのスレッドが使用中のときにトランザクションがどのように応答するかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • YES - 現在の項目でスレッドを待機します。 • NO - アペンドを出して終了します。 • POOL - 次の使用可能なプール・スレッドを利用します。
計画使用回数	USECOUNT	指定されたプランが使用された回数。

FEPI モニター・ビュー

「フロントエンド・プログラミング・インターフェース」(FEPI) ビューには、現行内容および現行スコープ内にある FEPI 接続、ノード、プール、プロパティ・セット、およびターゲットに関する情報が表示されます。

接続 - MFEPICON

「**モニター FEPI 接続**」(MFEPICON) ビューは、モニター対象 CICS システム内のインストール済み FEPI 接続に関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**モニター・ビュー**」 > 「**FEPI モニター・ビュー**」 > 「**接続**」

表 21. 提供されている「 FEPI 接続のモニター・データ 」(MFEPICON) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
FEPI 接続のモニター・データ EYUSTARTMFEPICON.DETAILED	選択した FEPI 接続に関する詳細情報
FEPI 接続のモニター・データ EYUSTARTMFEPICON.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから FEPI 接続を除去し、その累積統計を破棄します。

表 21. 提供されている「FEPI 接続のモニター・データ」(MFEPICON) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
FEPI 接続のモニター・データ EYUSTARTMFEPICON.RESET	FEPI 接続に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
FEPI 接続のモニター・データ EYUSTARTMFEPICON.TABULAR	モニター対象 FEPI 接続についての表示情報に関するテーブル形式の情報

アクション

表 22. MFEPICON ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから FEPI 接続を除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	FEPI 接続に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 23. MFEPICON ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
獲得状況	ACQSTATUS	獲得の状態。すなわち、接続上のセッションがバインド済みかどうか (ACQUIRED、ACQUIRING、RELEASED、または RELEASING)。
獲得数	ACQUIRES	接続が獲得された回数。
受信文字数	CHARSRECVD	この接続で受信したデータの文字数。
送信文字数	CHARSENT	この接続で送信されたデータの文字数。
会話数	CONVERSATNS	接続を使用した会話の数。
現行サンプルの獲得比率	CSACQRATE	サンプル期間ごとの獲得の比率。
エラー状態数	ERRORS	この接続について発生した VTAM エラー状態の数。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
モニター間隔の獲得比率	MIACQRATE	モニター・インターバルごとの獲得の比率。
Node name (ノード名)	NODENAME	接続を識別するノード名。
プール名	POOLNAME	接続を識別するプールの名前。
受信タイムアウト数	RCVTIMEOUT	この接続上での FEPI 受信タイムアウトの回数。
接続サービス状態	SERVSTATUS	接続のサービス状態 (INSERVICE、OUTSERVICE、または GOINGOUT)。
会話状況	STATE	接続を使用する会話の状態 (NOCONV、PENDSTSN、STSN、PENDBEGIN、BEGINSESSION、APPLICATION、PENDDATA、PENDSTART、PENDFREE、FREE、PENDRELEASE、RELEASE、PENDUNSOL、UNSOLEDDATA、または PENDPASS)。
ターゲット名	TARGETNAME	接続を識別するターゲット名。
非請求入力数	UNSOLICINP	この接続で非送信請求入力を受信した回数。
接続待ちの会話数	WAITCONVNUM	接続を使用して開始するのを待っている会話の数。

ファイル・モニター・ビュー

「ファイル・モニター」ビューには、モニター対象のローカル・ファイルやリモート・ファイル、および CICS 保守またはユーザー保守のデータ・テーブルやカップリング・ファシリティ・データ・テーブルが関連付けられているモニター対象のファイルに関する情報が表示されます。注: このモニター・データは、CICSplex SM によりモニターされるファイルにのみ使用可能です。

管理対象データ・テーブル - MCMDT

「管理対象データ・テーブルのモニター・データ」(MCMDT) ビューは、CICS による保守またはユーザー保守のデータ・テーブル (あるいはそれらに関連付けられたカップリング・ファシリティ・データ・テーブル) を持つモニター対象ファイルに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「ファイル・モニター・ビュー」 > 「管理対象データ・テーブル」

表 24. 提供されている「管理対象データ・テーブルのモニター・データ」(MCMDT) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
管理対象データ・テーブルのモニター・データ EYUSTARTMCMDT.DETAIL1	関連データ・テーブルを持ったモニター対象ファイルに関する詳細テーブル情報
管理対象データ・テーブルのモニター・データ EYUSTARTMCMDT.DETAIL2	関連データ・テーブルを持ったモニター対象ファイルに関する詳細データ・セット情報
管理対象データ・テーブルのモニター・データ EYUSTARTMCMDT.DETAILED	関連データ・テーブルを持ったモニター対象ファイルに関する詳細情報
管理対象データ・テーブルのモニター・データ EYUSTARTMCMDT.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからデータ・テーブル・ファイルを除去し、その累積統計を破棄します。
管理対象データ・テーブルのモニター・データ EYUSTARTMCMDT.RESET	データ・テーブル・ファイルに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
管理対象データ・テーブルのモニター・データ EYUSTARTMCMDT.TABULAR	関連データ・テーブルを持ったモニター対象ファイルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 25. MCMDT ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからデータ・テーブル・ファイルを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	データ・テーブル・ファイルに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 26. MCMDT ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
追加要求数	ADDCNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された PUT 要求の数。
読み取りに起因する追加要求	ADDFRREAD	ロード・プロセスによって、あるいはロードの進行中に発行された読み取り要求の結果として、データ・テーブル・ファイルに入れられたレコード数。
出口ルーチンが拒否した追加要求	ADDREJ	CICS がデータ・テーブル・ファイルへの追加を試行し、グローバル・ユーザー出口によって拒否されたレコード数。
合計追加要求数	ADDREQ	書き込み要求の結果としてデータ・テーブル・ファイルへレコードの追加を試みた回数。
テーブル満杯時の追加要求数	ADDTFULL	CICS がデータ・テーブル・ファイルへの追加を試行し、テーブル内のレコードが許容される最大数に達しているために拒否されたレコード数。

表 26. MCMDT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ブラウズ要求数	BROWSECNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された GET NEXT および GET PREV 要求の数。
CFDT コンテンション回数	CONTENTION	データ・テーブルからの読み取りの結果として CFDT サーバー上で競合が発生した回数。
現行レコード・カウント	CURCOUNT	データ・テーブル・ファイル内の現在のレコード数。
現行サンプルの VSAM データ EXCP 比率	CURDEXCPRATE	前回のサンプル期間中のデータ・レコードの入出力操作率。
現行サンプルの VSAM 索引 EXCP 比率	CURIEXCPRATE	前回のサンプル期間中の索引レコードの入出力操作率。
現行サンプルの MDT 比率	CURMRQRATE	最後のサンプル期間中に、データ・テーブル・ファイルに対して発行された変更要求の比率。
現行サンプルの正常な読み取りの比率	CURREADRATE	最後のサンプル期間中に、データ・テーブル・ファイルからレコードが取り出された比率。
現行サンプルの要求比率	CURREQRATE	前回のサンプル期間における、データ・テーブル・ファイルに対する API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の発行率。
合計削除要求数	DELETEREQ	DELETE 要求の結果としてデータ・テーブル・ファイルからレコードの削除を試みた回数。
VSAM EXCP カウント・データ・コンポーネント	DEXPCNT	VSAM ファイルの場合、データ・レコードの入出力操作の数。
データ・セット名	DSNAME	データ・テーブル・ファイルに関連付けられたデータ・セットの 44 文字の名前。アクセス方式およびオペレーティング・システムに定義されているものです。
使用可能状況	ENABLESTATUS	<p>データ・テーブル・ファイルが、アプリケーション・プログラムからのアクセスに使用可能かどうかを示します。この状況は次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ENABLED - アクセス可能です。 • DISABLED - 使用不可コマンドの結果として、アクセスできません。 • DISABLING - 使用不可コマンドの後、まだアクセス中です。 • UNENABLED - クローズ・コマンドの結果として、アクセスできません。 • UNENABLING - ファイルのクローズ要求を受信しましたが、それ以前にファイルにアクセスしたタスクが実行中です。これらのタスクのファイル使用は完了できますが、新しいタスクによるアクセスはできません。
ファイル ID	FILE	ファイルの ID。
取得要求数	GETCNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された GET 要求の数。
更新取得要求数	GETUPDCNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された GET UPDATE 要求の数。
VSAM EXCP カウント INDX コンポーネント	IEXPCNT	VSAM ファイルの場合、索引レコードの入出力操作の数。
間隔の VSAM データ EXCP 比率	INTDEXCPRATE	モニター間隔におけるデータ・レコードの平均入出力操作率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔の VSAM 索引 EXCP 比率	INTIEXCPRATE	モニター間隔における索引レコードの平均入出力操作率。
間隔の MDT 比率	INTMRQRATE	モニター・インターバル全体で、データ・テーブル・ファイルに対して発行された変更要求の平均比率。
間隔の正常な読み取りの比率	INTREADRATE	モニター・インターバル全体で、データ・テーブル・ファイルからレコードが取り出された平均比率。
間隔の要求比率	INTREQRATE	モニター間隔における、データ・テーブル・ファイルに対する API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の平均発行率。

表 26. MCMDT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ローカル削除要求数	LOCDELCNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された DELETE 要求の数。
LSR プール番号	LSRPOOLID	ローカル共用リソース・プールの数。
テーブルが保持できる最大レコード数	MAXNUMRECS	データ・テーブル・ファイルが保持できるレコードの最大数。'NOLIMIT' という値は、最大値が設定されていないことを意味します。
最大テーブル・サイズ	MAXTSIZE	データ・テーブル・ファイル内のレコードの一時点最高数
アクティブなストリング数	NUMACTSTRING	現在アクティブな VSAM ストリングの数。
データ・バッファ数	NUMDATBUFF	データに割り振られたストレージ・バッファの数。
索引バッファ数	NUMINDEXBUFF	索引に割り振られたストレージ・バッファの数。
アクティブ・ストリングの待機数	NUMSTRINGWT	VSAM アクティブ・ストリング待ちの数。
オープン状況	OPENSTATUS	データ・テーブル・ファイルがオープン、クローズ、移行中のいずれであるかを示します。
CFDT プール名	POOLNAME	MVS カップリング・ファシリティ・データ・テーブル (CFDT) では、テーブルがそこで構成される CFDT プールの名前。
読み取り再試行	READRETRY	読み取り中に FOR によってテーブルが変更されたために、AOR が読み取りを再試行しなければならなかった回数。
正常な読み取り	READS	データ・テーブル・ファイルからのレコード取り出しの試行が成功した数。
テーブルになかった合計レコード数	RECNOTFND	データ・テーブル・ファイルでレコードが見つからなかったために、読み取り要求がソース・データ・セットに向けられた回数。
レコード・サイズ	RECORDSIZE	固定長レコードの場合、レコードの実際のサイズ。可変長レコードの場合、レコードの最大サイズ。
合計書き込み要求数	REWRITE	REWRITE 要求の結果としてデータ・テーブル・ファイル内でレコードの更新を試みた回数。
使用中ストレージ合計	STGALCINU	データ・テーブル・ファイル用に使用中のストレージの量 (キロバイト単位)。
割り振りストレージ合計	STGALCTOT	データ・テーブル・ファイルに割り振られたストレージの総量 (キロバイト単位)。
使用中データ・ストレージ	STGDTAINU	データ・テーブル・ファイルのレコード・データで使用中のストレージの量 (キロバイト単位)。
割り振りデータ・ストレージ	STGDTATOT	データ・テーブル・ファイルのレコード・データに割り振られたストレージの総量 (キロバイト単位)。
使用中エントリー・ストレージ	STGENTINU	データ・テーブル・ファイルのレコード入力ブロックで使用中のストレージの量 (キロバイト単位)。
割り振りエントリー・ストレージ	STGENTTOT	データ・テーブル・ファイルのレコード入力ブロックに割り振られたストレージの総量 (キロバイト単位)。
使用中索引ストレージ	STGIDXINU	データ・テーブル・ファイルの索引で使用中のストレージの量 (キロバイト単位)。
割り振り索引ストレージ	STGIDXTOT	データ・テーブル・ファイルの索引に割り振られたストレージの総量 (キロバイト単位)。
ストリング	STRINGS	データ・テーブル・ファイルで実行できる並行操作の数。
データ・テーブル標識	TABLE	ファイルに関連付けられたデータ・テーブルが、カップリング・ファシリティ・テーブル (CFTABLE)、CICS 保守テーブル (CICSTABLE)、ユーザー保守テーブル (USERTABLE) であるか、現在データ・テーブルとして定義されていない (NOTTABLE) かを示します。
CFDT テーブル名	TABlename	MVS カップリング・ファシリティ・データ・テーブル (CFDT) では、ファイルがロードされる CFDT テーブルの名前。
クローズ時刻	TIMECLOSE	データ・テーブル・ファイルが閉じられた現地時間。

表 26. MCMDT ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
オープン時刻	TIMEOPEN	データ・テーブル・ファイルが開かれた現地時間。
全要求の合計数	TOTLREQCNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の総数。
全 MDT 要求の合計数	TOTMREQCNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された変更要求の総数。
更新要求数	UPDATECNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された PUT UPDATE 要求の数。
VSAM ファイル・タイプ	VSAMTYPE	データ・テーブル・ファイルの VSAM ファイル・タイプ。
ストリングにおける最大同時待機数	WSTRCCURCNT	データ・テーブル・ファイルに使用可能なすべてのストリングが使用中だったために、1 時点でキューに入れられていた要求の最大数。
ストリングにおける合計待機数	WSTRCNT	データ・テーブル・ファイルに使用可能なすべてのストリングが使用中だったためにキューに入れられた要求の総数。

ローカル・ファイル - MLOCFILE

「ローカル・ファイルのモニター・データ」(MLOCFILE) ビューには、モニター対象のローカル・ファイルに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「ファイル・モニター・ビュー」 > 「ローカル・ファイル」

表 27. 提供されている「ローカル・ファイルのモニター・データ」(MLOCFILE) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ローカル・ファイルのモニター・データ EYUSTARTMLOCFILE.DETAILED	モニター対象ローカル・ファイルに関する詳細情報
ローカル・ファイルのモニター・データ EYUSTARTMLOCFILE.DISCARD	現行サンプル間隔の CICSplex SM モニターからローカル・ファイルを除去し、その累積統計を破棄します。
ローカル・ファイルのモニター・データ EYUSTARTMLOCFILE.RESET	ローカル・ファイルに関連付けられている CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
ローカル・ファイルのモニター・データ EYUSTARTMLOCFILE.TABULAR	モニター対象ローカル・ファイルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 28. MLOCFILE ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル間隔の CICSplex SM モニターからローカル・ファイルを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	ローカル・ファイルに関連付けられている CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 29. MLOCFILE ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
アクセス方式	ACCESSMETHOD	ファイルに使用されるアクセス方式 (BDAM または VSAM)。

表 29. MLOCFILE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
書き込み要求数	ADDCNT	ファイルに対して発行された書き込み要求の数。
ブロック・サイズ (BDAM のみ)	BLOCKSIZE	BDAM ファイルの場合、ブロックのバイト単位の長さ。ブロックが可変長であるかまたは未定義の場合、表示される値は最大ブロック・サイズです。 値 N/A は、ファイルが BDAM ファイルでないことを意味します。
READNEXT 要求および READPREV 要求の数	BROWSECNT	ファイルに対して発行された READNEXT および READPREV 要求の数。
更新ブラウズの要求数	BROWUPDCNT	このファイルに対して発行された READNEXT、READPREV、および REWRITE 要求の数。これは RLS ファイルにのみ有効です。
現行サンプルのデータ入出力操作の比率	CURDEXCPRATE	前回のサンプル期間中のデータ・レコードの入出力操作率。
現行サンプルの索引入出力操作の比率	CURIEXCPRATE	前回のサンプル期間中の索引レコードの入出力操作率。
現行サンプルの要求比率	CURREQRATE	前回のサンプル期間における、ファイルに対する API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の発行率。
データ・レコードの入出力操作数	DEXPCNT	VSAM ファイルの場合、データ・レコードの入出力操作の数。
データ・セット名	DSNAME	アクセス方式およびオペレーティング・システムに対して定義された、ファイルに関連付けられた 44 文字のデータ・セット名。
使用可能状況	ENABLESTATUS	ファイルがアプリケーション・プログラムによってアクセス可能かどうかを示します。状況は次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • ENABLED - アクセス可能です。 • DISABLED - SET DISABLED コマンドの結果としてアクセス不可です。 • DISABLING - SET DISABLED または SET CLOSED コマンドの後、引き続きアクセスされます。 • UNENABLED - SET CLOSED コマンドの結果としてアクセス不可です。
ファイル ID	FILE	ファイルの ID。
読み取り要求数	GETCNT	ファイルに対して発行された読み取り要求の数。
READ UPDATE 要求数	GETUPDCNT	ファイルに対して発行された READ UPDATE 要求の数。
索引コンポーネントに対する入出力操作数	IEXPCNT	VSAM ファイルの場合、索引レコードの入出力操作の数。
モニター間隔のデータ入出力操作の比率	INTDEXCPRATE	モニター間隔におけるデータ・レコードの平均入出力操作率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
モニター間隔の索引入出力操作の比率	INTIEXCPRATE	モニター間隔における索引レコードの平均入出力操作率。
モニター間隔の要求比率	INTREQRATE	モニター間隔における、ファイルに対する API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の平均発行率。
DELETE 要求数	LOCDELCNT	ファイルに対して発行された DELETE 要求の数。
LSR プール番号	LSRPOOLID	VSAM ファイルの場合、ファイルに関連した LSR プールの数。 N/A の値の意味は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • このファイルは VSAM ファイルではありません • このファイルは LSR プールに関連付けられていません
アクティブなストリング数	NUMACTSTRING	ファイルに対する要求の現在の数。
データ・バッファ数	NUMDATBUFF	データに使用されるバッファの数。
索引バッファ数	NUMINDEXBUFF	索引に使用されるバッファの数。

表 29. MLOCFILE ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
現在のストリング待機数	NUMSTRINGWT	現在の VSAM アクティブ・ストリング待機数。
データ・セット・タイプ (基本またはパス)	OBJECT	VSAM ファイルの場合、ファイルが基本データ・セットに関連しているか (BASE)、または代替索引を用いてアクセスされるパスとして定義されているか (PATH) を示します。
オープン状況	OPENSTATUS	ファイルがオープンしているか、クローズしているか、または移行状態かを示します。
レコード・サイズ	RECORDSIZE	固定長レコードの場合、レコードの実際のサイズ。可変長レコードの場合、レコードの最大サイズ。 ファイルがオープンしていない場合は、値 0 が戻されます。
レコード・レベル共用 (RLS) 要求待機のタイムアウト	RLSREQWTO	VSAM RLS サーバーから要求の完了を待機している間にタイムアウトした RLS ファイル要求の数。
ストリング数	STRINGS	VSAM ファイルの場合、ファイル上で実行できる並行操作の数。 値 N/A は、ファイルが VSAM ファイルでないことを意味します。
ファイルがクローズされた現地時刻	TIMECLOSE	ファイルがクローズされた現地時間。
ファイルがオープンされた現地時刻	TIMEOPEN	ファイルがオープンされた現地時間。
全要求の合計数	TOTLREQCNT	ファイルに対して発行された API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の総数。
REWRITE 要求数	UPDATECNT	ファイルに対して発行された REWRITE 要求の数。
VSAM ファイル・タイプ	VSAMTYPE	ファイルに関連したデータ・セット内でのレコードの編成方法を示します。 VSAM ファイルの場合、タイプは次のいずれかで示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • ESDS - 入力順データ・セット • KSDS - キー順データ・セット • RRDS - 相対レコード・データ・セット BDAM ファイルの場合、タイプは KEYED または NOTKEYED のいずれかです。 ファイルがオープンしていない場合は、値 NOTAPPLIC が戻されます。
ストリングを待機しているピーク・タスク数	WSTRCCURCNT	ファイルに使用可能なすべてのストリングが使用中であるために任意のいずれかの時点でキューに入れられた要求の最大数。
全ストリングが使用中によりキューに入れられた合計要求数	WSTRCNT	ファイルに使用可能なすべてのストリングが使用中であるためにキューに入れられた要求の合計数。

リモート・ファイル - MREMFIL

「リモート・ファイルのモニター・データ」(MREMFIL) ビューは、モニターされるリモート・ファイルに関する情報を表示します。リモート・ファイルとは、ローカル CICS システムに対して定義されているものの、別の CICS システムにあるファイルです。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「ファイル・モニター・ビュー」 > 「リモート・ファイル」

表 30. 提供されている「リモート・ファイルのモニター・データ」(MREMFIL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
リモート・ファイルのモニター・データ EYUSTARTMREMFIL.DETAILED	モニター対象リモート・ファイルに関する詳細情報
リモート・ファイルのモニター・データ EYUSTARTMREMFIL.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからリモート・ファイルを除去し、その累積統計を破棄します。
リモート・ファイルのモニター・データ EYUSTARTMREMFIL.RESET	リモート・ファイルに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
リモート・ファイルのモニター・データ EYUSTARTMREMFIL.TABULAR	モニター対象リモート・ファイルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 31. MREMFIL ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからリモート・ファイルを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	リモート・ファイルに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 32. MREMFIL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
書き込み要求数	ADDCNT	ファイルに対して発行された PUT 要求の数。
READNEXT、READPREV 要求数	BROWSECNT	ファイルに対して発行された READNEXT および READPREV 要求の数。
現行サンプルの要求比率	CURREQRATE	前回のサンプル期間における、ファイルに対する API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の発行率。
使用可能状況	ENABLESTATUS	ファイルの使用可能状況。
ファイル ID	FILE	ローカル CICS システムに認識されているファイルの名前。
READ 要求数	GETCNT	ファイルに対して発行された GET 要求の数。
READ UPDATE 要求数	GETUPDCNT	ファイルに対して発行された GET UPDATE 要求の数。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
モニター間隔の要求比率	INTREQRATE	モニター間隔における、ファイルに対する API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の平均発行率。
DELETE 要求数	REMDLCNT	ファイルに対して発行された DELETE 要求の数。
リモート・ファイル名	RE MOTENAME	リモート・システムでそのファイルを認識するための名前。
リモート・システム名	RE MOTESYSTEM	リモート・ファイルがある CICS システムの名前。
全要求の合計数	TOTLREQCNT	ファイルに対して発行された API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の総数。
REWRITE 要求数	UPDATECNT	ファイルに対して発行された PUT UPDATE 要求の数。

グローバル・リソース・モニター・ビュー

「グローバル・リソース・モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の、ローカル共用リソース (LSR) バッファースおよびプール、区画内一時データ・キューおよび一時記憶域に関する情報が表示されます。

LSR プール・バッファース - MLSRPBUF

「**LSR プール・バッファースのモニター・データ**」(MLSRPBUF) ビューは、モニター対象 CICS システム内のローカル共用リソース (LSR) プールのためのバッファース使用量に関する情報を表示します。情報は個々のバッファース・サイズごとに示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「グローバル・リソース・モニター・ビュー」 > 「**LSR プール・バッファース**」

表 33. 提供されている「 LSR プール・バッファースのモニター・データ 」(MLSRPBUF) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
LSR プール・バッファースのモニター・データ EYUSTARTMLSRPBUF.DETAILED	選択した LSR プール・バッファースのバッファース使用に関する詳細情報
LSR プール・バッファースのモニター・データ EYUSTARTMLSRPBUF.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから LSR プールを除去し、その累積統計を破棄します。
LSR プール・バッファースのモニター・データ EYUSTARTMLSRPBUF.RESET	LSR プールに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
LSR プール・バッファースのモニター・データ EYUSTARTMLSRPBUF.TABULAR	LSR プール・バッファースのバッファース使用に関するテーブル形式の情報

アクション

表 34. MLSRPBUF ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから LSR プールを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	LSR プールに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 35. MLSRPBUF ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
バッファース数	COUNT	プールで使用できる各サイズのバッファースの数。
正常なハイパースペース CREAD 回数	CREADS	ハイパースペース・バッファースから仮想バッファースヘデータを転送するために発行された、成功 CREAD 要求の数。
現行サンプルに対するハイパースペース読み取り比率	CURHREADRATE	最後のサンプル期間中に、CREAD 要求がハイパースペース・バッファースに対して発行された比率。
現行サンプルに対するハイパースペース書き込み比率	CURHWITRATE	最後のサンプル期間中に、CWRITE 要求がハイパースペース・バッファースに対して発行された比率。
現行サンプルに対する読み取り比率	CURREADRATE	最後のサンプル期間中に、READ 入出力要求がバッファースに発行された比率。
現行サンプルに対する書き込み比率	CURWITRATE	最後のサンプル期間中に、WRITE 入出力要求 (ユーザー始動および非ユーザー始動の両方) が発行された比率。

表 35. MLSRPBUF ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
正常なハイパースペース CWRITE 回数	CWRITES	仮想バッファからハイパースペース・バッファヘデータを転送するために発行された、成功 CWRITE 要求の数。
失敗したハイパースペース CREAD 回数	FAILCREADS	バッファに対する CREAD 要求失敗数。MVS がスペースを撤廃したため、VSAM が DASD からデータを読み取る必要がありました。
失敗したハイパースペース CWRITE 回数	FAILCWITES	バッファに対する CWRITE 要求失敗数。ハイパースペースが不足したため、VSAM が DASD にデータを書き込む必要がありました。
ハイパースペース・バッファ 数	HIPERBUFF	プールに指定されているハイパースペース・バッファの数。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔に対するハイパースペース 読み取り比率	INTHREADRATE	モニター・インターバル全体で、CREAD 要求が仮想バッファに対して発行された平均比率。
間隔に対するハイパースペース 書き込み比率	INTHWITRATE	モニター・インターバル全体で、CWRITE 要求がハイパースペース・バッファに対して発行された平均比率。
間隔に対する読み取り比率	INTREADRATE	モニター・インターバル全体で、READ 入出力要求がバッファに対して発行された平均比率。
間隔に対する書き込み比率	INTWRITRATE	モニター・インターバル全体で、WRITE 入出力要求 (ユーザー始動および非ユーザー始動の両方) が発行された平均比率。
正常な検索回数	LOOKASIDES	物理的入出力操作を開始せずに VSAM が対応できた READ 要求の数。
非ユーザー開始書き込み数	NONUWRITE	バッファからの非ユーザー始動 WRITE 入出力の数。
プール ID/バッファ・サイズ/ バッファ・タイプ	POOLSIZE TYPE	プール番号、バッファ・サイズ、バッファ・タイプ
バッファ読み取り数	READS	バッファ制御間隔が見つからなかったために VSAM が開始する必要のあった、バッファに対する READ 入出力数。
ユーザー開始書き込み数	USERIWRITE	バッファからのユーザー始動 WRITE 入出力の数。

LSR プール - MLSRPOOL

「**LSR プールのモニター・データ**」(MLSRPOOL) ビューは、モニター対象 CICS システム内のローカル共有リソース (LSR) プールに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「**モニター・ビュー**」 > 「**グローバル・リソース・モニター・ビュー**」 > 「**LSR プール**」

表 36. 提供されている「 LSR プールのモニター・データ 」(MLSRPOOL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
LSR プールに対するモニター・データ EYUSTARTMLSRPOOL.DETAILED	選択した LSR プールに関する詳細情報
LSR プールに対するモニター・データ EYUSTARTMLSRPOOL.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから LSR プールを除去し、その累積統計を破棄します。
LSR プールに対するモニター・データ EYUSTARTMLSRPOOL.RESET	LSR プールに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
LSR プールに対するモニター・データ EYUSTARTMLSRPOOL.TABULAR	LSR プールに関するテーブル形式の情報

アクション

表 37. MLSRPOOL ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから LSR プールを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	LSR プールに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 38. MLSRPOOL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
作成現地時刻	CREATETIME	LSR プールが作成された時刻。
現行サンプルに対するデータ・バッファ検索比率	CURDBHITRATE	最後のサンプル期間中に、物理的入出力を行わずに満たされた、データ・バッファに対する READ 要求の比率。
現行サンプルに対するデータ・バッファ CREAD 比率	CURDHREARATE	最後のサンプル期間中に、CREAD 要求がハイパースペース・データ・バッファに対して発行された比率。
現行サンプルに対するデータ・バッファ CWRITE 比率	CURDHWIRATE	最後のサンプル期間中に、CWRITE 要求がハイパースペース・データ・バッファに対して発行された比率。
現行サンプルに対するデータ・バッファ読み取り比率	CURDREADRATE	最後のサンプル期間中に、READ 入出力要求がデータ・バッファに発行された比率。
現行サンプルに対するデータ・バッファ書き込み比率	CURDWITRATE	最後のサンプル期間中に、WRITE 入出力要求 (ユーザー始動および非ユーザー始動の両方) がデータ・バッファに発行された比率。
現行サンプルに対する索引バッファ検索比率	CURIBHITRATE	最後のサンプル期間中に、物理的入出力を行わずに満たされた、索引バッファに対する READ 要求の比率。
現行サンプルに対する索引バッファ CREAD 比率	CURIHREARATE	最後のサンプル期間中に、CREAD 要求が仮想索引バッファに対して発行された比率。
現行サンプルに対する索引バッファ CWRITE 比率	CURIHWIRATE	最後のサンプル期間中に、CWRITE 要求がハイパースペース索引バッファに対して発行された比率。
現行サンプルに対する索引バッファ読み取り比率	CURIREADRATE	最後のサンプル期間中に、READ 入出力要求が索引バッファに発行された比率。
現行サンプルに対する索引バッファ書き込み比率	CURIWITRATE	最後のサンプル期間中に、WRITE 入出力要求 (ユーザー始動および非ユーザー始動の両方) が索引バッファに発行された比率。
データ・バッファの正常な検索数	DBLOOKASIDE	物理的入出力操作を行わずに VSAM が対応できたデータ・バッファの READ 要求の数。
非ユーザー始動データ・バッファ書き込み数	DBNUWRITE	プール用のデータ・バッファからの非ユーザー始動 WRITE 入出力の数。
データ・バッファの読み取り入出力数	DBREAD	バッファ制御間隔が見つからなかったために VSAM が開始する必要があった、データ・バッファに対する READ 入出力数。
データ・バッファ数	DBUFFCNT	プールによって使用されているデータ・バッファの数。
ユーザー始動データ・バッファ書き込み数	DBUIWRITE	プール用のデータ・バッファからのユーザー始動 WRITE 入出力の数。
正常なデータ・バッファ CREAD 要求数	DCREAD	ハイパースペース・データ・バッファから仮想データ・バッファへデータを転送するために発行された、成功 CREAD 要求の数。
正常なデータ・バッファ CWRITE 要求数	DCWRITE	仮想データ・バッファからハイパースペース・データ・バッファへデータを転送するために発行された、成功 CWRITE 要求の数。
削除現地時刻	DELETETIME	LSR プールが削除された時刻。値が表示されるのは、LSR プールが削除された場合、つまり、そのプールを使用していたすべてのファイルが閉じられた場合に限られます。
失敗したデータ・バッファ CREAD 要求数	DFAILCREAD	データ・バッファに対する CREAD 要求失敗数。MVS がスペースを撤廃したため、VSAM が DASD からデータを読み取る必要がありました。

表 38. MLSRPOOL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
失敗したデータ・バッファ CWRITE 要求数	DFAILCWRITE	データ・バッファに対する CWRITE 要求失敗数。ハイパースペースが不足したため、VSAM が DASD にデータを書き込む必要がありました。
ハイパースペース・データ・バッファ数	DHIPERBUF	プールに指定されているハイパースペース・データ・バッファの数。
検索索引バッファ読み取り数	IBLOOKASIDE	物理的入出力操作を行わずに VSAM が対応できた索引バッファの READ 要求の数。
非ユーザー始動索引バッファ書き込み数	IBNUWRITE	プール用の索引バッファからの非ユーザー始動 WRITE 入出力の数。
索引バッファ合計読み取り数	IBREADS	バッファ制御間隔が見つからなかったために VSAM が開始する必要のあった、索引バッファに対する READ 入出力数。
索引バッファ数	IBUFFCNT	プールによって使用されている索引バッファの数。
ユーザー始動索引バッファ書き込み数	IBUIWRITE	プール用の索引バッファからのユーザー始動 WRITE 入出力の数。
正常な索引バッファ CREAD 要求数	ICREAD	ハイパースペース索引バッファから仮想索引バッファへデータを転送するために発行された、成功 CREAD 要求の数。
正常な索引バッファ CWRITE 要求数	ICWRITE	仮想索引バッファからハイパースペース索引バッファへデータを転送するために発行された、成功 CWRITE 要求の数。
ハイパースペース索引バッファ数	IDHIPERBUF	プールに指定されているハイパースペース索引バッファの数。
個別データおよび索引フラグ	IDXDATFLG	データ・バッファと索引バッファが別個のプールを使用する (YES) か、同じプールを共用する (NO)かを示します。
失敗した索引バッファ CREAD 要求数	IFAILCREAD	索引バッファに対する CREAD 要求失敗数。MVS がスペースを撤廃したため、VSAM が DASD からデータを読み取る必要がありました。
失敗した索引バッファ CWRITE 要求数	IFAILCWRITE	索引バッファに対する CWRITE 要求失敗数。ハイパースペースが不足したため、VSAM が DASD にデータを書き込む必要がありました。
モニター間隔に対するデータ・バッファ検索比率	INTDBHITRATE	モニター・インターバル全体で、データ・バッファに対する READ 要求が、物理的入出力を行わずに満たされた平均比率。
モニター間隔に対するデータ・バッファ CREAD 比率	INTDHREARATE	モニター・インターバル全体で、CREAD 要求が仮想データ・バッファに対して発行された平均比率。
モニター間隔に対するデータ・バッファ CWRITE 比率	INTDHWIRATE	モニター・インターバル全体で、CWRITE 要求がハイパースペース・データ・バッファに対して発行された平均比率。
モニター間隔に対するデータ・バッファ読み取り比率	INTDREADRATE	モニター・インターバル全体で、READ 入出力要求がデータ・バッファに発行された平均比率。
モニター間隔に対するデータ・バッファ書き込み比率	INTDWRITRATE	モニター・インターバル全体で、WRITE 入出力要求 (ユーザー始動および非ユーザー始動の両方) がデータ・バッファに発行された平均比率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
モニター間隔に対する索引バッファ検索比率	INTIBHITRATE	モニター・インターバル全体で、索引バッファに対する READ 要求が、物理的入出力を行わずに満たされた平均比率。
モニター間隔に対する索引バッファ CREAD 比率	INTIHREARATE	モニター・インターバル全体で、CREAD 要求が仮想索引バッファに対して発行された平均比率。
モニター間隔に対する索引バッファ CWRITE 比率	INTIHWIRATE	モニター・インターバル全体で、CWRITE 要求がハイパースペース索引バッファに対して発行された平均比率。
モニター間隔に対する索引バッファ読み取り比率	INTIREADRATE	モニター・インターバル全体で、READ 入出力要求が索引バッファに発行された平均比率。
モニター間隔に対する索引バッファ書き込み比率	INTIWRITRATE	モニター・インターバル全体で、WRITE 入出力要求 (ユーザー始動および非ユーザー始動の両方) が索引バッファに発行された平均比率。
LSR プール番号	LSRPOOLID	数値の LSR プール番号。範囲は 1 から 255。
同時アクティブ・ストリングのピーク数	MAXCCURSTR	いずれかの時点でアクティブだったストリングの最大数。

表 38. MLSRPOOL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
キーの最大長	MAXKEYLEN	この LSR プールを使用する可能性のある VSAM データ・セットの最も長いキーの長さ。
待機要求のピーク数	PEAKWAITREQ	プール内のすべてのストリングが使用中だったためにいずれかの時点でキューに入れられた要求の最大数。
合計ストリング数	TOTSTRINGS	LSR プールで利用できるストリングの総数。
合計ストリング待機数	TOTWAITREQ	プール内のすべてのストリングが使用中であったためにキューに入れられた要求の総数。

区画内一時データ・キュー - MTDQGBL

「区画内一時データ・キューのモニター・データ」(MTDQGBL) ビューは、モニター対象 CICS システム内の区画内一時データ・キュー使用量に関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「グローバル・リソース・モニター・ビュー」 > 「区画内一時データ・キュー」

表 39. 提供されている「区画内一時データ・キューのモニター・データ」(MTDQGBL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMTDQGBL.DETAILED	選択した区画内一時データ・キューに関する詳細情報
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMTDQGBL.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから区画内一時データ・キュー使用量を除去し、累積統計を破棄します。
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMTDQGBL.RESET	区画内一時データ・キュー使用量に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMTDQGBL.TABULAR	区画内一時データ・キュー使用に関するテーブル形式の情報

アクション

表 40. MTDQGBL ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから区画内一時データ・キュー使用量を除去し、累積統計を破棄します。
RESET	区画内一時データ・キュー使用量に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 41. MTDQGBL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
区画内アクセス数	ACCESSCNT	区画内バッファがアクセスされた回数。
区画内バッファ数	BUFFERS	システム初期設定テーブル (SIT) または SIT 指定変更で指定された区画内バッファの数。
区画内バッファ待機数	BUFFWAITS	すべてのバッファが他のタスクに割り振られていたために要求がキューに入れられた回数。

表 41. MTDQGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
制御間隔数	CINUM	現在アクティブな制御インターバルの数。
制御間隔サイズ	CISIZE	制御インターバルのサイズ (バイト単位)。
現行サンプルに対する区画内アクセス比率	CURACCCNT	最後のサンプル期間中に、区画内バッファがアクセスされた比率。
現在のバッファ待機数	CURBUFFWAIT	使用可能なバッファがないためにキューに入れられた要求の現行数。
有効データを持つ現在のバッファ数	CURBUFVALDA	有効なデータを含む区画内バッファの現行数。
現在の同時バッファ・アクセス数	CURCONBUFAC	同時区画内バッファ・アクセスの現行数。
現在の同時ストリング・アクセス数	CURCONSTRAC	システムで並行してアクセスされたストリングの現行数。
現行サンプルに対するバッファが満杯の平均時間	CURFULLPER	最後のサンプル期間中に、READ または WRITE 要求が NOSPACE 状態を検出した時のパーセント。
現行サンプルに対する読み取り比率	CURREADRATE	最後のサンプル期間中に、制御インターバルの READ 要求が発行された比率。
現在のストリング待機数	CURSTRWAITS	システムで同時にあるストリング待ちの現行数。
現行サンプルに対する書き込み比率	CURWRITRATE	最後のサンプル期間中に、WRITE 入出力要求が一時データ・セットに発行された比率。
フォーマット書き込み数	FMTWRITE	使用可能なスペースの量を増やすためにデータ・セットの末尾に新しい制御インターバルが書き込まれた回数。
モニター間隔に対する区画内アクセス比率	INTACCCNT	モニター・インターバル全体で、区画内バッファがアクセスされた平均比率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター・インターバルの ID。
モニター間隔に対するバッファが満杯の平均時間	INTFULLPER	モニター・インターバル全体で、READ または WRITE 要求が NOSPACE 状態を検出した時の平均パーセント。
モニター間隔に対する読み取り比率	INTREADRATE	モニター・インターバル全体で、制御インターバルの READ 要求が発行された平均比率。
モニター間隔に対する書き込み比率	INTWRITRATE	モニター・インターバル全体で、WRITE 入出力要求が一時データ・セットに発行された平均比率。
I/O エラー数	IOERRS	一時データ・セットで発生した入出力エラーの数。
NOSPACE の発生回数	NOSPACECNT	NOSPACE 状態が検出された回数。
使用中の制御間隔数	NUMCTRLINTV	区画内データ・セット DFHINTRA 内のコントロール間隔の現行数。
区画内バッファのピーク待機数	PEAKBWAIT	使用可能なバッファがなかったためにキューに入れられた要求のピーク数。
同時区画内アクセスのピーク数	PEAKCACCESS	1 時点での区画内バッファ・アクセスのピーク数。
使用制御間隔のピーク数	PEAKCIUSE	1 時点でアクティブな制御インターバルのピーク数。
データをもつキューのピーク数	PEAKQACTV	有効なデータが入っている区画内バッファのピーク数。
同時ストリング・アクセスのピーク数	PEAKSTRACC	1 時点でアクセスされているストリングのピーク数。
ストリング待機のピーク数	PEAKSTRWAIT	1 時点でストリングを待機しているタスクのピーク数。
データ・セットからの読み取り回数	READS	制御インターバルをディスクから読み取る必要があった回数。
ストリング・アクセス回数	STRACCESS	ストリングがアクセスされた回数。
ストリング数	STRINGS	現在アクティブなストリングの総数。
ストリング待機数	STRNGWAITS	使用可能なストリングがないためにタスクが待機する必要があった回数。

表 41. MTSQGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
データ・セットに対する書き込み数	WRITES	一時データ・セットに対する WRITE 入出力要求の数。

一時記憶域 - MTSQGBL

「一時記憶域のモニター・データ」(MTSQGBL) ビューは、モニター対象 CICS システム内の一時記憶域キュー使用量に関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「一時記憶域キュー・モニター・ビュー」 > 「一時記憶域」

表 42. 提供されている「一時記憶域のモニター・データ」(MTSQGBL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.DETAILED	選択した一時記憶域キューに関する詳細情報
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから一時記憶域キュー使用量を除去し、累積統計を破棄します。
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.RESET	一時記憶域キュー使用量に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.TABULAR	一時記憶域キュー使用に関するテーブル形式の情報

アクション

表 43. MTSQGBL ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから一時記憶域キュー使用量を除去し、累積統計を破棄します。
RESET	一時記憶域キュー使用量に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 44. MTSQGBL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
Times auxiliary storage exhausted (補助記憶域を使い果たした回数)	AUXFULL	使用可能な補助一時ストレージがなかったために 1 つ以上のトランザクションが中断状態になった回数。
一時記憶バッファ数	BUFFERS	システム 初期設定テーブル (SIT) または SIT オーバーライドで指定された一時記憶域バッファの数。
バッファ待ち回数	BUFFWAITS	すべてのバッファが他のタスクに割り振られていたために要求がキューに入れられた回数。
Buffer reads (バッファ読み取り数)	BUFREADS	制御インターバルをディスクから読み取る必要があった回数。
Buffer writes (バッファ書き込み数)	BUFWRITES	一時ストレージ・データ・セットへの WRITE 入出力要求の数。

表 44. MTSQGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
Available bytes per control interval (制御間隔当たりの使用可能バイト数)	BYTESPERCI	制御インターバル (CI) ごとに使用可能なバイト数。
Bytes per segment (セグメントあたりのバイト数)	BYTESPERSEG	制御インターバル (CI) ごとに使用可能なバイト数。
データ・セット中の制御間隔数	CINUM	補助ストレージに使用可能な制御インターバルの数。
使用中の制御間隔数	CISINUSE	現在使用中の制御インターバルの数。
制御間隔サイズ	CISIZE	制御インターバルのサイズ (バイト単位)。
一時記憶域圧縮回数	COMPRESSIONS	これまでに行われた圧縮の数。
現行サンプルに対する GetQ 補助記憶域の比率	CURAGETQRATE	最後のサンプル期間中に、GET/GETQ 要求が補助一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対する PutQ 補助記憶域の比率	CURAPUTQRATE	最後のサンプル期間中に、PUT/PUTQ 要求が補助一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対するバッファ読み取り比率	CURBHITRATE	最後のサンプル期間中に、物理的入出力を行わずに GET/GETQ 要求が満たされた比率。
現行サンプルの補助記憶域が満杯になった %	CURFULLPER	最後のサンプル期間中に、使用可能な補助一時記憶域がなかったためにトランザクションが中断状態になった時のパーセント。
現行サンプルに対する GetQ 主記憶域の比率	CURMGETQRATE	最後のサンプル期間中に、GET/GETQ 要求がメイン一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対する PutQ 主記憶域の比率	CURMPUTQRATE	最後のサンプル期間中に、PUT/PUTQ 要求がメイン一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対する読み取り比率	CURREADRATE	最後のサンプル期間中に、制御インターバルの READ 要求が発行された比率。
Current users waiting on buffer (バッファで待機中の現行ユーザー数)	CURRUWBFR	バッファを現在待機しているユーザーの数。
Current users waiting on string (ストリングで待機中の現行ユーザー数)	CURRUWSTR	ストリングを現在待機しているユーザーの数。
現行サンプルに対する書き込み比率	CURWRITRATE	最後のサンプル期間中に、WRITE 入出力要求が一時記憶域データ・セットに発行された比率。
最長キュー・エンタリー	ENTLGQUE	任意の 1 つの一時記憶域キュー内のレコードのピーク数。
キュー拡張のしきい値	EXTTHRESHOLD	単一の一時記憶域グループ ID (TSGID) に保持されるレコード数。
フォーマット書き込み数	FMTWRT	使用可能なスペースの量を増やすためにデータ・セットの末尾に新しい制御インターバルが書き込まれた回数。
Get/GetQ 補助記憶域	GETQAUX	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域から取得したレコード数。
Get/GetQ 主記憶域	GETQMAIN	アプリケーション・プログラムがメイン一時記憶域から取得したレコード数。
間隔に対する GetQ 補助記憶域の比率	INTAGETQRATE	モニター・インターバル全体で、GET/GETQ 要求が補助一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対する PutQ 補助記憶域の比率	INTAPUTQRATE	モニター・インターバル全体で、PUT/PUTQ 要求が補助一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対するバッファ読み取りヒット比率	INTBHITRATE	モニター・インターバル全体で、物理的入出力を行わずに GET/GETQ 要求が満たされた平均比率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔の補助記憶域が満杯になった %	INTFULLPER	モニター・インターバル全体で、使用可能な補助一時記憶域がなかったためにトランザクションが中断状態になった時の平均パーセント。

表 44. MTSQGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
間隔に対する GetQ 主記憶域の比率	INTMGETQRATE	モニター・インターバル全体で、GET/GETQ 要求がメイン一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対する PutQ 主記憶域の比率	INTMPUTQRATE	モニター・インターバル全体で、PUT/PUTQ 要求がメイン一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対する読み取り比率	INTREADRATE	モニター・インターバル全体で、制御インターバルの READ 要求が発行された平均比率。
間隔に対する書き込み比率	INTWRITRATE	モニター・インターバル全体で、WRITE 入出力要求が一時記憶域データ・セットに発行された平均比率。
DSN における I/O エラー数	IOERRS	一時ストレージ・データ・セットで発生した入出力エラーの数。
最長の補助レコード長	LONGAUXREC	最長の補助レコードの長さ。
使用している一時記憶域名の数	NAMESINUSE	現在使用中の TS の数。
使用 CI のピーク数	PEAKCIUSE	アクティブ・データを含む制御インターバルのある時点でのピーク数。
使用中のキュー名ピーク数	PEAKQUES	特定の時点で使用されていた一時記憶域キュー名のピーク数。
ストレージのピーク	PEAKSTG	ある時点で一時ストレージ・レコードのために使用されている仮想ストレージのピーク量。
使用中のピーク・ストリング数	PEAKUSDSTR	1 時点で使用中のストリングのピーク数。
Peak users waiting on buffers (バッファで待機中のピーク・ユーザー数)	PEAKUWBUF	使用可能なバッファがなかったためにキューに入れられた要求のピーク数。
ストリングで待機中のピーク・ユーザー数	PEAKUWSTR	ある時点でキューに入れられていた入出力要求のピーク数。
Put/PutQ 補助記憶域	PUTQAUX	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域に書き込んだレコード数。
Put/PutQ 主記憶域	PUTQMAIN	アプリケーション・プログラムがメイン一時記憶域に書き込んだレコード数。
Times queues created (キュー作成回数)	QUECRECNT	CICS が個々の一時記憶域キューを作成した回数。
作成されたキュー拡張	QUEXTENDS	TSGID 拡張を作成することが必要になった回数。
Segments per control interval (制御間隔当たりのセグメント数)	SEGSPERCI	制御インターバル (CI) ごとのセグメント数。
CICS が接続されている共用プール数	SHRDPOOLCONN	現在接続されている共用プール数。
Shared pools defined (定義済み共用プール)	SHRDPOOLDEF	定義された共用プール数。
Shared read requests (共用読み取り要求数)	SHRDREADREQ	共用読み取り要求の数。
Shared write requests (共用書き込み要求数)	SHRDWRITEREQ	共用書き込み要求の数。
一時記憶域ストリング数	STRINGS	システム初期設定テーブル (SIT) または SIT オーバーライドで指定された一時ストレージ・ストリングの数。
ストリング待機数	STRINGWAIT	使用可能なストリングがなかったために、キューに入れられた入出力要求の数。
リカバリー処理で強制されたバッファ書き込み	WRTFRECVR	キューに対して指定されているリカバリーによって生じた WRITE 入出力要求の数。
CISIZE を超える書き込み	WRTGTCISZ	制御インターバル・サイズを超える長さで書き込まれたレコードの数。

ジャーナル・モニター・ビュー

「ジャーナル・モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内のシステム・ログと一般ログに関する情報が表示されます。注: モニター・データは、CICSplex SM によりモニターされるジャーナルにのみ使用可能です。

ジャーナル - MJRNLNAM

「ジャーナルのモニター・データ」(MJRNLNAM) ビューには、モニター対象のシステム・ログおよび一般ログに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「ジャーナル・モニター・ビュー」 > 「ジャーナル」

表 45. 提供されている「ジャーナルのモニター・データ」(MJRNLNAM) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ジャーナルのモニター・データ EYUSTARTMJRNLNAM.DETAILED	選択したログに関する詳細情報
ジャーナルのモニター・データ EYUSTARTMJRNLNAM.DISCARD	現行サンプル間隔で CICSplex SM モニターからシステムまたは汎用ログを除去し、その累積統計を破棄します。
ジャーナルのモニター・データ EYUSTARTMJRNLNAM.RESET	システムまたは汎用ログに関連付けられている CICSplex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。
ジャーナルのモニター・データ EYUSTARTMJRNLNAM.TABULAR	モニター対象システム・ログおよび一般ログに関するテーブル形式の情報

アクション

表 46. MJRNLNAM ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル間隔で CICSplex SM モニターからシステムまたは汎用ログを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	システムまたは汎用ログに関連付けられている CICSplex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。

フィールド

表 47. MJRNLNAM ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
ジャーナル名	JOURNALNAME	システムまたは汎用ログの 1 から 8 文字の名前。
バッファ・フラッシュ要求数	NUMBUFLUSH	ログ・バッファがログ・ストリームに書き出された回数。
合計書き込みバイト数	NUMBYTES	このシステムまたは汎用ログに書き込まれた合計バイト数。
ジャーナル書き込み数	NUMWRITES	このシステムまたは汎用ログに対するジャーナル書き込み要求の数。
MVS ログ・ストリーム	STREAMNAME	システムまたは汎用ログに関連付けられている MVS ログ・ストリーム名。
ログ・ストリーム宛先	TYPE	システムまたは汎用ログに関連付けられているログ・ストリームのタイプ。

プログラム・モニター・ビュー

「プログラム・モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内のプログラムに関する情報が表示されます。注: このモニター・データは、CICSplex SM によりモニターされるプログラムにのみ使用可能です。

プログラム - MPROGRAM

「プログラムのモニター・データ」(MPROGRAM) ビューは、モニターされるプログラムに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「プログラム・モニター・ビュー」 > 「プログラム」

表 48. 提供されている「プログラムのモニター・データ」(MPROGRAM) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
プログラムのモニター・データ EYUSTARTMPROGRAM.DETAILED	選択したプログラムに関する詳細情報
プログラムのモニター・データ EYUSTARTMPROGRAM.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからプログラムを除去し、その累積統計を破棄します。
プログラムのモニター・データ EYUSTARTMPROGRAM.RESET	プログラムに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
プログラムのモニター・データ EYUSTARTMPROGRAM.TABULAR	モニター対象プログラムに関するテーブル形式の情報

アクション

表 49. MPROGRAM ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからプログラムを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	プログラムに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 50. MPROGRAM ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
現行サンプルに対する平均取り出し時間	CURAVGFETCH	最後のサンプル期間中に、プログラムのコピーをフェッチするのにかかった平均時間。
プログラムの再使用回数の % - 現行サンプル	CURRUSEPCT	最後のサンプル期間中に、ストレージ内のプログラムのコピーを再使用できた回数のパーセント。
現行サンプルに対するプログラム・アクセス比率	CURUSERATE	最後のサンプル期間中にプログラムが実行された比率。

表 50. MPROGRAM ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
プログラム実行キー	EXECKEY	<p>プログラムが実行しているアクセス・キー。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CICS EXECKEY - プログラムは CICS キーで実行され、CICS キーとユーザー・キーのストレージの両方に対する読み取り権限と書き込み権限を持ちます。 • USER EXECKEY - プログラムはユーザー・キーで実行しており、ユーザー・キー・ストレージには書き込みアクセスできますが、CICS キー・ストレージについては読み取り専用アクセスです。 • NOTAPPLIC - このオプションは選択不可です。プログラムはリモートとして定義されているか、またはマップ・セットあるいは区画セットのいずれかです。
プログラムがストレージにロードされた回数	FETCHCNT	現在の CICS 統計間隔中にプログラムのコピーが DFHRPL ライブラリー連結からストレージにロードされた回数。
全プログラム取り出しの合計時間	FETCHTIME	現在の CICS 統計間隔中にプログラムの全取り出しの実行にかかる合計時間。
保留状況	HOLDSTATUS	プログラムのコピーが HOLD オプション (HOLD または NOHOLD) を使用して現在ロードされているかどうかを示します。値 NOTAPPLIC は、プログラムが現在ロードされていないか、リモート・プログラムであることを表します。
モニター間隔に対する平均取り出し時間	INTAVGFETCH	モニター・インターバル全体で、プログラムのコピーをフェッチするのにかった平均時間。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
プログラムの再使用回数の % - モニター間隔	INTRUSEPCT	モニター・インターバル全体で、ストレージ内のプログラムのコピーを再使用できた回数の平均パーセント。
モニター間隔に対するプログラム・アクセス比率	INTUSERATE	モニター・インターバル全体で、プログラムが実行された平均比率。
プログラムの長さ	LENGTH	プログラムの長さ (バイト単位)。0 の値は、現行 CICS セッションにプログラムがロードされていないか、またはそれがリモート・プログラムであることを意味します。
リンク・バック域 (LPA) 状況	LPASTAT	<p>最後にロードされたプログラムのコピー元を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LPA - CICS は、リンク・バック域 (LPA) または拡張リンク・バック域 (ELPA) のバージョンを使用しました。 • NOTLPA - CICS は専用バージョンを使用しました。 • NOTAPPLIC - CICS は、プログラムの LPA バージョンと専用バージョンのどちらも使用していません。
発行された NEWCOPY 要求数	NEWCOPYCNT	現在の CICS 統計間隔中にこのプログラムに対して NEWCOPY 要求が発行された回数。
プログラム名	PROGRAM	プログラムの名前。
プログラム・タイプ	PROGTYPE	<p>プログラムのタイプ。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • MAP - マップ・セット。 • PARTITION - 区画セット。 • PROGRAM - 実行可能プログラム。
プログラム圧縮による除去回数	REMOVECNT	現在の CICS 統計間隔中に動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) 機能によってこのプログラムのコピーがストレージから削除された回数。
現在のプログラム・アクセス回数	RESCOUNT	現在実行中のプログラムの別個のコピー数。
DFHRPL データ・セット番号	RPLID	DFHRPL 連結におけるプログラムの RPL データ・セットの位置。プログラムが CICS によってまだロードされていない場合は、このパラメーターは UNKNOWN を報告します。
共用状況	SHARESTATUS	プログラムの共用状況。次にロードされる新規コピーが、共用バージョン (SHARED) になるか、専用バージョン (PRIVATE) になるかを決定します。リモート・プログラムでは NOTAPPLIC という値が戻されます。

表 50. MPROGAM ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
使用可能状況	STATUS	プログラムの使用可能状況。これは、それが使用可能かどうか (ENABLED または DISABLED) を示します。
前回リセット以降のプログラム・アクセス回数	USEAGELSTAT	現在の CICS 統計間隔中にプログラムへのアクセスが要求された回数。
プログラムの合計実行回数	USECOUNT	現在の CICS セッションでプログラムが実行された合計回数。

一時記憶域キュー・モニター・ビュー

「一時記憶域キュー・モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の一時記憶域使用および一時記憶域キューに関する情報が表示されます。注: この情報は、グローバル・リソースが CICSplex SM によりモニターされる CICS システムにのみ使用可能です。

一時記憶域 - MTSQGBL

「一時記憶域のモニター・データ」(MTSQGBL) ビューは、モニター対象 CICS システム内の一時記憶域キュー使用量に関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「一時記憶域キュー・モニター・ビュー」 > 「一時記憶域」

表 51. 提供されている「一時記憶域のモニター・データ」(MTSQGBL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.DETAILED	選択した一時記憶域キューに関する詳細情報
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから一時記憶域キュー使用量を除去し、累積統計を破棄します。
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.RESET	一時記憶域キュー使用量に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.TABULAR	一時記憶域キュー使用に関するテーブル形式の情報

アクション

表 52. MTSQGBL ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから一時記憶域キュー使用量を除去し、累積統計を破棄します。
RESET	一時記憶域キュー使用量に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 53. MTSQGBL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
Times auxiliary storage exhausted (補助記憶域を使い果たした回数)	AUXFULL	使用可能な補助一時ストレージがなかったために 1 つ以上のトランザクションが中断状態になった回数。

表 53. MTSQGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
一時記憶バッファ数	BUFFERS	システム初期設定テーブル (SIT) または SIT オーバーライドで指定された一時記憶域バッファの数。
バッファ待ち回数	BUFFWAITS	すべてのバッファが他のタスクに割り振られていたために要求がキューに入れられた回数。
Buffer reads (バッファ読み取り数)	BUFREADS	制御インターバルをディスクから読み取る必要があった回数。
Buffer writes (バッファ書き込み数)	BUFWITES	一時ストレージ・データ・セットへの WRITE 入出力要求の数。
Available bytes per control interval (制御間隔当たりの使用可能バイト数)	BYTESPERCI	制御インターバル (CI) ごとに使用可能なバイト数。
Bytes per segment (セグメントあたりのバイト数)	BYTESPERSEG	制御インターバル (CI) ごとに使用可能なバイト数。
データ・セット中の制御間隔数	CINUM	補助ストレージに使用可能な制御インターバルの数。
使用中の制御間隔数	CISINUSE	現在使用中の制御インターバルの数。
制御間隔サイズ	CISIZE	制御インターバルのサイズ (バイト単位)。
一時記憶域圧縮回数	COMPRESSIONS	これまでに行われた圧縮の数。
現行サンプルに対する GetQ 補助記憶域の比率	CURAGETQRATE	最後のサンプル期間中に、GET/GETQ 要求が補助一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対する PutQ 補助記憶域の比率	CURAPUTQRATE	最後のサンプル期間中に、PUT/PUTQ 要求が補助一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対するバッファ読み取り比率	CURBHITRATE	最後のサンプル期間中に、物理的入出力を行わずに GET/GETQ 要求が満たされた比率。
現行サンプルの補助記憶域が満杯になった %	CURFULLPER	最後のサンプル期間中に、使用可能な補助一時記憶域がなかったためにトランザクションが中断状態になった時のパーセント。
現行サンプルに対する GetQ 主記憶域の比率	CURMGETQRATE	最後のサンプル期間中に、GET/GETQ 要求がメイン一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対する PutQ 主記憶域の比率	CURMPUTQRATE	最後のサンプル期間中に、PUT/PUTQ 要求がメイン一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対する読み取り比率	CURREADRATE	最後のサンプル期間中に、制御インターバルの READ 要求が発行された比率。
Current users waiting on buffer (バッファで待機中の現行ユーザー数)	CURRUWBFR	バッファを現在待機しているユーザーの数。
Current users waiting on string (ストリングで待機中の現行ユーザー数)	CURRUWSTR	ストリングを現在待機しているユーザーの数。
現行サンプルに対する書き込み比率	CURWRITRATE	最後のサンプル期間中に、WRITE 入出力要求が一時記憶域データ・セットに発行された比率。
最長キュー・エンタリー	ENTLGQUE	任意の 1 つの一時記憶域キュー内のレコードのピーク数。
キュー拡張のしきい値	EXTTHRESHOLD	単一の一時記憶域グループ ID (TSGID) に保持されるレコード数。
フォーマット書き込み数	FMTWRT	使用可能なスペースの量を増やすためにデータ・セットの末尾に新しい制御インターバルが書き込まれた回数。
Get/GetQ 補助記憶域	GETQAUX	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域から取得したレコード数。
Get/GetQ 主記憶域	GETQMAIN	アプリケーション・プログラムがメイン一時記憶域から取得したレコード数。
間隔に対する GetQ 補助記憶域の比率	INTAGETQRATE	モニター・インターバル全体で、GET/GETQ 要求が補助一時記憶域に発行された平均比率。

表 53. MTSQGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
間隔に対する PutQ 補助記憶域の比率	INTAPUTQRATE	モニター・インターバル全体で、PUT/PUTQ 要求が補助一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対するバッファ読み取りヒット比率	INTBHITRATE	モニター・インターバル全体で、物理的入出力を行わずに GET/GETQ 要求が満たされた平均比率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔の補助記憶域が満杯になった %	INTFULLPER	モニター・インターバル全体で、使用可能な補助一時記憶域がなかったためにトランザクションが中断状態になった時の平均パーセント。
間隔に対する GetQ 主記憶域の比率	INTMGETQRATE	モニター・インターバル全体で、GET/GETQ 要求がメイン一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対する PutQ 主記憶域の比率	INTMPUTQRATE	モニター・インターバル全体で、PUT/PUTQ 要求がメイン一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対する読み取り比率	INTREADRATE	モニター・インターバル全体で、制御インターバルの READ 要求が発行された平均比率。
間隔に対する書き込み比率	INTWRITRATE	モニター・インターバル全体で、WRITE 入出力要求が一時記憶域データ・セットに発行された平均比率。
DSN における I/O エラー数	IOERRS	一時ストレージ・データ・セットで発生した入出力エラーの数。
最長の補助レコード長	LONGAUXREC	最長の補助レコードの長さ。
使用している一時記憶域名の数	NAMESINUSE	現在使用中の TS の数。
使用 CI のピーク数	PEAKCIUSE	アクティブ・データを含む制御インターバルのある時点でのピーク数。
使用中のキュー名ピーク数	PEAKQUES	特定の時点で使用されていた一時記憶域キュー名のピーク数。
ストレージのピーク	PEAKSTG	ある時点で一時ストレージ・レコードのために使用されている仮想ストレージのピーク量。
使用中のピーク・ストリング数	PEAKUSDSTR	1 時点で使用中のストリングのピーク数。
Peak users waiting on buffers (バッファで待機中のピーク・ユーザー数)	PEAKUWBUF	使用可能なバッファがなかったためにキューに入れられた要求のピーク数。
ストリングで待機中のピーク・ユーザー数	PEAKUWSTR	ある時点でキューに入れられていた入出力要求のピーク数。
Put/PutQ 補助記憶域	PUTQAUX	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域に書き込んだレコード数。
Put/PutQ 主記憶域	PUTQMAIN	アプリケーション・プログラムがメイン一時記憶域に書き込んだレコード数。
Times queues created (キュー作成回数)	QUECRECNT	CICS が個々の一時記憶域キューを作成した回数。
作成されたキュー拡張	QUEXTENDS	TSGID 拡張を作成することが必要になった回数。
Segments per control interval (制御間隔当たりのセグメント数)	SEGSPERCI	制御インターバル (CI) ごとのセグメント数。
CICS が接続されている共用プール数	SHRDPOLCONN	現在接続されている共用プール数。
Shared pools defined (定義済み共用プール)	SHRDPOLDEF	定義された共用プール数。
Shared read requests (共用読み取り要求数)	SHRDREADREQ	共用読み取り要求の数。
Shared write requests (共用書き込み要求数)	SHRDWRITEREQ	共用書き込み要求の数。
一時記憶域ストリング数	STRINGS	システム 初期設定テーブル (SIT) または SIT オーバーライドで指定された一時ストレージ・ストリングの数。

表 53. MTSQGBL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ストリング待機数	STRINGWAIT	使用可能なストリングがなかったために、キューに入れられた入出力要求の数。
リカバリー処理で強制されたバッファ書き込み	WRTFRECVR	キューに対して指定されているリカバリーによって生じた WRITE 入出力要求の数。
CISIZE を超える書き込み	WRTGTCISZ	制御インターバル・サイズを超える長さで書き込まれたレコードの数。

端末モニター・ビュー

「端末モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の端末に関する情報が表示されます。注: 「端末」ビューには、LU 6.2 接続またはモード名についての情報は表示されません。また、このビューでは LU 6.2 接続またはモード名に対してコマンドを発行することはできません。LU 6.2 接続またはモード名については、「接続」ビューを使って参照してください。このモニター・データは、CICSplex SM によりモニターされる端末にのみ使用可能です。

端末 - MTERMNL

「端末のモニター・データ」(MTERMNL) ビューは、モニターされる端末に関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「端末モニター・ビュー」 > 「端末」

表 54. 提供されている「端末のモニター・データ」(MTERMNL) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
端末のモニター・データ EYUSTARTMTERMNL.DETAILED	選択した端末に関する詳細情報
端末のモニター・データ EYUSTARTMTERMNL.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから端末を除去し、その累積統計を破棄します。
端末のモニター・データ EYUSTARTMTERMNL.RESET	端末に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
端末のモニター・データ EYUSTARTMTERMNL.TABULAR	モニター対象端末に関するテーブル形式の情報

アクション

表 55. MTERMNL ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから端末を除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	端末に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 56. MTERMNL ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
獲得状況	ACQSTATUS	端末が現在獲得されているか、解放されているか、または獲得する途中であることを示します。

表 56. MTERMNL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
現行サンプルに対する入力メッセージ比率	CURIMSGRATE	最後のサンプル期間中の、オペレーター始動の端末への入力の比率。
現行サンプルに対する出力メッセージ比率	CUOMSGRATE	最後のサンプル期間中に、出力メッセージが端末に書き込まれた比率。
現行サンプルに対するトランザクション比率	CURTRANRATE	最後のサンプル期間中に、トランザクションが端末で開始された比率。
デバイス・タイプ	DEVICE	TCTTE で記録された端末またはセッションのタイプ。
入力メッセージ数	INPMSCNT	オペレーターが開始した端末への入力の数。初期トランザクション入力と、端末への会話型読み取りの結果としての入力を含みます。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
モニター間隔に対する入力メッセージ比率	INTIMSGRATE	モニター・インターバル全体での、オペレーター始動の端末への入力の平均比率。
モニター間隔に対する出力メッセージ比率	INTOMSGRATE	モニター・インターバル全体で、出力メッセージが端末に書き込まれた平均比率。
モニター間隔に対するトランザクション比率	INTTRANRATE	モニター・インターバル全体で、トランザクションが端末で開始された平均比率。
LU 名	LUNAME	端末の VTAM 論理装置名。
ネットワーク名	NETNAME	VTAM のもとでは、この論理装置 (端末またはセッション) が認識されるための名前。このフィールドがブランクの場合は、アクセス方式が VTAM 以外であることを意味します。
出力メッセージ数	OUTMSCCNT	アプリケーション・プログラムまたは CICS のいずれかによって端末に書き込まれた出力メッセージの数。
合計パイプライン・ランナウェイ数	PMSGCNT	合計ランナウェイ数。ランナウェイはパイプライン・プール端末について入力が受け取られたものの、使用可能なものがなかったときに発生します。
最大パイプライン・ランナウェイ数	PMSGCONSEC	ランナウェイの最大数。ランナウェイはパイプライン・プール端末について入力が受け取られたものの、使用可能なものがなかったときに発生します。
パイプライン連続ランナウェイ数	PMSGGRPCNT	連続ランナウェイ数。ランナウェイはパイプライン・プール端末について入力が受け取られたものの、使用可能なものがなかったときに発生します。
端末に送信されたポーリング回数	POLLCNT	TCAM または BSAM のもとでは、端末に送信されたポーリングの数。このフィールドがブランクの場合は、アクセス方式が TCAM でも BSAM でもないことを意味します。
リモート CICS の端末名	REMOTENAME	リモート・システムでこの端末またはセッションが認識されるための名前。
リモート・システム名	REMOTESYSTEM	リモート端末の場合は、端末専有領域 (TOR) へのリンクの名前。セッションの場合は、関連するリモート・システムのシステム ID。
サービス状況	SERVSTATUS	端末が現在サービス中か、サービス休止中か、またはサービスを休止する途中かを示します。
ストレージの侵害回数	STGVCNT	端末で発生した記憶保護違反の数。
端末入出力領域 (TIOA) ストレージ	STORAGE	この端末に割り振ることが許される TIOA ストレージの量。
端末 ID	TERMID	インストール済み端末定義で指定されている端末名。 <ul style="list-style-type: none"> • MTERMNLD (MTERMNL から) • TERMNLD (MTERMNLD から)
トランザクション・エラー数	TERRCNT	開始できなかった端末に関連するトランザクションの数。
トランザクション数	TRANCNT	端末で開始された、非会話型と疑似会話型の両方のトランザクションの数。

表 56. MTERMNL ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
伝送エラー数または切断数	XERRCNT	端末の場合は記録されたエラーの数、EXCI セッションの場合は切断の数。

トランザクション・モニター・ビュー

「トランザクション・モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の CICS およびユーザー定義のトランザクションに関する情報が表示されます。注: このモニター・データは、CICSplex SM によりモニターされるトランザクションにのみ使用可能です。

ローカルまたは動的 - MLOCTRAN

「ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ」(MLOCTRAN) ビューは、モニターされるローカル・トランザクションと、ローカルに実行される動的トランザクションに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「トランザクション・モニター・ビュー」 > 「ローカルまたは動的」

表 57. 提供されている「ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ」(MLOCTRAN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMLOCTRAN.DETAIL1	選択したトランザクションの通信要求に関する詳細情報
ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMLOCTRAN.DETAIL2	選択したトランザクションの CICS BTS 要求に関する詳細情報
ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMLOCTRAN.DETAIL3	選択したトランザクションの TCP/IP 使用に関する詳細情報
ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMLOCTRAN.DETAILED	選択したトランザクションに関する詳細情報
ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMLOCTRAN.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからトランザクションを除去し、その累積統計を破棄します。
ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMLOCTRAN.RESET	トランザクションに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMLOCTRAN.TABULAR	モニター対象のローカルまたは動的トランザクションに関するテーブル形式の情報

アクション

表 58. MLOCTRAN ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからトランザクションを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	トランザクションに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
アクション・ミスマッチ数	ACTMISMATS	関係するリソース・マネージャー・コーディネーター (DB2、DBCTL、MRO、LU6.1、LU6.2、RMI など) が、このトランザクションについて CICS とは逆の方向に解決した強制未確定アクション解決の数。
TCTTE 割り振り要求の数	ALLOCATES	TCTTE 割り振り要求の数。
BTS 活動データ・コンテナ要求数	BAACDCCT	このトランザクションが発行した活動データ・コンテナの要求の平均回数。
BTS 獲得プロセス要求	BAACQPCT	このトランザクションが発行したプロセス/活動獲得の要求の平均回数。
BTS 活動定義要求数	BADACTCT	このトランザクションが発行した活動定義の要求の平均回数。
BTS 活動削除および取り消し要求数	BADCPACT	このトランザクションが発行した活動削除、およびプロセス/活動取り消しの要求の平均回数。
BTS 入力定義イベント要求数	BADFIECT	このトランザクションが発行した入力定義イベントの要求の平均回数。
BTS プロセス定義要求数	BADPROCT	このトランザクションが発行したプロセス定義の要求の平均回数。
BTS リンク要求数	BALKPACT	このトランザクションが発行したプロセス/活動リンクの要求の平均回数。
BTS プロセス・データ・コンテナ要求数	BAPRDCCT	このトランザクションが発行したプロセス・データ・コンテナの要求の平均回数。
BTS 実行非同期要求数	BARASYCT	非同期モードでこのトランザクションが発行したプロセス/活動実行の要求の平均回数。
BTS 再接続検索イベント要求数	BARATECT	このトランザクションが発行した検索/再接続イベントの要求の平均回数。
BTS 再開要求数	BARMPACT	このトランザクションが発行したプロセス/活動再開の要求の平均回数。
BTS リセット要求数	BARSPACT	このトランザクションが発行した Reset ACQprocess/Activity 要求の平均回数。
BTS 実行同期要求数	BARSYNCT	同期モードでこのトランザクションが発行したプロセス/活動実行の要求の平均回数。
BTS 一時停止要求	BASUPACT	このトランザクションが発行したプロセス/活動中断の要求の平均回数。
BTS タイマー関連イベント要求数	BATIAECT	このトランザクションが発行したタイマー関連イベントの要求の平均回数。このフィールドには次が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • DEFINE TIMER EVENT • CHECK TIMER EVENT • DELETE TIMER EVENT • FORCE TIMER EVENT
BTS 合計データ・コンテナ要求数	BATOTCCT	このトランザクションが発行したデータ・コンテナの要求の平均回数。
BTS 合計イベント要求数	BATOTECT	このトランザクションが発行したイベントの要求の平均回数。
BTS 合計要求数	BATOTPCT	このトランザクションが発行したプロセス/活動の要求の平均回数。
合計 BMS 要求数	BMSCOUNT	このトランザクションが発行した、端末管理または基本マッピング・サポート (BMS) 要求の数。MAP、IN、および OUT 要求を含みます。
BMS イン要求数	BMSINCNT	BMS イン要求の数。
BMS マップ要求数	BMSMAPCNT	BMS マップ要求の数。
BMS アウト要求数	BMSOUTCNT	BMS アウト要求の数。
CDSA getmain	CDSAGETM	CDSA GETMAIN 要求の数。
CDSA プログラム・ストレージ HWM	CDSAPSHWM	CDSA 内の最大プログラム・ストレージ。
CDSA ストレージ HWM	CDSASHWM	CDSA 内でこのトランザクションによって使用されるピーク・バイト数。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
CDSA 占有	CDSASOCC	CDSA 内のストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
CF データ・テーブル待ち回数	CFDTWC	トランザクションが共用一時記憶域リソースを待機した平均回数。
CF データ・テーブル待ち時間	CFDTWT	CFDT 入出力の完了を待つのに費やした平均時間。
1 次端末管理文字イン	CHARIN	受信した 1 次端末管理文字の数。
2 次端末管理文字イン	CHARINSEC	受信した 2 次端末管理文字の数。
1 次端末管理文字アウト	CHAROUT	送信された 1 次端末管理文字の数。
2 次端末管理文字アウト	CHAROUTSEC	送信された 2 次端末管理文字の数。
ディスパッチャー変更モード	CHMODECT	このトランザクションが発行した CICS ディスパッチャー TCB 変更モード要求の平均回数。
CICS 待ち回数	CICSWC	トランザクションが CICS リソースを待機した平均回数。こうした待機は、CICS リソースの内部待機の結果として生じるか、WAIT EVENT コマンドの発行の結果として生じます。
CICS 待ち時間	CICSWT	CICS リソースの待機に費やした平均時間。こうした待機は、CICS リソースの内部待機の結果として生じるか、WAIT EVENT コマンドの発行の結果として生じます。
ユーザー・タスク CPU 数	CPUCNT	ユーザー・タスクが CPU にアクセスした回数。
ユーザー・タスク CPU 時間	CPUTIME	各 CICS TCB でトランザクションがディスパッチされたプロセッサ時間の長さ。
放棄制御待ち回数	CTLWC	トランザクションが制御を他のトランザクションに引き渡した平均回数。POST、DELAY INTERVAL(0)、CHANGE PRIORITY、または SUSPEND コマンドを発行した結果として、トランザクションは制御を引き渡すことがあります。
放棄制御待ち時間	CTLWT	トランザクションが制御を他のトランザクションに引き渡した後に費やした平均時間。POST、DELAY INTERVAL(0)、CHANGE PRIORITY、または SUSPEND コマンドを発行した結果として、トランザクションは制御を引き渡すことがあります。
現行サンプルに対する平均 CPU 時間	CURAVGCPUT	最後のサンプル期間中に、トランザクションがディスパッチされたプロセッサ時間の平均。
現行サンプルの平均応答時間	CURAVGRES	最後のサンプル期間中のトランザクションの平均応答時間。
現行サンプルに対するトランザクション比率	CURTRANRATE	最後のサンプル期間中に、トランザクションが使用された比率。
DB2 接続 (TCB) 回数	DB2CONWC	DB2 データベース接続が完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均回数。
DB2 接続待ち時間	DB2CONWT	DB2 データベース接続が完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均時間。
DB2 ReadyQ 待ち回数	DB2RDYQC	このトランザクションが DB2 ReadyQ で待機して費やした平均回数。
DB2 ReadyQ 待ち時間	DB2RDYQW	このトランザクションが DB2 ReadyQ で待機して費やした平均時間。
DB2 合計要求数	DB2REQCT	このトランザクションが発行した DB2 データベース要求 (SQL および IFI) の平均回数。
DB2 要求待ち時間	DB2WAIT	DB2 データベース要求が完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均時間。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
DB2 要求待ち回数	DB2WAITC	DB2 データベース要求が完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均回数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
文書作成要求数	DHCRECT	このトランザクションが発行した文書作成の要求の平均回数。
文書挿入要求数	DHINSCT	このトランザクションが発行した文書挿入の要求の平均回数。
文書検索要求数	DHRETCT	このトランザクションが発行した文書検索の要求の平均回数。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
文書設定要求数	DHSETCT	このトランザクションが発行した文書設定の要求の平均回数。
文書合計要求数	DHTOTCT	このトランザクションが発行した文書処理の要求の平均総数。
文書作成の合計長	DHTOTDCL	このトランザクションが作成した文書の平均の長さ。
タスク・ディスパッチ数	DISPCNT	トランザクションがディスパッチされた回数。
タスク・ディスパッチ時間	DISPTIME	トランザクションがディスパッチされた経過時間。
初回ディスパッチ遅延	DSPDELAY	最初のディスパッチの待機に費やした時間の長さ。
初回ディスパッチ遅延回数	DSPDELAYCT	最初のディスパッチの待機に費やした時間の長さ。
ECDSA getmain	ECDSAGETM	ECDSA GETMAIN 要求の数。
ECDSA プログラム・ストレージ HWM	ECDSAPSHWM	ECDSA 内の最大プログラム・ストレージ。
ECDSA ストレージ HWM	ECDSASHWM	ECDSA のこのトランザクションで使用されるピーク・バイト数。
ECDSA 占有	ECDSASOCC	ECDSA 内のトランザクションのストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
タスク制御 ENQ 遅延時間	ENQDELAY	タスク制御エンキューの待機に費やした時間の長さ。
KC ENQ 遅延回数	ENQDELAYCT	タスク制御エンキューの待機に費やした時間の長さ。
外部待ち回数	EXTERNWC	トランザクションが CICS の外部にあるリソースを待機した平均回数。こうした待機は、WAIT EXTERNAL コマンドの発行の結果として生じるか、ファイル入出力の完了などの外部イベントを CICS が待機する結果として生じます。
外部待ち時間	EXTERNWT	CICS の外部にあるリソースを待機するために費やした平均時間。こうした待機は、WAIT EXTERNAL コマンドの発行の結果として生じるか、ファイル入出力の完了などの外部イベントを CICS が待機する結果として生じます。
例外待ち時間	EXWAIT	トランザクションが例外条件で待機した合計経過時間。
例外待ち回数	EXWAITCNT	トランザクションが例外条件で待機した回数。
ファイル追加回数	FCADDCNT	このトランザクションが発行したファイル制御の add/new レコード書き込み要求の総数。
アクセス方式要求数	FCAMCNT	アクセス方式要求の数。
ファイル・ブラウズ回数	FCBRWCNT	このトランザクションが発行したファイル制御の getnext および getprevious 要求の総数。
合計ファイル制御要求数	FCCOUNT	このトランザクションが発行したファイル制御要求の平均数。ただし、OPEN、CLOSE、ENABLE、および DISABLE 要求は除きます。
ファイル削除回数	FCDELCNT	このトランザクションが発行したファイル制御の削除要求の総数。
ファイル取得回数	FCGETCNT	このトランザクションが発行したファイル制御の get/read 要求の総数。
ファイル制御入出力待ち回数	FCIOCNT	ユーザー・トランザクションがファイル制御の入出力操作を待機した回数。
ファイル制御入出力待ち時間	FCIOTIME	入出力操作の待機に費やした時間の長さ。
ファイル・プット回数	FCPUTCNT	このトランザクションが発行したファイル制御の put/write 要求の総数。
未確定による強制アクション	FORACTINDTO	トランザクション定義が未確定待機のタイムアウト値を指定し、その値を超えたために発生した強制未確定アクション解決の数。
待ちなしによる強制アクション	FORACTNOWT	リカバリー可能リソースまたはリソース・マネージャー・コーディネーター (LU6.1、MRO、RMI、DB2、または DBCTL など) が未確定待機をサポートできなかったために発生した、強制未確定アクション解決の数。
オペレーターによる強制アクション	FORACTOPER	オペレーターが未確定解決の待機を取り消したために発生した、強制未確定アクション解決の数。
その他の理由による強制アクション	FORACTOTHER	このビューでリストされた理由以外で発生した強制未確定アクション解決の数。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
トランザクション定義による強制アクション	FORACTTRNDF	トランザクション定義が未確定待機をサポートしないために発生した強制未確定アクション解決の数。
シスプレックス全体にわたる ENQ 遅延回数	GNQDELAC	グローバル・エンキューを待機してこのトランザクションが費やした平均回数。
シスプレックス全体にわたる ENQ 遅延時間	GNQDELAY	グローバル・エンキューを待機してこのトランザクションが費やした平均時間。
間隔制御要求数	ICCOUNT	このトランザクションが発行したインターバル制御の START または INITIATE 要求の数。
合計間隔制御要求数	ICTOTCNT	<p>インターバル制御要求の総数。これは START、CANCEL、RETRIEVE、INITIATE、および DELAY 要求の総数であり、DELAY INTERVAL(0) 要求は除外されます。</p> <p>これは、このビューの他の箇所で表示される START 要求と INITIATE 要求のカウンとは異なっています。そちらのフィールドには CANCEL、RETRIEVE、または DELAY 要求の数は含まれませんが、それは CICS のすべてのリリースで使用可能です。こちらのフィールドはより多くの要求をカウントしますが、最近のリリースの CICS だけで使用可能です。</p>
IMS 合計要求数	IMSREQCT	このトランザクションが発行した IMS データベース要求の平均回数。
IMS 要求待ち時間	IMSWAIT	IMS データベース要求が完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均時間。
IMS 要求待ち回数	IMSWAITC	IMS データベース要求が完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均回数。
間隔の平均 CPU 時間	INTAVGCPUT	モニター・インターバル全体で、トランザクションがディスパッチされたプロセッサ時間の平均。
間隔の平均応答時間	INTAVGRES	モニター・インターバル全体でのトランザクションの平均応答時間。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔のトランザクション比率	INTTRANRATE	モニター・インターバル全体で、トランザクションが使用された平均比率。
間隔制御待ち回数	INTVLWC	トランザクションがインターバル制御機能の待機に入った平均回数。
間隔制御待ち時間	INTVLWT	インターバル制御機能の待機に費やした平均時間。
領域内入出力待ち回数	IRIOCNT	このトランザクションが発行した領域間入出力要求の数。
領域内入出力待ち	IRIOTIME	領域間の入出力待ちに費やした合計時間。
分離状況	ISOLATEST	トランザクションのユーザー・キーの、タスクと同じ寿命を持つストレージが、他のトランザクションのユーザー・キー・プログラムから分離されているかどうかを示しています。
J8 TCB モードの CPU カウント	J8CPUC	J8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが CPU を使用した平均回数。このモードは Java アプリケーションによって使用されます。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
J8 TCB モードの CPU 時間	J8CPUT	J8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが使用した平均 CPU 時間。このモードは Java アプリケーションによって使用されます。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
ジャーナル管理入出力待ち回数	JCIOCNT	ジャーナル管理入出力待ち回数。
ジャーナル管理入出力待ち時間	JCIOTIME	ジャーナル管理の入出力待ちに費やした合計時間。
ジャーナル出力要求数	JCUSRWcnt	トランザクションの間に発行されたジャーナル出力要求の数。
ジャーナル書き込み要求数	JNLWRTCT	このトランザクションが発行したジャーナル書き込み要求の数。
合計 JVM 中断時間	JVMSUSP	Java 仮想マシン (JVM) として実行している間に、このトランザクションが中断されて CICS に戻された経過時間。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
合計 JVM 中断時間カウント	JVMSUSPC	Java 仮想マシン (JVM) として実行している間に、このトランザクションが中断されて CICS に戻された回数。
合計 JVM 経過時間	JVMTIME	このトランザクションが Java 仮想マシン (JVM) として実行するのに費やした経過時間。中断状態の時間を含みます (JVM 中断時間を参照)。
合計 JVM 経過時間カウント	JVMTIMEC	合計 JVM 経過時間カウント。
L8 TCB モードの CPU カウント	L8CPUC	L8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが CPU を使用した平均回数。このモードを使用するのは、DB2 要求 (DB2 バージョン 6 以上であることが必要) を発行するときに CONCURRENCY=THREADS SAFE として定義されているプログラムです。
L8 TCB モードの CPU 時間	L8CPUT	L8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが使用した平均 CPU 時間。このモードを使用するのは、DB2 要求 (DB2 バージョン 6 以上であることが必要) を発行するときに CONCURRENCY=THREADS SAFE として定義されているプログラムです。
ローカル動的ルーティング出口ルーチンがトランザクションを実行した回数	LOCALCNT	動的トランザクション・ルーティング出口がローカル・システム上でこのトランザクションを実行することを選んだ回数。トランザクションが DYNAMIC=YES と定義されていない場合、この値はゼロです。
ロック・マネージャー待ち回数	LOCKMWC	CICS ロック・マネージャーが管理するロックを、トランザクションが待機した平均回数。
ロック・マネージャー待ち時間	LOCKMWT	CICS ロック・マネージャーが管理するロックの待機に費やした平均時間。
CICS ロガー書き込み要求数	LOGWRTCT	このトランザクションが発行した CICS ロガー書き込み要求の数。
LU6.1 入出力待ち時間	LU61WTT	LU6.1 接続またはセッションで、ユーザー・トランザクションが入出力を待機した時間の長さ。
LU6.1 入出力待ち回数	LU61WTTCT	LU6.1 接続またはセッションで、入出力を待機した平均時間。
LU6.2 入出力待ち時間	LU62WTT	LU6.2 接続またはセッションで、ユーザー・トランザクションが入出力を待機した時間の長さ。
LU6.2 入出力待ち回数	LU62WTTCT	LU6.2 接続またはセッションで、入出力を待機した平均時間。
他の TCB モードの CPU カウント	MSCPUC	このトランザクションが CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP TCB モードでディスパッチされたときに CPU を使用した平均回数。JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
他の TCB モードの CPU 時間	MSCPUT	このトランザクションが CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP TCB モードでディスパッチされたときに使用した平均 CPU 時間。JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
他の TCB モード・ディスパッチ回数	MSDISPC	このトランザクションが CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP TCB モードでディスパッチされた平均回数。JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
他の TCB モード・ディスパッチ時間	MSDISPT	このトランザクションが CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP TCB モードのディスパッチに費やした平均時間。JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
1 次端末管理メッセージイン	MSGIN	受信した 1 次端末管理メッセージの数。
2 次端末管理メッセージイン	MSGINSEC	受信した 2 次端末管理メッセージの数。
1 次端末管理メッセージアウト	MSGOUT	送信された 1 次端末管理メッセージの数。
2 次端末管理メッセージアウト	MSGOUTSEC	送信された 2 次端末管理メッセージの数。
初回ディスパッチ遅延	MXTDELAY	システム・パラメーター MXT によって設定された限界に達したために、最初のディスパッチの待機に費やした時間の長さ。
初回ディスパッチ遅延 MXT 数	MXTDELAYCT	システム・パラメーター MXT によって設定された限界に達したために、最初のディスパッチの待機に費やした時間の長さ。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
最大 TCB オープン 遅延回数	MXTOTDLC	MAXOPENTCBS Open TCB 限度での待機により、このトランザクションが引き起こした平均遅延数 (フリーのオープン TCB があったものの、このタスクで使用できなかったものを含む)。オープン TCBS は: L8、J8。J8 の TCB は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
最大 TCB オープン 遅延時間	MXTOTDLY	MAXOPENTCBS Open TCB 限度での待機により、このトランザクションが引き起こした平均遅延 (フリーのオープン TCB があったものの、このタスクで使用できなかったものを含む)。オープン TCBS は: L8、J8。J8 の TCB は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
未確定待機数	NUMINDOUBWT	未確定待機の数。
16M 未満の R/O プログラム・ストレージ HWM	PC24RHWM	読み取り専用の動的ストレージ域 (RDSA) において、16MB ライン未満でトランザクションにより使用中のプログラム・ストレージの最大量。
16M 未満の共用プログラム・ストレージ HWM	PC24SHWM	共用動的ストレージ域 (SDSA) において、16MB ライン未満でトランザクションにより使用中のプログラム・ストレージの最大量。
16M を超える共用プログラム・ストレージ HWM	PC31SHWM	拡張共用動的ストレージ域 (ESDSA) において、16MB ラインを超えてトランザクションにより使用中のプログラム・ストレージの最大量。
分散プログラム・リンク数	PCDPLCT	このトランザクションが、他の CICS システムへの CICS プログラム制御の分散プログラム・リンクを発行した平均回数。
プログラム・リンク数	PCLINKCNT	プログラム・リンク要求の数。
プログラム・ロード数	PCLOADCNT	プログラム・ロード要求の数。
プログラム取り出し待ち時間	PCLOADTM	プログラム取り出しの待ち時間。
プログラム取り出し待ち回数	PCLOADWCNT	プログラム取り出しの待機カウント。
URM リンク数	PCLURMCT	このトランザクションが発行したユーザー関連モジュールへのリンクの平均数。
プログラム XCTL 数	PCXCTLCNT	プログラム XCTL の数。
パフォーマンス・レコード・カウント	PERRECNT	このトランザクションについて、CICS/ESA モニター機能 (CMF) によって書き込まれたパフォーマンス・レコードの数。
トランザクション優先順位	PRIORITY	CICS システム内の他のトランザクションと比較した場合のこのトランザクションの優先度。
最初のプログラム	PROGRAM	このトランザクションが開始されるときに実行される最初のプログラムの名前。
16M 未満のプログラム・ストレージ HWM	PSTG24HWM	16M 未満の最大プログラム・ストレージ。
16M を超えるプログラム・ストレージ HWM	PSTG31HWM	16M を超える最大プログラム・ストレージ。
プログラム・ストレージ HWM	PSTGHWM	全 DSA にわたる最大プログラム・ストレージ。
QR TCB モードの CPU カウント	QRCPUC	QR の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが CPU を使用した回数。
QR TCB モードの CPU 時間	QRCPUT	QR の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが使用した CPU 時間。
QR TCB モード・ディスパッチ回数	QRDISPC	このトランザクションがディスパッチされるのに QR TCB モードで費やした回数。
QR TCB モード・ディスパッチ時間	QRDISPT	このトランザクションがディスパッチされるのに QR TCB モードで費やした時間。
QR TCB モード遅延回数	QRMODDLC	ディスパッチされるのを待機してこのトランザクションが QR TCB モードに費やした回数。他の TCB モードから QR TCB モードへのスイッチバックを待機した回数を含みます。
QR TCB モード遅延時間	QRMODDLY	QR TCB モード遅延時間。
ルーティング出口ルーチンがリモートで実行した回数	REMOTECNT	動的トランザクション・ルーティング出口がリモート・システム上でこのトランザクションを実行することを選んだ回数。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
リモート開始回数	REMSTARTCNT	リモート・システム上でこのトランザクションを開始しようと試みた回数。それは成功した開始の数と同じとは限りません。
累積応答時間	RESPONSE	累積のトランザクション応答時間。
再始動回数	RESTARTCNT	RECEDA キーワードが指定されている場合、アペンド後にトランザクションが再始動した平均回数。
RLS CPU 時間のモニター数	RLSCPUCNT	RLS CPU 時間のモニター数。
RLS SRB CPU 時間	RLSCPUT	RLS SRB で費やされた CPU 時間の平均。
RLS 入出力待ちの合計時間	RLSWAIT	このトランザクションが RLS ファイル入出力を待機した経過時間。
タスク一時停止回数	RLSWAITCNT	このトランザクションに対する RLS 待機の数。
合計 RMI 一時停止時間	RMISUSP	リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) にある間に、トランザクションがディスパッチャーによって中断された時間の長さ。
合計 RMI 一時停止回数	RMISUSPCT	合計 RMI 中断カウント。
合計 RMI 経過時間	RMITIME	トランザクションがリソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした時間の長さ。
合計 RMI 経過時間回数	RMITIMECT	合計 RMI 経過カウント。
RRMS/MVS 同期点遅延回数	RRMSWAIC	RRMS/MVS との同期点調整を待機してこのトランザクションが費やした平均回数。
RRMS/MVS 同期点遅延時間	RRMSWAIT	RRMS/MVS との同期点調整を待機してこのトランザクションが費やした平均時間。
リモート・システム ID	RSYSID	静的または動的にこのトランザクションがルーティングされたリモート・システムの CICS システム ID。
同期トランザクションの実行待ち回数	RUNTRWTC	同期的に接続したトランザクションが完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均回数。
同期トランザクションの実行待ち時間	RUNTRWTT	同期的に接続したトランザクションが完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均時間。
S8 TCB モードの CPU カウント	S8CPUC	S8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが CPU を使用した平均回数。このモードはセキュア・ソケット呼び出しの実行時に使用されます。
S8 TCB モードの CPU 時間	S8CPUT	S8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが使用した平均 CPU 時間。このモードはセキュア・ソケット呼び出しの実行時に使用されます。
16M 未満の共用ストレージ解放バイト	SC24FSHR	CDSA または SDSA において、16MB ライン未満でこのトランザクションが FREEMAIN した共用ストレージのバイト数。
16M 未満の共用ストレージ獲得バイト	SC24GSHR	CDSA または SDSA において、16MB ライン未満でこのトランザクションが GETMAIN した共用ストレージのバイト数。
16M 未満の共用ストレージ要求	SC24SGCT	CDSA または SDSA において、16MB ライン未満の共用ストレージに対してこのトランザクションが発行した GETMAIN 要求の数。
16M を超える共用ストレージ解放バイト	SC31FSHR	ECDSA または ESDSA において、16MB ラインを超えてこのトランザクションが FREEMAIN した共用ストレージのバイト数。
16M を超える共用ストレージ獲得バイト	SC31GSHR	ECDSA または ESDSA において、16MB ラインを超えてこのトランザクションが GETMAIN した共用ストレージのバイト数。
16M を超える共用ストレージ getmain	SC31SGCT	ECDSA または ESDSA において、16MB ラインを超えた共用ストレージに対してこのトランザクションが発行した GETMAIN 要求の数。
共用一時記憶域待ち回数	SHDTSWC	トランザクションが共用一時記憶域リソースを待機した平均回数。
共用一時記憶域待ち時間	SHDTSWT	共用一時記憶域リソースの待機に費やした平均時間。
暗号化解除ソケット・バイト数	SOBYDECT	このトランザクションによって暗号化解除され、TCP/IP ソケット・インターフェース上で渡された平均バイト数。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
暗号化ソケット・バイト数	SOBYENCT	このトランザクションによって暗号化され、TCP/IP ソケット・インターフェース上で渡された平均バイト数。
ソケット入出力待ち回数	SOIOWTC	ソケット送信または受信が完了するのを待機してこのトランザクションが費やした平均回数。 この数値には、このトランザクションが SO、SL、S8 の TCB モードで待機した回数が含まれます。
ソケット入出力待ち時間	SOIOWTT	ソケット送信または受信が完了するのを待機してこのトランザクションが費やした平均時間。 この時間には、このトランザクションが SO、SL、S8 の TCB モードで費やした時間が含まれます。
CF データ・テーブル・サーバー同期点待ち回数	SRVSPWC	トランザクションが CFDT 同期点の完了を待機した平均回数。
CF サーバー同期点待ち時間	SRVSPWT	CFDT 同期点の完了を待つのに費やした平均時間。
使用可能状況	STATUS	トランザクションの使用可能状況。これは、それが使用可能かどうかを示します。
ストレージの侵害回数	STGVCNT	CICS ストレージ管理によって検出された、このトランザクションの記憶保護違反の平均回数。
タスク一時停止回数	SUSPCNT	トランザクションがディスパッチャーによって中断された回数。
タスク一時停止時間	SUSPTIME	トランザクションがディスパッチャーによって中断されたために生じた待ち時間。以下の時間が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> 最初のディスパッチを待っていた時間 タスクの中断 (待ち) 時間 中断されていたタスクの再開後に再ディスパッチを待っていた時間
同期点要求数	SYNCCOUNT	トランザクションの間に発行された SYNCPOINT 要求の数。
親同期点待ち遅延時間	SYNCDLY	このトランザクションが (その更新がコミットされるように) その親トランザクションを同期点まで待機するのに費やした平均時間。
親同期点遅延待ち回数	SYNCDLYC	このトランザクションが (その更新がコミットされるように) その親トランザクションを同期点まで待機するのに費やした平均回数。
同期点要求処理の合計時間	SYNCTIMCNT	このトランザクションが同期点要求を処理した回数。
同期点待ち時間	SYNCTIME	このトランザクションがディスパッチされ、同期点要求を処理していて経過した合計時間。
FEPI 割り振りタイムアウト回数	SZALLCTO	会話の割り振りを待っている間にユーザー・トランザクションがタイムアウトになった回数。
FEPI 割り振り数	SZALLOCT	FEPI ALLOCATE POOL または FEPI CONVERSE POOL 要求の結果として、ユーザー・トランザクションが割り振った会話の数。
FEPI 受信文字数	SZCHRIN	FEPI を介してユーザー・トランザクションが受信した文字数。
FEPI 送信文字数	SZCHROUT	FEPI を介してユーザー・トランザクションが送信した文字数。
FEPI 受信数	SZRCVCT	ユーザー・トランザクションによって行われる FEPI RECEIVE 要求の数。
FEPI 受信タイムアウト回数	SZRCVTO	データの受信を待っている間にユーザー・トランザクションがタイムアウトになった回数。
FEPI 送信数	SZSENDCT	ユーザー・トランザクションにより行われた FEPI SEND および FEPI CONVERSE 要求の数。
FEPI 開始回数	SZSTRCT	ユーザー・トランザクションにより行われた FEPI START 要求の数。
合計 FEPI 要求数	SZTOTCT	ユーザー・トランザクションにより行われた FEPI API および SPI 要求の総数。
FEPI 一時停止時間	SZWAIT	ユーザー・トランザクションがすべての FEPI サービスの待機に費やした合計時間。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
FEPI 一時停止時間回数	SZWAITCT	ユーザー・トランザクションが FEPI サービスを待機した回数。
ディスパッチャー TCB 接続数	TCBATTCT	このトランザクションが発行した CICS ディスパッチャー TCB 接続の平均回数。
LU6.2 2 次端末管理文字イン	TCC62IN2	ユーザー・トランザクションによって基本端末ファシリティから受信した文字数。
LU6.2 2 次端末管理文字アウト	TCC62OU2	ユーザー・トランザクションによって基本端末ファシリティに送信した文字数。
端末管理入出力待ち回数	TCIOCNT	端末管理の入出力待ちカウント。
端末管理入出力待ち時間	TCIOTIME	端末管理の入出力待ち時間。
初回ディスパッチ遅延・トランザクション・クラス	TCLDELAY	トランザクション・クラスに設定された限界に達したために、最初のディスパッチの待機に費やした時間の長さ。
初回ディスパッチ遅延回数	TCLDELAYCT	トランザクション・クラスに設定された限界に達したために、最初のディスパッチの待機に費やした時間の長さ。
LU6.2 2 次端末管理メッセージイン	TCM62IN2	LU6.2 の 2 次端末ファシリティから受信したメッセージの数。
LU6.2 2 次端末管理メッセージアウト	TCM62OU2	LU6.2 の 2 次端末ファシリティに送信したメッセージの数。
合計一時データ要求数	TDCOUNT	このトランザクションが発行した一時データ要求の平均数。GET、PUT、および PURGE 要求を含みます。
一時データ取得回数	TDGETCNT	一時データ取得要求の数。
一時データ入出力待ち回数	TDIOCNT	一時データ入出力要求の数。
一時データ入出力待ち時間	TDIOTIME	このトランザクションが一時データを待機した経過時間。
一時データ・ページ回数	TDPURCNT	一時データ・ページ要求の数。
一時データ・プット回数	TDPUTCNT	一時データ・プット要求の数。
端末 ID	TERMID	このトランザクションに関連付けられた端末 ID。
端末ストレージ	TERMSTG	トランザクションに関連する端末に割り振られた端末ストレージ (TIOA) の平均量。
MVS DS ストレージ制約待ち時間	TMRDSCWT	MVS DS ストレージ制約待ち時間。
トランザクション・クラス名	TRANCLASS	8 文字のトランザクション・クラス名。
トランザクション	TRANID	4 文字のトランザクション名。
合計一時記憶域要求数	TSCOUNT	このトランザクションが発行した一時記憶域要求の平均数。GET、PUT、および PURGE 要求を含みます。
一時記憶域の取得数	TSGETCNT	一時記憶域取得要求の数。
一時記憶域入出力待ち回数	TSIOCNT	一時記憶域の入出力待ちカウント。
一時記憶域入出力待ち時間	TSIOTIME	一時記憶域の入出力待ち時間。
補助記憶域への TS 書き込み数	TSPUTACNT	補助記憶域への TS 書き込み数。
主記憶域への TS 書き込み数	TSPUTMCNT	主記憶域への TS 書き込み数。
使用回数	USECOUNT	最後のモニター間隔中に、トランザクションが使用された回数。
16M 未満のプログラム・ストレージ HWM	USRP24HWM	16MB ライン未満でトランザクションにより使用中のプログラム・ストレージの最大量。
16M を超えるプログラム・ストレージ HWM	USRP31HWM	16MB ラインを超えてトランザクションにより使用中のプログラム・ストレージの最大量。
16M 未満のユーザー getmain 数	USTG24CNT	16M 未満のユーザー GETMAIN 要求の数。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
16M 未満のユーザー・タスク・ストレージ HWM	USTG24HWM	16M 未満のユーザー・タスク・ストレージのピーク・バイト数。
16M 未満のユーザー・タスク・ストレージ占有	USTG24OCC	16M ライン未満のユーザー・タスクのストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
16M を超えるユーザー getmain 数	USTG31CNT	16M を超えるユーザー GETMAIN 要求の数。
16M を超えるユーザー・タスク・ストレージ HWM	USTG31HWM	16MB ラインを超えるユーザー・タスク・ストレージのピーク・バイト数。
16M を超えるユーザー・タスク・ストレージ占有	USTG31OCC	16B ラインを超えるユーザー・タスクのストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
ディスパッチ待ち回数	WAITCNT	トランザクションが再ディスパッチを待機した回数。
ディスパッチ待ち時間	WAITTIME	トランザクションが再ディスパッチを待つのに費やした時間。
WEB 受信文字数	WBCHRIN	このトランザクションが発行した WEB 受信の結果として、WEB 経由で受信した平均文字数。
WEB 送信文字数	WBCHROUT	このトランザクションが発行した WEB 送信の結果として、WEB 経由で送信した平均文字数。
WEB 受信要求数	WBRCVCT	このトランザクションが発行した WEB 受信の要求の平均回数。
WEB リポジトリ書き込み回数	WBREPWCT	このトランザクションが発行した WEB リポジトリ書き込み要求の平均回数。
WEB 送信要求数	WSENDCT	このトランザクションが発行した WEB 送信の要求の平均回数。
WEB 合計要求数	WBTOTCT	このトランザクションが発行した WEB 要求の平均総数。これには、Web リポジトリ書き込み要求の数は含まれません。

リモート - MREMTRAN

「リモート・トランザクションのモニター・データ」(MREMTRAN) ビューは、モニターされるリモート・トランザクションに関する情報を表示します。リモート・トランザクションとは、ローカル CICS システムに対して定義されているものの、別の CICS システムにあるトランザクションです。動的トランザクションの場合、リモート名とシステム ID はトランザクションが実行される場所を反映します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「トランザクション・モニター・ビュー」 > 「リモート」

表 60. 提供されている「リモート・トランザクションのモニター・データ」(MREMTRAN) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
リモート・トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMREMTRAN.DETAILED	選択したトランザクションに関する詳細情報
リモート・トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMREMTRAN.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからトランザクションを除去し、その累積統計を破棄します。
リモート・トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMREMTRAN.RESET	トランザクションに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
リモート・トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMREMTRAN.TABULAR	モニター対象リモート・トランザクションに関するテーブル形式の情報

アクション

表 61. MREMTRAN ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからトランザクションを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	トランザクションに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 62. MREMTRAN ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現行サンプルの平均応答時間	CURAVGRES	最後のサンプル期間中のトランザクションの平均応答時間。応答時間は、トランザクションに入ってから、要求側に応答を返すまでで測定されます。
現行サンプルに対するトランザクション比率	CURTRANRATE	最後のサンプル期間中に、トランザクションが使用された比率。
モニター間隔に対する平均応答時間	INTAVGRES	モニター・インターバル全体でのトランザクションの平均応答時間。応答時間は、トランザクションに入ってから、要求側に応答を返すまでで測定されます。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
モニター間隔に対するトランザクション比率	INTTRANRATE	モニター・インターバル全体で、トランザクションが使用された平均比率。
領域内待ち時間	IRIOTIME	トランザクションが、領域間通信 (IRC) リンクのこちら側での制御を待つのに費やした時間の長さ。
リモートでトランザクションが実行された回数	REMOCTCNT	動的トランザクション・ルーティング出口がリモート・システム上でこのトランザクションを実行することを選んだ回数。
リモート・トランザクション ID	REMOTENAME	このトランザクションがリモート・システムで認識されるための名前。
リモート・システム名	REMOTESYSTEM	リモート・トランザクションがある CICS システムのシステム ID。
トランザクション開始回数	REMSTARTCNT	リモート・システム上でこのトランザクションを開始しようと試みた回数。それは成功した開始の数と同じとは限りません。
応答時間	RESPTIME	トランザクションに入ってから、要求側に応答を返すまでにかかった時間の長さ。
トランザクション・クラス名	TRANCLASS	8 文字のトランザクション・クラス名。
トランザクション	TRANID	ローカル CICS システムに認識されているトランザクションの名前。
トランザクションが使用された回数	USECOUNT	トランザクションが使用された回数。

一時データ・キュー・モニター・ビュー

「一時データ・キュー (TDQ) モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の区画内および区画外の一時データ・キューに関する情報が表示されます。「一時データ・キュー」ビューの使用可能性に関する詳細は、各ビュー記述を参照してください。

間接 - MINDTDQ

「間接一時データ・キューのモニター・データ」(MINDTDQ) ビューは、モニターされる間接一時データ・キューに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「一時データ・キュー・モニター・ビュー」 > 「間接」

表 63. 提供されている「間接一時データ・キューのモニター・データ」(MINDTDQ) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
間接一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMINDTDQ.DETAILED	選択したトランザクションに関する詳細情報
間接一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMINDTDQ.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから間接一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。
間接一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMINDTDQ.RESET	間接一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
間接一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMINDTDQ.TABULAR	モニター対象間接一時データ・キューに関するテーブル形式の情報

アクション

表 64. MINDTDQ ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから間接一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	間接一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 65. MINDTDQ ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現行サンプルの出力比率	CUROUTQRATE	最後のサンプル期間中に一時データ・キューに対して READ および WRITE 要求が発行された比率。
間接キュー名	INDIRECTNAME	この間接キューが指し示すキューの名前。
間接キュー・タイプ	INDIRECTTYPE	この間接キューが指し示すキューが、区画内、区画外、リモート、または間接のいずれであるかを示します。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔の出力比率	INTOUTQRATE	モニター・インターバル全体で、一時データ・キューに対して READ および WRITE 要求が発行された平均比率。
I/O 要求数	OUTCNT	間接一時データ・キューに対して行われた READ、WRITE および DELETE の数。
キュー ID	TDQUEUE	一時データ・キューの名前。

区画内 - MNTRATDQ

「区画内一時データ・キューのモニター・データ」(MNTRATDQ) ビューは、モニターされる区画内一時データ・キューに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「一時データ・キュー・モニター・ビュー」 > 「区画内」

表 66. 提供されている「区画内一時データ・キューのモニター・データ」(MNTRATDQ) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMNTRATDQ.DETAILED	選択した区画内一時データ・キューに関する詳細情報
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMNTRATDQ.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから区画内一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMNTRATDQ.RESET	区画内一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMNTRATDQ.TABULAR	モニター対象区画内一時データ・キューに関するテーブル形式の情報

アクション

表 67. MNTRATDQ ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから区画内一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	区画内一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 68. MNTRATDQ ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
ATI 機能	ATIFACILITY	自動トランザクション開始 (ATI) キューの場合、トリガー・レベルに達したときに開始されるトランザクションが、端末に関連付けられるかどうか (TERMINAL または NOTERMINAL) を示します。
ATI 端末 ID	ATITERMID	自動トランザクション開始 (ATI) が発生したときに、このキューに関連付けられる端末またはセッションの名前。ATI トランザクションが端末またはセッションを必要としない場合は、このフィールドはブランクです。
ATI トランザクション ID	ATITRANID	自動トランザクション開始 (ATI) トリガー・レベルに達したときに開始されるトランザクションの名前。
ATI ユーザー ID	ATIUSERID	端末に関連付けられていない、一時データのトリガー・レベル・トランザクションのユーザー ID を指定します。
現行サンプルの出力比率	CUROUTQRATE	最後のサンプル期間中に、WRITE 要求が一時データ・キューに発行された比率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔の出力比率	INTOUTQRATE	モニター・インターバル全体で、WRITE 要求が一時データ・キューに発行された平均比率。
項目数	NUMITEMS	キュー内のレコードの論理数。
I/O 要求数	OUTCNT	区画内一時データ・キューに対して行われた READ、WRITE、および DELETE の数。
使用可能状況	STATUS	キューがアプリケーションからアクセス可能かどうか (ENABLED または DISABLED) を示します。
キュー ID	TDQUEUE	一時データ・キューの名前。
トリガー・レベル	TRIGGERLEVEL	自動トランザクション開始 (ATI) が発生するために、その前に必要とされるキューへの出力の要求数。

リモート - MREMTDQ

「リモート一時データ・キューのモニター・データ」(MREMTDQ) ビューは、モニターされるリモート一時データ・キューに関する情報を表示します。リモート一時データ・キューは、ローカル CICS システムに定義されるキューですが、別の CICS システムにあります。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「一時データ・キュー・モニター・ビュー」 > 「リモート」

表 69. 提供されている「リモート一時データ・キューのモニター・データ」(MREMTDQ) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
リモート一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMREMTDQ.DETAILED	選択したリモート一時データ・キューに関する詳細情報
リモート一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMREMTDQ.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからリモート一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。
リモート一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMREMTDQ.RESET	リモート一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。
リモート一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMREMTDQ.TABULAR	モニター対象リモート一時データ・キューに関するテーブル形式の情報

アクション

表 70. MREMTDQ ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからリモート一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	リモート一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。

フィールド

表 71. MREMTDQ ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現行サンプルの出力比率	CUROUTQRATE	最後のサンプル期間中に一時データ・キューに対して READ および WRITE 要求が発行された比率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔の出力比率	INTOUTQRATE	モニター・インターバル全体で、一時データ・キューに対して READ および WRITE 要求が発行された平均比率。
I/O 要求数	OUTCNT	リモート一時データ・キューに対して行われた READ、WRITE、および DELETE の数。
Remote name (リモート名)	REMOTENAME	リモート・システムでこの一時データ・キューが認識されるための名前。
リモート・システム名	REMOTESYSTEM	一時データ・キューがあるリモート CICS システムのシステム ID。
キュー ID	TDQUEUE	ローカル CICS システムに認識されている一時データ・キューの名前。

区画外 - MXTRATDQ

「区画外一時データ・キューのモニター・データ」(MXTRATDQ) ビューは、モニターされる区画外一時データ・キューに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「一時データ・キュー・モニター・ビュー」 > 「区画外」

表 72. 提供されている「区画外一時データ・キューのモニター・データ」(MXTRATDQ) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
区画外一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMXTRATDQ.DETAILED	選択した区画外一時データ・キューに関する詳細情報
区画外一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMXTRATDQ.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから区画外一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。
区画外一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMXTRATDQ.RESET	区画外一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
区画外一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMXTRATDQ.TABULAR	モニター対象区画外一時データ・キューに関するテーブル形式の情報

アクション

表 73. MXTRATDQ ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから区画外一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	区画外一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 74. MXTRATDQ ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現行サンプルの出力比率	CUROUTQRATE	最後のサンプル期間中に一時データ・キューに対して READ および WRITE 要求が発行された比率。
使用可能状況	ENABLESTATUS	キューがアプリケーションからアクセス可能かどうかを示します。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔の出力比率	INTOUTQRATE	モニター・インターバル全体で、一時データ・キューに対して READ および WRITE 要求が発行された平均比率。
オープン状況	OPENSTATUS	キューがオープン、クローズ、または中間状態のいずれであるかを示します。
読み取りおよび書き込み要求数	OUTCNT	出力データ・セットへの WRITE または入力データ・セットからの READ の数。
キュー ID	TDQUEUE	一時データ・キューの名前。

第3章 ヒストリー・ビュー

「ヒストリー・ビュー」を使って、CICS ヒストリー・データを扱えます。

最近 - HTASK

「完了したタスク (ヒストリー)」 (HTASK) ビューには完了したタスクに関する情報が表示されます。CICSplex SM の管理対象となるシステムで以前に実行されていて、現在完了しているタスクです。タスクが完了すると、HTASK リソースから情報を取得できます。ただし、このタスクで CICSplex SM ヒストリー・レコードがアクティブになっている場合に限りです。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「ヒストリー・ビュー」 > 「ヒストリー・ビュー」 > 「最近」

表 75. 提供された「完了したタスク (ヒストリー)」 (HTASK) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL1	選択したタスクの ID 詳細
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL10	選択したタスクに関するプログラム・ストレージ情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL11	選択したタスクに関する JVM 使用情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL12	選択したタスクに関する共用ストレージ情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL13	選択したタスクに関する Web および文書要求情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL14	選択したタスクに関する FEPI 通信情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL15	選択したタスクに関するエンタープライズ Bean 使用情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL16	選択したタスクに関するリソース・マネージャー・インターフェース (RMI) 使用情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL17	タスク関連データ
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL2	選択したタスクに関するクロックおよびタイミングの情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL3	選択したタスクに関する設定情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL4	選択したタスクに関する要求数情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL5	選択したタスクに関する通信要求情報

表 75. 提供された「完了したタスク (ヒストリー)」 (HTASK) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL6	選択したタスクに関するストレージ使用情報。注: 以下の GETMAIN 要求テーブルでは、GETMAIN 要求は GCDSA に関して何も意味を持たないため、ブランクになります。
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL7	選択したタスクに関する TCP/IP 通信情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL8	選択したタスクに関する CICS BTS 要求情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAIL9	選択したタスクに関する CPU および TCB の情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.DETAILED	選択したタスクに関する詳細一般情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.TABULAR	現時点から指定の秒数以内に完了したタスクに関するテーブル形式の情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.TABULAR1	指定の開始時刻からある一定の期間 (秒数) 以内に完了したタスクに関するテーブル形式の情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.TABULAR2	開始時刻から終了時刻までに完了したタスクに関するテーブル形式の情報
完了したタスク (ヒストリー) EYUSTARTHTASK.TABULAR3	完了タスクの関連データに関するテーブル形式の情報

アクション

なし。

フィールド

表 76. HTASK ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現行 ABEND コード	ABCODEC	現行異常終了コードの ID。
オリジナル ABEND コード	ABCODEO	オリジナル異常終了コードの名前。
初期アプリケーション名	ACAPPLNAME	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションの名前。
初期アプリケーション・メジャー・バージョン	ACMAJORVER	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションのメジャー・バージョン。
初期アプリケーション・マイクロ・バージョン	ACMICROVER	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションのマイクロ・バージョン。
初期アプリケーション・マイナー・バージョン	ACMINORVER	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションのマイナー・バージョン。
初期アプリケーション操作	ACOPERNAME	このタスクに関連付けられている初期のアプリケーションが実行している操作。
初期プラットフォーム	ACPLATNAME	このタスクに関連付けられている初期のプラットフォームの名前。
BTS 活動 ID	ACTVTYID	このタスクが表す CICS ビジネス・トランザクション・サービス活動 ID。
BTS 活動名	ACTVTYNM	このタスクが表す CICS ビジネス・トランザクション・サービス活動名。
ALLOCATE 要求数	ALLOCATES	このタスクによる割り振り要求の合計数。
アプリケーション・ネーミング・プログラム名	APPLNAMEPROG	アプリケーション・ネーミング・プログラム名。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
アプリケーション・ネーミング・トランザクション名	APPLNAMETRAN	アプリケーション・ネーミング・トランザクション名。
EXEC CICS FREE CHILD コマンド数	ASFREECT	ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS FREE CHILD コマンドの数。
EXEC CICS FETCH コマンド数	ASFTCHCT	ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS FETCH コマンドの数。
EXEC CICS FETCH の待ち時間	ASFTCHWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> EXEC CICS FETCH CHILD コマンドの発行によってユーザー・タスクが子タスクを待機した時間。 完了していない子タスクのために EXEC CICS FETCH API の中断が必要になった回数。
EXEC CICS RUN TRANSID 遅延時間	ASRNATWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 非同期サービスのドメインで管理される子タスクの限度のためにユーザー・タスクが遅延した時間。 非同期サービスのドメインで管理される子タスクの限度のためにユーザー・タスクが遅延した回数。
EXEC CICS RUN TRANSID コマンド数	ASRUNCT	ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS RUN TRANSID コマンドの数。
非同期 API コマンド数	ASTOTCT	ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS 非同期 API コマンドの総数。
BTS 活動データ・コンテナ要求数	BAACDCCT	このタスクによって発行された活動データ・コンテナ要求の数。
BTS 獲得要求数	BAACQPCT	このタスクによって発行された CICS Business Transaction Server (BTS) プロセス/活動獲得要求の数。
BTS 活動定義要求数	BADACTCT	このタスクによって発行された活動定義要求の数。
BTS 活動削除および取り消し要求数	BADCPACT	このタスクによって発行された活動削除およびプロセス/活動取り消し要求の数。
BTS 入力定義イベント要求数	BADFIECT	このタスクによって発行された入力定義イベント要求の数。
BTS プロセス定義要求数	BADPROCT	このタスクによって発行されたプロセス定義要求の数。
BTS リンク要求数	BALKPACT	このタスクによって発行されたプロセス/活動リンク要求の数。
BTS プロセス・データ・コンテナ要求数	BAPRDCCT	このタスクによって発行されたプロセス・データ・コンテナ要求の数。
BTS 実行非同期要求数	BARASYCT	このタスクによって非同期モードで発行されたプロセス/活動実行要求の数。
BTS 再接続検索イベント要求数	BARATECT	このタスクによって発行された再接続検索イベント要求の数。
BTS 再開要求数	BARMPACT	このタスクによって発行されたプロセス/活動再開要求の数。
BTS リセット要求数	BARSPACT	このタスクによって発行されたプロセス/活動リセット要求の数。
BTS 実行同期要求数	BARSYNCT	このタスクによって同期モードで発行されたプロセス/活動実行要求の数。
BTS 一時停止要求	BASUPACT	このタスクによって発行されたプロセス/活動中断要求の数。
BTS タイマー関連イベント要求数	BATIAECT	このタスクによって発行されたタイマー関連イベント要求の数。このフィールドには次が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> DEFINE TIMER EVENT CHECK TIMER EVENT DELETE TIMER EVENT FORCE TIMER EVENT
BTS 合計データ・コンテナ要求数	BATOTCCT	このタスクによって発行されたデータ・コンテナ要求の合計数。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
BTS 合計イベント要求数	BATOTECT	このタスクによって発行されたイベント要求の合計数。
BTS 合計要求数	BATOTPCT	このタスクによって発行されたプロセス/活動要求の合計数。
合計 BMS 要求数	BMSCOUNT	このユーザー・タスクによって発行された端末管理、基本マッピング・サポート (BMS) 要求の数 (MAP、IN、および OUT 要求を含む)。
BMS マップイン 要求数	BMSINCNT	このタスクによる BMS マップイン 要求の数。
BMS マップ要求数	BMSMAPCNT	このタスクによる BMS マップ要求数。
BMS マップアウト 要求数	BMSOUTCNT	このタスクによる BMS マップアウト 要求の数。
ブリッジにより開始されたトランザクション ID	BRDGTRAN	このトランザクションが 3270 ブリッジ機能によって開始されたかどうかを示します。CICS モニターがオンになっていない場合、このフィールドには「No」と示されます。
ブリッジ・トランザクション ID	BRIDGE	3270 ブリッジによって開始されたこのトランザクションのオリジナル・トランザクション ID。
ワークロード・マネージャー開始 - 終了段階の完了	BTECOMP	処理要求 (トランザクション) の開始から終了までの全段階が完了しました。
CDSA における GETMAIN 要求数	CDSAGETM	CDSA GETMAIN 要求の総数。
CDSA における最大プログラム・ストレージ	CDSAPSHWM	CDSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
CDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数	CDSASHWM	CDSA のこのタスクで使用されるピーク・バイト数。
平均 CDSA ストレージ使用量	CDSASOCC	CDSA の平均ストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
CEC マシン・タイプ	CECMCHTP	CEC マシン・タイプ番号 (EBCDIC)。
CEC 型式番号	CECMDLID	CEC 型式識別番号 (EBCDIC)。
CFDT 待ち時間	CFDTWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが CFDT ファイル入出力を待機した経過時間。 タスクが CFDT ファイル入出力を待機した回数。
1 次 TC 受信文字数	CHARIN	受信した 1 次端末管理文字の数。
2 次 TC 受信文字数	CHARINSEC	このタスクによって受信された 2 次端末管理文字の数。
1 次 TC 送信文字数	CHAROUT	送信された 1 次端末管理文字の数。
2 次 TC 送信文字数	CHAROUTSEC	このタスクによって送信された 2 次端末管理文字の数。
CICS ディスパッチャーの変更モード数	CHMODECT	このタスクによって発行された CICS ディスパッチャーの TCB 変更モード要求の数。
CICS イベント待ち時間	CICSWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> CICS イベント待ち時間の合計。 タスクがイベントを待機した回数。
Client IP address	CLIPADDR	このタスクを開始したクライアントの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。
放棄制御待ち時間	CONTROLWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが制御を他のトランザクションに引き渡した後に費やした平均時間。 タスクが他のトランザクションに対する制御を中止した結果として待機した回数。
関連 UOW ID	CORREUOW	関連作業単位の ID。
ユーザー・タスク CPU 時間	CPUTIME	このタスクにより使用された CPU 時間 (秒数)。モニターが活動状態でない場合、値 0000:00:00.000000 が戻ります。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
CP での合計 CPU 時間	CPUTONCP	標準 CP でのタスク CPU 時間の合計
現在のタスク数	CURTASKS	ユーザー・タスクが接続された時点での現行タスク数の値。
DB2 接続 (TCB) 待ち時間	DB2CONWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクが DB2 接続が完了するのを待機するために費やした時間。 タスクが DB2 接続を待機した回数。
DB2 作動可能キュー待ち時間	DB2RDYQW	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクが DB2 作動可能キューで待機するために費やした時間。 タスクが DB2 作動可能キューで待機した回数。
合計 DB2 要求数	DB2REQCT	このタスクによって発行された DB2 データベース要求 (SQL および IFI) の数。
DB2 要求待ち時間	DB2WAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> DB2 データベース要求が完了するのをこのタスクが待機して費やした時間。 DB2 データベース要求が完了するのをタスクが待機した回数。 この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
トランザクション・タイプ詳細	DETTRANATYPE	トランザクション・タイプの詳細。有効な値は次のとおりです。BRIDGE、CICSBTs、DPL、MIRROR、NONE、ONCRPC、SYSTEM、WEB。
DOCUMENT CREATE 要求数	DHCRECT	このタスクによって発行された文書作成要求の数。
DOCUMENT INSERT 要求数	DHINSCT	このタスクによって発行された文書挿入要求の数。
DOCUMENT RETRIEVE 要求数	DHRETCT	このタスクによって発行された文書検索要求の数。
DOCUMENT SET 要求数	DHSETCT	このタスクによって発行された文書設定要求の数。
合計文書要求数	DHTOTCT	このタスクによって発行された文書処理要求の合計数。
作成された文書の全長	DHTOTDCL	このタスクによって作成された文書の長さの合計。
ユーザー・タスク・ディスパッチ時刻	DISPTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクがディスパッチされてからの経過時間。 このタスクがディスパッチされた回数。
ディスパッチャー割り振り pthread 待ち時間	DSAPTHWT	CICS ディスパッチャーが pthread を割り振るのをこのタスクが待機した合計時間。
初回ディスパッチ遅延時間	DSPDELAY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 最初のディスパッチを待機する経過時間。この時間には、MAXT または TRANCLASS 限界を待機する時間が含まれます。 最初のディスパッチにおける遅延数。
ECDSA における GETMAIN 要求数	ECDSAGETM	ECDSA GETMAIN 要求の総数。
ECDSA における最大プログラム・ストレージ	ECDSAPSHWM	ECDSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
ECDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数	ECDSASHWM	ECDSA のこのタスクで使用されるピーク・バイト数。
平均 ECDSA ストレージ使用量	ECDSASOCC	ECDSA の平均ストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
ローカル ENQ 遅延時間	ENQDELAY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスク制御エンキューを待機した経過時間。 このタスクがタスク制御エンキューを待機した回数。
ワークロード・マネージャー実行段階の完了	EXECOMP	処理要求 (トランザクション) の全実行段階が完了しました。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
外部待ち時間	EXTERNWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> CICS の外部にあるリソースを待機するために費やした平均時間。 タスクが CICS の外部にあるリソースを待機した回数。 こうした待機は、WAIT EXTERNAL コマンドの発行の結果として生じるか、ファイル入出力の完了などの外部イベントを CICS が待機する結果として生じます。
例外待ち時間	EXWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが例外条件で待機した合計経過時間。 タスクが例外条件で待機した回数。
基本機能	FACILITY	機能が一時データ・キュー、端末、またはシステムの場合、このタスクの起動に関連付けられた機能の名前。タスクが別の方法で開始された場合は、機能の値はブランクになります。FACILITYTYPE フィールドにタスクを開始させた機能のタイプが表示されるため、どの FACILITY を使用したかがわかります。
機能タイプ	FACILITYTYPE	このタスクを開始した機能のタイプ。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> TDQUEUE - CICS は、トリガー・レベルに達していた一時データ・キューを処理するためのタスクを開始しました。FACILITY フィールドからキューの名前が返されます。 START - 別のタスクが、端末を指定しなかった START コマンドでタスクを開始したか、CICS がタスクを内部で作成しました。この場合、FACILITY フィールドからはブランクが返されます。 TERMINAL - タスクが非送信請求入力を処理するために開始されたか、別のタスクが TERMID オプション付きの START コマンドでタスクを開始したかのいずれかです。前者の場合、FACILITY フィールドから入力データを送信した端末の名前が返され、後者の場合は、TERMID に指定された端末が返されます。
ファイル制御 ADD 要求数	FCADDCNT	このタスクによって発行されたファイル制御追加/新規レコードの書き込み要求の合計数。
ファイル制御アクセス方式要求数	FCAMCNT	このタスクによって発行されたファイル制御アクセス方式要求の合計数。
ファイル制御 BROWSE 要求数	FCBRWCNT	このタスクによって発行されたファイル制御ブラウズ要求の合計数。
合計ファイル制御要求数	FCCOUNT	このユーザー・タスクによって発行されたファイル制御要求の数 (OPEN、CLOSE、ENABLE、および DISABLE 要求を除く)。
ファイル制御 DELETE 要求数	FCDELCNT	このタスクによって発行されたファイル制御削除要求の合計数。
ファイル制御 READ 要求数	FCGETCNT	このタスクによって発行されたファイル制御読み取り要求の合計数。
ファイル制御入出力待ち時間	FCIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ファイル管理の入出力待ち時間の合計。 このタスクがファイル制御入出力を待機した回数。
ファイル制御 WRITE 要求数	FCPUTCNT	このタスクによって発行されたファイル制御書き込み要求の合計数。
ファイル制御 VSAM ストリング待ち時間	FCVSWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ファイル管理 VSAM ストリング待ち時間の合計。 このタスクがファイル制御 VSAM ストリングを待機した回数。タスクがストリングを待機している場合、VSAM ストリングの数を増やすことを検討してください。
ファイル制御の排他制御の待ち時間	FCXCWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ファイル制御の排他制御待ち時間の合計。 このタスクが制御インターバルの排他制御を待機した回数。
最初のプログラム名	FIRSTPRGM	タスク接続時間に起動される最初のプログラムの名前。
GCDSA における GETMAIN 要求数	GCDSAGETM	GCDSA GETMAIN 要求の総数。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
GCDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数 (4k ページ数)	GCDSASHWM	ユーザー・タスクに対して 2 GB 境界より上で CICS 動的ストレージ域 (GCDSA) に割り振られるユーザー・ストレージ (4K 単位に切り上げ) の最大量 (最高水準点)。
グローバル ENQ 遅延時間	GNQDELAY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> グローバル・エンキューを待機してこのタスクが費やした時間。 このタスクがグローバル ENQ を待機した回数。
GUDSA における GETMAIN 要求数	GUDSAGETM	GUDSA GETMAIN 要求の総数。
GUDSA のタスクで使用されるピーク・バイト数 (4k ページ数)	GUDSASHWM	ユーザー・タスクに対して 2 GB 境界より上でユーザー動的ストレージ域 (GUDSA) に割り振られるユーザー・ストレージ (4K 単位に切り上げ) の最大量 (最高水準点)。
間隔制御要求数	ICCOUNT	このタスクが発行したインターバル制御の START 要求または INITIATE 要求の数。これには、EXEC CICS START transid コマンドで開始されたトランザクションの数、自動トランザクション開始の数、および内部的に発行されたインターバル制御開始の数が含まれます。
合計 IMS 要求数	IMSREQCT	このタスクによって発行された IMS データベース要求の数。
IMS 要求待ち時間	IMSWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> IMS データベース要求が完了するのをこのタスクが待機して費やした時間。 IMS データベース要求が完了するのをタスクが待機した回数。
トランザクション未確定オプション	INDOUBT	CICS 領域が 2 フェーズ・コミット処理中にコーディネーターとの接続に失敗するかまたはそれを失い、UOW が未確定状態に入ったときにとられるアクションを示します。「待機オプション」フィールドで WAIT が指定された場合、待機時間の有効期限が切れるまで、このフィールドは無効です。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> BACKWARD - リカバリー可能リソースに対するすべての変更はバックアウトされ、リソースは UOW の開始前の状態に戻されます。 FORWARD - リカバリー可能リソースに対するすべての変更はコミットされ、実行中の UOW には完了というマークが付けられます。
リカバリー・マネージャー UOW 未確定の障害	INDOUBTFAIL	UOW が未確定状態に入った後に発生する障害からの保留リカバリーを、未確定 UOW が待機するかどうかを示します。有効な値は WAIT および NOWAIT です。
未確定待ち時間	INDOUBTWAIT	UOW が未確定状態に入った後に発生する障害からの保留リカバリーを、未確定 UOW が待機するかどうかを示します。有効な値は WAIT および NOWAIT です。
インターバル制御機能カウン ト	INTVLC	インターバル制御要求カウント。このタスクによって発行される START、DELAY、CANCEL、RETRIEVE、および DELAY 要求の数 (DELAY INTERVAL(0) 要求を除く)。
間隔制御遅延時間	INTVLWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> インターバル制御機能遅延時間の合計。 タスクがインターバル制御サービスの結果として待機した回数。
領域間通信 (MRO) 入出力待ち 時間	IRIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 領域内通信入出力の合計待機時間。 このタスクが領域内通信入出力を待機した回数。
IPIC セッション割り振り待ち の遅延時間	ISALWTT	このタスクが IPIC セッションの割り振りを待機するために費やした時間。
データ分離タイプ	ISOLATEST	ユーザー・キー・タスク存続期間ストレージが他のトランザクションのユーザー・キー・プログラムから分離されているかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> YES - ストレージは分離されます。 NO - ストレージは分離されていません。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
J8 TCB モードの CPU 時間	J8CPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> J8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが J8 TCB モードでディスパッチされた回数。 このモードは Java アプリケーションによって使用されます。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
ジャーナル管理入出力待ち時間	JCIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ジャーナル管理の入出力待ち時間の合計。 このタスクがジャーナル管理入出力を待機した回数。
ジャーナル出力要求数	JCUSRWCNT	このタスクによって発行されたジャーナル出力要求の数。
ジャーナル書き込み要求数	JRNLRWITREQ	このタスクによって発行されたジャーナル書き込み要求の数。
合計 JVM 中断時間	JVMSUSP	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> Java 仮想マシン (JVM) として実行している間に、このタスクが中断されて CICS に戻された経過時間。 Java 仮想マシン (JVM) として実行している間に、このタスクが CICS に戻って一時停止した回数。
合計 JVM 経過時間	JVMTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクが Java 仮想マシン (JVM) として実行するのに費やした経過時間。一時停止の時間を含みます (JVM 一時停止時間を参照)。 このタスクが Java 仮想マシン (JVM) として実行された回数。
L8 TCB モードの CPU 時間	L8CPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> L8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが L8 TCB モードでディスパッチされた回数。 このモードは、プログラムが DB2 要求を発行する際に CONCURRENCY=THREADS SAFE になるように定義されたプログラムによって使用されます。
ロック・マネージャー待ち時間	LOCKMGRWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクがリソースのロックを獲得するために待機した経過時間。 ユーザー・タスクがリソースのロックを獲得するために待機した回数。 ユーザー・タスクが明示的にリソースのロックを獲得することはできませんが、多くの CICS モジュールは、CICS ロック・マネージャー (LM) ドメインを使用することにより、ユーザー・タスクに代わってリソースをロックします。
CICS ロガー書き込み要求数	LOGGRWITREQ	このタスクによって発行された CICS ロガー書き込み要求の数。
論理区画名	LPARNAME	論理区画名 (EBCDIC)。
LU61 入出力待ち時間	LU61WTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> LU6.1 の入出力待ち時間の合計。 このタスクが LU6.1 入出力を待機した回数。
LU62 入出力待ち時間	LU62WTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> LU6.2 の入出力待ち時間の合計。 このタスクが LU6.2 入出力を待機した回数。
VTAM LU 名	LUNAME	このトランザクションに関連した端末の VTAM 論理装置の名前。
最大タスク数	MAXTASKS	ユーザー・タスクが接続された時点での最大タスク数の値。
ポリシー・タスク規則に基づいて起動されたアクションの数	MPPRTXCD	ポリシー・タスク・ルールによってトリガーされたアクション (メッセージ、イベント、異常終了) の数。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ポリシー・システム規則に基づいて起動されたアクションの数	MPSRACT	ポリシー・システム規則が「真」と評価され、アクションをトリガーした回数。
ポリシー・システム規則の評価回数	MPSRECT	ポリシー・システム・ルールが評価された回数。
他の TCB モードの CPU 時間	MSCPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP の TCB モードでディスパッチされた時にこのタスクが使用した CPU 時間。 CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP の TCB モードでこのタスクがディスパッチされた回数。 JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
他の TCB モード・ディスパッチ時間	MSDISPT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP の TCB モードでこのタスクがディスパッチされるのに費やした時間。 CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP の TCB モードでこのタスクがディスパッチされた回数。 JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
1 次 TC 受信メッセージ数	MSGIN	受信した 1 次端末管理メッセージの数。
2 次 TC 受信メッセージ数	MSGINSEC	このタスクによって受信された 2 次端末管理メッセージの数。
1 次 TC 送信メッセージ数	MSGOUT	送信された 1 次端末管理メッセージの数。
2 次 TC 送信メッセージ数	MSGOUTSEC	このタスクによって送信された 2 次端末管理メッセージの数。
MXT による初回ディスパッチ遅延時間	MXTDELAY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> システム・パラメーター MXT によって設定された限界に達しているために遅延した最初のディスパッチを待機する経過時間。 システム・パラメーター MXT によって設定された限界に達したために発生した、最初のディスパッチにおける遅延数。
最大 TCB オープン遅延時間	MXTOTDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> MAXOPENTCBS オープン TCB 限界で待機したためにこのタスクによって発生した遅延 (フリーのオープン TCB があってもこのタスクが使用できない場合も含む)。 タスクが MAXOPENTCBS オープン TCB 限界で待機した回数 (フリーのオープン TCB があってもこのタスクで使用できなかったものを含む)。
指定カウンターの取得要求数	NCGETCNT	指定カウンターの取得要求数。
LU 6.2 ネットワーク全体の UOW ネット名	NETNAME	発信システムのネットワーク名。
LU6.2 ネットワーク全体の UOW ID	NETUOWID	作業単位のネットワーク ID。
発信アダプター・データ 1	OADATA1	アダプターにより発信データに追加されたデータの最初のセクション。
発信アダプター・データ 2	OADATA2	アダプターにより発信データに追加されたデータの 2 番目のセクション。
発信アダプター・データ 3	OADATA3	アダプターにより発信データに追加されたデータの 3 番目のセクション。
発信アダプター ID	OADID	アダプターによって発信元データに追加されたアダプター ID。タスクがアダプターにより開始されなかった場合、またはタスクがアダプターにより開始されたが、アダプターがこの値を設定しなかった場合、このフィールドはブランクになります。
発信アプリケーション ID	OAPPLID	このタスクと関連付けられている発信記述子から取られたアプリケーション ID。
発信クライアント IP アドレス	OCLIPADR	発信クライアント (または Telnet クライアント) の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。
発信クライアント・ポート番号	OCLIPORT	発信クライアント (または Telnet クライアント) の TCP/IP ポート番号。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
発信機能名	OFCTYNME	発信トランザクションの機能名。発信トランザクションが機能と関連付けられていない場合、このフィールドはヌルとなります。トランザクション機能タイプ (存在する場合) は、トランザクション・フラグ OTRANFLG (370) フィールドのバイト 0 を使用して識別できます。
標準 CP でのオフロード適格	OFFLCPUT	オフロード適格であったにもかかわらず標準 CP で実行されたタスク CPU 時間の合計
発信ネットワーク ID	ONETWKID	タスクが実行された発信領域 APPLID のネットワーク修飾子。
発信ポート番号	OPORTNUM	発信 TCPIPService によって使用されるポート番号。
トランザクション起点タイプ	ORIGINTYPE	トランザクションのソース。これは、CICS トランザクション・マネージャーを使用してトランザクションが接続された基本トランザクション・クライアント・タイプを解釈したものです。
親タスク開始時刻	OSTART	親タスクが開始された時刻。時刻は GMT で表示されます。
発信 TCP/IP サービス	OTCPSVCE	発信 TCPIPService の名前。
発信トランザクション ID	OTRAN	親タスクが実行されたトランザクションの名前。
発信トランザクション・フラグ	OTRANFLG	発信トランザクション・フラグ。トランザクション定義および状況情報をシグナル通知するために使用される 64 ビットのストリング。
発信タスク ID	OTRANNUM	親タスクのタスク ID。
発信ユーザー関連データ	OUSERCOR	発信ユーザー関係子。
発信ユーザー ID	OUSERID	親タスクが実行されたユーザー ID。
RDSA における最大読み取り専用プログラム・ストレージ	PC24RHWM	ユーザー・タスクにより、読み取り専用動的ストレージ域 (RDSA) において 16 MB 境界の下で使用中のプログラム・ストレージの最大量 (最高水準点)。
SDSA における最大共用プログラム・ストレージ	PC24SHWM	共用動的ストレージ域 (SDSA) において 16 MB 境界より下のプログラム・ストレージをユーザー・タスクが使用した最大量 (最高水準点)。
ESDSA における最大共用プログラム・ストレージ	PC31SHWM	拡張共用動的ストレージ域 (ESDSA) において 16 MB 境界より上のプログラム・ストレージをユーザー・タスクが使用した最大量 (最高水準点)。
分散プログラム・リンク (DPL) 要求数	PCDPLCT	このタスクが別の CICS システムに対する CICS プログラム制御分散プログラム・リンクを発行した合計回数。
プログラム LINK 要求数	PCLINKCNT	このタスクによって発行されたプログラム・リンク要求の数。
プログラム LOAD 要求数	PCLOADCNT	このタスクによって発行されたプログラム・ロード要求の合計数。
プログラム・ロード時間	PCLOADTM	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> DFHRPL または動的 LIBRARY 連結からの取り出しをユーザー・タスクが待機した経過時間。 DFHRPL または動的 LIBRARY 連結からのプログラム取り出しをこのタスクが待機した回数。 この数値に含まれるのは、インストール済みのプログラム定義を持つプログラム、またはアプリケーション要求の結果として自動インストールされたプログラムの取り出しだけです。ただし、LPA に常駐しているインストール済みプログラムは、LIBRARY からの物理的な取り出しを発生させないので、含まれません。
ユーザー置き換え可能モジュール・リンク要求数	PCLURMCT	このタスクがユーザー置き換え可能モジュールへのリンクを発行した回数。
プログラム制御権移動 (XCTL) 要求数	PCXCTLCNT	このタスクによって発行されたプログラム XCTL 要求の数。
パフォーマンス・レコード数	PERFRECCNT	このタスクについて CICS Monitoring Facility (CMF) によって書き込まれたパフォーマンス・レコードの数。
タスクに割り振られる最大コンテナ・ストレージ	PGCSTHWM	このタスクに割り振られるコンテナ・ストレージの最大バイト数 (最高水準点)。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
直前のホップのアプリケーション ID	PHAPPLID	このタスクに関連付けられている別の CICS システムの直前のタスクの CICS システムの VTAM アプリケーション ID。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合は、ブランク。
直前のホップ・カウント	PHCOUNT	このタスクに関連付けられているタスクを開始するために、ある CICS システムから別のシステムに要求が行われた回数です。ただし、このコマンドが実行される CICS システムが発信元である場合はゼロです。
直前のホップのネットワーク修飾子	PHNTWKID	このタスクに関連付けられている直前のタスクの CICS システム VTAM アプリケーション ID のネットワーク修飾子。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合は、ブランク。
直前のホップのタスク開始時刻	PHSTART	このタスクに関連付けられていて、別の CICS 領域内にある直前のタスクの開始時刻。時刻の形式は、yyyymmddhhmmss.ssssss です。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合、このオプションは空白に設定されています。
直前のホップのトランザクション ID	PHTRAN	このタスクに関連付けられている別の CICS 領域の直前のタスクのトランザクション ID。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合は、ブランク。
直前のホップのタスク ID	PHTRANNO	このタスクに関連付けられている別の CICS 領域の直前のタスクのタスク ID。このコマンドを実行する CICS システムが起点になっている場合は、ブランク。
BTS プロセス ID	PRCSID	ユーザー・タスクが実装した CICS BTS ルート活動の CICS で割り当てられた ID。
BTS プロセス名	PRCSNAME	このタスクが表す CICS ビジネス・トランザクション・サービス・プロセス名。
BTS プロセス・タイプ	PRCSTYPE	このタスクが表す CICS ビジネス・トランザクション・サービス・プロセス・タイプ。
タスク優先順位	PRIORITY	タスクの合計優先度。合計優先度は、タスクに関連するユーザーの優先度、基本機能である端末の優先度、および実行中のトランザクションの優先度の合計です。
16 MB 未満の最大プログラム・ストレージ	PSTG24HWM	このユーザー・タスクにより使用中の 16 MB 境界未満のプログラム・ストレージの最大量。
16 MB を超える最大プログラム・ストレージ	PSTG31HWM	このユーザー・タスクにより使用中の 16 MB 境界を超えるプログラム・ストレージの最大量。
全 DSA にわたる最大プログラム・ストレージ	PSTGHWM	すべての DSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
直前のトランザクションのカウント	PTCOUNT	RUN TRANSID コマンドまたは TERMID オプションなしの START コマンドによって、このタスクに関連付けられているのと同じ CICS 領域でタスクを開始するように求める要求がローカル CICS 領域内のタスクから出された回数。そのような要求がなかった場合は、ゼロになります。
直前のトランザクションのタスク開始時刻	PTSTART	このタスクに関連付けられている同じ CICS 領域内の直前のタスク (親タスク) の開始時刻。時刻の形式は、yyyymmddhhmmss.ssssss です。このタスクに直接の親タスクがない場合や、このタスクがこの要求の起点である場合、このオプションはブランクになります。
直前のトランザクションのトランザクション ID	PTTRAN	このタスクに関連付けられている同じ CICS 領域内の直前のタスク (親タスク) のトランザクション ID。このタスクに直接の親タスクがない場合や、このタスクがこの要求の起点である場合はブランクになります。
直前のトランザクションのタスク ID	PTTRANNO	このタスクに関連付けられている同じ CICS 領域内の直前のタスク (親タスク) のタスク ID。このタスクに直接の親タスクがない場合や、このタスクがこの要求の起点である場合は、ゼロになります。
QR TCB モードでの実行中に使用された CPU 時間	QRCPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> QR の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが QR TCB モードでディスパッチされた回数。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
QR TCB モードでの実行中のディスパッチ時間	QRDISPT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクがディスパッチされるのに QR TCB モードで費やした時間。 このタスクが QR TCB モードでディスパッチされた回数。
QR TCB モード遅延時間	QRMODDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクが QR TCB モードで待機するのに費やした時間と、別の TCB モードから QR TCB モードへのスイッチバックを待機するのに費やした時間の合計。 タスクが QR TCB モードで待機した回数 (別の TCB モードから QR TCB モードへのスイッチバックの待機を含む)。
レコード・タイプ	RECTYPE	パフォーマンス・レコード・タイプ。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> C - 端末会話のレコード出力 D - PERFORM=DELIVER を指定する、ユーザー定義のイベント・モニター・ポイント (EMP) に対する SET MONITOR のレコード出力。 F - 長期実行トランザクションのレコード出力。 S - 同期点要求のレコード出力。 T - タスク終了 (切り離し) のレコード出力。 トランザクション・リソース・クラス・データの場合、このフィールドには常に「T」が表示されます。
リカバリー・マネージャー UOW の未確定アクションでの解決	RESOLVEACT	同期点処理中にリカバリー・コーディネーターへの接続を失い、未確定アクションで解決した作業単位の合計数。
タスク応答時間	RESPTIME	タスク応答時間 (ミリ秒単位)。
VSAM レコード・レベル共用で使用された CPU 時間	RLSCPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このトランザクションが、SRB モードで実行する RLS 要求の実行に費やした CPU 時間の合計。 タスクが SRB モードで実行される RLS 要求を実行した回数。
VSAM レコード・レベル共用待ち時間	RLSWAITTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが RLS ファイル入出力を待機した経過時間。 タスクが RLS ファイル入出力を待機した回数。
CICSplex SM RMI 経過時間	RMICPSMTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが CICSplex SM リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 タスクが CICSplex SM リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。
DB2 RMI 経過時間	RMIDB2TIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが DB2 リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 タスクが DB2 リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。
DBCTL RMI 経過時間	RMIDBCTLTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが DBCTL リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 タスクが DBCTL リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。
DL/I RMI 経過時間	RMIEXCIDLITM	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが EXEC DLI リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 タスクが EXEC DLI リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
WebSphere MQ RMI 経過時間	RMIMQSERIEST	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが WebSphere MQ リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 タスクが WebSphere MQ リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。
その他の合計 RMI 経過時間	RMIOThERTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) に費やした経過時間の合計。個別にリストされる時間 (RMIDB2TIME、RMIDBCTLTIME、RMIEXCIDLITM、RMIMQSERIEST、RMICPSMTIME および RMITCPIPTIME) は含まれません。 タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。個別にリストされる時間 (RMIDB2TIME、RMIDBCTLTIME、RMIEXCIDLITM、RMIMQSERIEST、RMICPSMTIME および RMITCPIPTIME) は含まれません。
合計 RMI 一時停止時間	RMISUSP	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で実行中に一時停止した経過時間。 タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で実行中に一時停止した回数。
TCP/IP ソケット RMI 経過時間	RMITCPIPTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが z/OS 通信サーバー IP CICS ソケットのリソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 タスクが z/OS Communications Server IP CICS ソケットのリソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。
合計 RMI 経過時間	RMITIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止した時間を含む、タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした経過時間の合計。 タスクが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を呼び出した回数。
合計 RMI 経過時間	RMITOTALTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止した時間を含む、RMI で費やした経過時間の合計。 RMI でこのタスクによって発行された要求の総数。
リカバリー・マネージャー UOW リソース所有者の障害	ROFAIL	リソース所有者に障害が発生しました。
RO TCB モード遅延時間	ROMODDLY	このタスクが RO TCB モードで待機するのに費やした時間と、別の TCB モードから RO TCB モードへのスイッチバックを待機するのに費やした時間の合計。
最大読み取り専用プログラム・ストレージ	ROPS31HWM	ERDSA のプログラム用にこのタスクで使用する最高水準点バイト数 (16 MB 境界を超える読み取り専用ストレージ)。
RRMS/MVS リカバリー単位 ID	RRMSURID	RRMS/MVS によって CICS に与えられたリカバリー単位 ID/トークン。
RRMS/MVS 同期点調整遅延時間	RRMSWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> RRMS/MVS との同期点調整を待機してこのタスクが費やした時間。 このタスクが RRMS/MVS との同期点調整を待機した回数。
リモート・システム ID	RSYSID	リモート名で定義されたトランザクションが定義されるリモート・システムの名前。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
同期トランザクションの実行待ち時間	RUNTRWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • 同期的に接続したトランザクションが完了するのをこのトランザクションが待機して費やした時間の合計。 • 同期で接続しているトランザクションの完了をタスクが待機した回数。 CICS BTS の場合、このフィールドには、このタスクが、「プロセス/活動実行」が同期で実行されるのを待機するのに費やした時間が記録されます。
S8 TCB モードの CPU 時間	S8CPUT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • S8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 • このタスクが S8 TCB モードでディスパッチされた回数。 このモードはセキュア・ソケット呼び出しの実行時に使用されます。
共用一時記憶域入出力待ち時間	SHAREDTSWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • 共有一時記憶域の待ち時間の合計。 • タスクが共有一時記憶域を待機した回数。
16M を超える共用ストレージ FREEMAIN バイト数	SHSTGBYTEFMA	16 MB を超える共有ストレージの FREEMAIN バイトの合計数。
16MB 未満の共用ストレージ FREEMAIN バイト数	SHSTGBYTEFMB	16 MB 未満の共有ストレージの FREEMAIN バイトの合計数。
2 GB 境界より上の共用ストレージの FREEMAIN バイトの合計数	SHSTGBYTEFMG	2 GB 境界より上の共用ストレージの GETMAIN バイトの合計数
16MB を超える共用ストレージ GETMAIN バイト数	SHSTGBYTEGMA	16 MB を超える共有ストレージの GETMAIN バイトの合計数。
16MB 未満の共用ストレージ GETMAIN バイト数	SHSTGBYTEGMB	16 MB 未満の共有ストレージの GETMAIN バイトの合計数。
2 GB 境界より上の共用ストレージ GETMAIN バイト数	SHSTGBYTEGMG	2 GB 境界より上の共用ストレージの GETMAIN バイトの合計数
16MB を超える共用ストレージ GETMAIN 要求数	SHSTGGMCAV	ECDSA または ESDSA における 16 MB 境界より上の共有ストレージについて、このタスクによって発行された GETMAIN 要求の数。
2 GB 境界より上の共用ストレージ GETMAIN 要求数	SHSTGGMCBAR	GCDSA または GSDSA における 2 GB 境界より上の共用ストレージに対して、このタスクによって発行された GETMAIN 要求の数。
16MB 未満の共用ストレージ GETMAIN 要求数	SHSTGGMCBEL	CDSA または SDSA の 16 MB 境界より下の共用ストレージに対して、このタスクによって発行された GETMAIN 要求の数。
リカバリー・マネージャー UOW の分流	SHUNTED	同期点処理中にリカバリー・コーディネーターへの接続を失い、未確定の障害のために除外する必要があった作業単位の合計数。
MVS SOS 待機時間	SMMVSSWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • MVS ストレージが SOS 状態であるか制約されているためにユーザー・タスクが待機した時間。 • MVS ストレージが SOS 状態であるか制約されているためにユーザー・タスクが待機した回数。
暗号化解除したソケットのバイト数	SOBYDECT	TCP/IP ソケット・インターフェースを介して渡され、このタスクによって暗号化解除されたバイト数。
暗号化ソケットのバイト数	SOBYENCT	TCP/IP ソケット・インターフェースを介して渡され、このタスクによって暗号化されたバイト数。
選択された暗号	SOCIPHER	SSL ハンドシェーク・ネゴシエーションの際に選択されたインバウンド暗号コード。
接続に関する最初のメッセージがタスクで処理されたかどうか	SOCONMSG	クライアントの新規接続の確立に関する最初のメッセージがタスクで処理されたかどうか。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
インバウンド TCP/IP ソケット 入出力待ち時間	SOIOWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • ソケット送信または受信が完了するのを待機してこのタスクが費やした時間。 • ソケットの送信または受信が完了するのをこのタスクが待機した回数。 これには、このタスクが SO、SL、および S8 TCB モードで費やした時間が含まれます。
SO TCB モード遅延時間	SOMODDLY	このタスクが SO TCB モードで待機するのに費やした時間と、別の TCB モードから SO TCB モードへのスイッチバックを待機するのに費やした時間の合計。
CFDT 同期点待ち時間	SRVSYWTT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • タスクが CFDT 同期点が完了するのを待機した経過時間。 • タスクが CFDT 同期点が完了するのを待機した回数。
タスク開始時刻	START	タスクが開始された GMT (グリニッジ標準時) 時刻。
タスク停止時刻	STOP	タスクが停止された GMT (グリニッジ標準時) 時刻。
WLM 実行段階サブセットの完了	SUBEXECOMP	処理要求 (トランザクション) の実行段階のサブセットが完了しました。
タスク・ヒストリー・サブタイプ	SUBTYPE	このタスク・ヒストリー・リソースのサブタイプ。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • A - 領域のシャットダウン時にアクティブだったタスクの統計値。 • T - 正常完了または異常完了したタスクの統計値。
タスク一時停止時間	SUSPTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • タスクが一時停止されていた経過時間の合計。 • このタスクが一時停止された回数。
同期点要求数	SYNCCOUNT	このタスクによって発行された同期点要求の数。
親同期点待ち遅延時間	SYNCDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • このトランザクションが (その更新がコミットされるように) その親トランザクションを同期点まで待機するのに費やした時間の合計。 • タスクがその親トランザクションが同期点に至る (その更新がコミットされるなど) ののを待機した回数。 CICS BTS の場合、このフィールドには、「プロセス/活動同期実行」を発行することによりこのタスクを開始した親タスクからの同期点を、このタスクが待機するのに費やした時間が記録されます。
同期点待ち時間	SYNCPTWAITTM	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> • 同期点要求の処理中にこのタスクがディスパッチまたは一時停止された経過時間の合計。 • 同期点要求の処理中にタスクがディスパッチまたは一時停止された回数。
FEPI ALLOCATE タイムアウト数	SZALLCTO	このタスクによって発行された FEPI 割り振りタイムアウトの数。
FEPI ALLOCATE 要求数	SZALLOCT	このタスクによって発行された FEPI 割り振り要求の数。
受信 FEPI 文字数	SZCHRIN	このタスクによって受信された FEPI 文字の数。
送信 FEPI 文字数	SZCHROUT	このタスクによって送信された FEPI 文字の数。
FEPI RECEIVE 要求数	SZRCVCT	このタスクによって発行された FEPI 受信要求の数。
FEPI RECEIVE タイムアウト数	SZRCVTO	このタスクによって発行された FEPI 受信タイムアウトの数。
FEPI SEND 要求数	SZSENDCT	このタスクによって発行された FEPI 送信要求の数。
FEPI START 要求数	SZSTRTCT	このタスクによって発行された FEPI 開始要求の数。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
合計 FEPI 要求数	SZTOTCT	ユーザー・タスクによって行われる FEPI API および SPI 要求すべての合計数。
FEPI 一時停止時間	SZWAIT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクがすべての FEPI サービスを待機した経過時間の合計。 このタスクが FEPI サービスを待機した回数。
タスク ID	TASK	タスクの ID。
データ記憶キー	TASKDATAKEY	CICS がタスク期間のためにタスク初期設定時に割り振るタスク存続期間ストレージ (アプリケーションからアクセス可能) のストレージ・キー。これらのストレージ域は、EXEC インターフェース・ブロック (EIB) およびトランザクション作業域 (TWA) です。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> USER - CICS は、このトランザクションのユーザー・キー・ストレージを取得します。いずれかのキーで実行しているアプリケーション・プログラムは、これらのストレージ域の読み取りと変更の両方を行えます。 CICS - CICS はこのトランザクション用の CICS キー・ストレージを取得します。CICS キーで実行しているアプリケーション・プログラムは、これらのストレージ域の読み取りと変更の両方を行えます。ユーザー・キーで実行しているアプリケーション・プログラムは、これらのストレージ域の読み取りのみ行えます。
16MB を上回る/下回るデータ・ロケーション	TASKDATALOC	トランザクションの継続期間中に CICS によって獲得されたタスク存続期間ストレージを、仮想記憶内の 16 MB 境界より上に置けるかどうかを示します。特定の CICS タスクに関連しているこれらの領域は、EXEC インターフェース・ブロック (EIB) およびトランザクション作業域 (TWA) を含んでいます。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> BELOW - CICS がトランザクション用に獲得するストレージ域は 16 MB 境界より下に置く必要があります。 ANY - CICS がトランザクション用に獲得するストレージ域は、仮想記憶内の 16 MB 境界より上に置くことができます。
トランザクション・エラー・フラグ	TASKFLAG	このタスクのトランザクション・エラー・フラグ。
セッション割り振り待ちの遅延時間	TCALWTT	このタスクがセッションの割り振りを待機するために費やした時間。
CICS ディスパッチャーの TCB 接続数	TCBATTCT	このタスクによって発行された CICS ディスパッチャーの TCB 接続の数。
2 次 LU62 TC 受信文字数	TCC62IN2	このタスクによって受信された 2 次 LU6.2 文字の数。
2 次 LU62 TC 送信文字数	TCC62OU2	このタスクによって送信された 2 次 LU6.2 文字の数。
端末管理入出力待ち時間	TCIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 端末の入出力待ち時間の合計。 このタスクが端末入出力を待機した回数。
TCL による初回ディスパッチ遅延時間	TCLDELAY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このトランザクションのトランザクション・クラスに設定された限界のために遅延した最初のディスパッチを待機する経過時間。 このトランザクションのトランザクション・クラスに設定された限界のために発生した、最初のディスパッチにおける遅延数。
2 次 LU62 TC 受信メッセージ数	TCM62IN2	このタスクによって受信された 2 次 LU6.2 TC メッセージの数。
2 次 LU62 TC 送信メッセージ数	TCM62OU2	このタスクによって送信された LU6.2 端末管理メッセージの数。
合計一時データ要求数	TDCOUNT	このユーザー・タスクによって発行された一時データ要求の数 (GET、PUT、および PURGE 要求を含む)。
TD 区画外ロック待ち時間	TDELWTT	これは、タスクが TD 区画外ロックを待機した時間です。
一時データ GET 要求数	TDGETCNT	このタスクによって発行された一時データ取得/読み取り要求の数。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
TD 区画内ロック待ち時間	TDILWTT	これは、タスクが TD 区画内ロックを待機した時間です。
一時データ入出力待ち時間	TDIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 一時データの入出力待ち時間の合計。 このタスクが一時データ入出力を待機した回数。
一時データ PURGE 要求数	TDPURCNT	このタスクによって発行された一時データ・ページ/削除要求の数。
一時データ PUT 要求数	TDPUTCNT	このタスクによって発行された一時データ・プット/書き込み要求の数。
端末接続名	TERMCONNAME	端末セッション接続の名前。
実際の端末 ID またはセッション ID	TERMID	これは、タスクが実行している実際の端末識別名です。トランザクション・ルーティング環境では、これはタスクが通過する経路にあるセッションの ID です。
端末情報	TERMNALINFO	端末に関する情報: <ul style="list-style-type: none"> バイト 0 - 特性: <ul style="list-style-type: none"> X'00' - 適用外 X'01' - 端末 X'02' - セッション バイト 1 - セッション・タイプ: <ul style="list-style-type: none"> X'00' - 適用外 X'01' - IRC X'02' - IRC XM X'03' - IRC XCF X'04' - LU61 X'05' - LU62 SINGLE X'06' - LU62 PARALLEL バイト 2 - アクセス方式: <ul style="list-style-type: none"> X'01' - VTAM X'03' - BSAM X'04' - TCAM X'06' - BGAM X'07' - CONSOLE バイト 3: デバイス・タイプ・コード
時間キー	TIME	タスクが開始された時刻。MNTIME システム初期化パラメーターに応じて、現地時間または GMT (グリニッジ標準時) になります。MNTIME が設定されていない場合は、GMT がデフォルト値になります。返される時間が「表示可能な」書式ではないことに注意してください。16 進数の時間値はキー・フィールドで表示されます。
Atom サービス名	TMRATMSN	Atom サービス名
合計 BIF DIGEST 要求数	TMRBFDGC	BIF DIGEST 要求数
合計 BIF 要求数	TMRBFTC	BIF 要求総数
CorbaServer 名	TMRCBRNM	タスクに関連した CorbaServer の名前。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
OO クラス・ライブラリー API 要求数	TMRCFACT	OO クラス・ライブラリー API 要求の合計数。
クライアント IP ポート	TMRCIPOR	クライアントのポート番号。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
CICS TCB 変更モード遅延時間	TMRCMDLY	<p>これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクによって、またはそれに代わって発行された CICS ディスパッチャーの変更 TCB モード要求の後ユーザー・タスクが再ディスパッチを待機した経過時間。 ユーザー・タスクによって、またはそれに代わって発行された CICS ディスパッチャーの変更 TCB モード要求の後、ユーザー・タスクが再ディスパッチを待機した回数。 <p>例えば、CICS L8 または S8 モード TCB から CICS QR モード TCB に戻る変更 TCB モード要求では、別のタスクが現在 QR TCB でディスパッチされているために QR TCB を待たなければならないような場合もあります。</p>
文書削除要求数	TMRDHDLC	このタスクによって発行された文書削除要求の数。
ディスパッチャー MVS ストレージ制約待ち時間	TMRDSCWT	<p>これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用可能な TCB がなく、かつ MVS ストレージ制約が原因で TCB を作成できなかったためにユーザー・タスクが待機に費やした経過時間。 使用可能な TCB がなく、かつ MVS ストレージ制約が原因で TCB を作成できなかったためにユーザー・タスクが待機した回数。
ディスパッチャー TCB のミスマッチ待ち時間	TMRDSMWT	<p>これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。</p> <ul style="list-style-type: none"> TCB ミスマッチ待ち時間 (つまり、TCB 要求に一致する使用可能な TCB がなかったものの、少なくとも 1 つの一致しない空き TCB が存在したために、待機した TCB 要求) の合計数。 TCB 要求に一致する使用可能な TCB がなかったものの、少なくとも 1 つの一致しない空き TCB が存在したために、待機した TCB 要求の数。
CICS ディスパッチャー TCB のピーク数	TMRDSTHW	使用中の CICS ディスパッチャー TCB のピーク数。
イベントのキャプチャー数	TMRECEVC	キャプチャーされた EVENT 数
イベント・フィルター・コマンド数	TMRECFOC	イベント・フィルター・コマンド数
キャプチャーされた同期発行イベントの数	TMRECSEC	キャプチャーされた同期発行 EVENT の数。
SIGNAL EVENT 要求数	TMRECSGE	SIGNAL EVENT 要求数
合計 EXEC CICS 要求数	TMREICTC	EXEC CICS 要求総数
Bean 状態の活動化要求数	TMREJBAC	このタスクによって発行された Bean 状態の活動化要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
Bean 作成要求数	TMREJBCC	このタスクによって発行されたエンタープライズ Bean 作成要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
Bean 状態の不動態化要求数	TMREJBPC	このタスクによって発行された Bean 状態の不動態化要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
Bean 除去要求数	TMREJBRC	このタスクによって発行されたエンタープライズ Bean 除去要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
エンタープライズ Bean 合計要求数	TMREJBTC	このタスクによって発行されたエンタープライズ Bean 要求の数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
エンタープライズ Bean メソッドの呼び出し数	TMREJMCT	このタスクによって発行されたエンタープライズ Bean メソッドの呼び出しの数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
最大ホット・プーリング TCB 遅延時間	TMRHTDLY	このフィールドは廃止されています。
チャンネルとのローカル・インターバル制御機能開始数	TMRICSCC	このタスクによって発行されたチャンネル・オプションを使用したローカル・インターバル制御開始の数。
チャンネルとのすべてのローカル IC 開始のデータ長	TMRICSCD	チャンネルとのすべてのローカル IC 開始のデータ長。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
チャンネルとのリモート・インターバル制御機能開始数	TMRICSRC	このタスクによって発行されたチャンネル要求を使用したリモート・インターバル制御開始の総数。
チャンネルとのすべてのリモート IC 開始のデータ長	TMRICSRD	チャンネルとのすべてのリモート IC 開始のデータ長。
IPCONN 割り振り要求数	TMRISACT	IP 相互通信接続のセッションのタスクによって発行される割り振りセッション要求の数。
IPCONN Name (IPCONN 名)	TMRISCNM	このトランザクションと関連付けられている IP 相互通信接続を定義する IP 相互接続エントリー (IPCONN) の名前。
IPCONN I/O 待ち時間	TMRISWT	これは、次の要素のいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> IP 相互通信接続処理の完了を待機するのにタスクが費やした時間。 タスクが IP 相互通信接続作業の完了を待機した回数。
J9 TCB モードの CPU 時間	TMRJ9CPU	これは、次の要素のいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> J9 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが J9 TCB モードでディスパッチされた回数。 この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
JVM サーバー・スレッド待ち時間	TMRJSTWT	これは、次の要素のいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが JVM サーバー・スレッドの作業の待機に費やした時間 タスクが JVM サーバー・スレッドの作業を待機した回数
最大 JVM TCB 遅延時間	TMRJTDLY	これは、次の要素のいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> MAXJVMTCBS 限界で待機したためにこのタスクによって発生した遅延。 タスクがシステム・パラメーター MAXJVMTCBS によって設定された限界で待機した回数。 この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
JVM 経過時間 - 初期化	TMRJVMIT	これは、次の要素のいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> JVM 環境を初期化するために費やした経過時間。 JVM 環境が初期化された回数。
JVM 経過時間 - リセット	TMRJVMRT	これは、次の要素のいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> JVM 環境をリセットするために費やした経過時間。 JVM 環境がリセットされた回数。
ユーザー・タスク・キー 8 モード CPU 時間	TMRKY8CP	これは、次の要素のいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクにより使用されたキー 8 モード CPU 時間。 このタスクがキー 8 モードでディスパッチされた回数。
ユーザー・タスク・キー 8 モード・ディスパッチ時間	TMRKY8DS	これは、次の要素のいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> このタスクにより使用されたキー 8 モード・ディスパッチ時間。 このタスクがキー 8 モードでディスパッチされた回数。
ユーザー・タスク・キー 9 モード CPU 時間	TMRKY9CP	これは、次の要素のいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクが CICS キー 9 モード TCB の CICS ディスパッチャーによってディスパッチされた合計 CPU 時間。 このタスクがキー 9 モード TCB でディスパッチされた回数。 L9 モード TCB は、USERKEY OPENAPI アプリケーション・プログラムの場合に使用されます。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
ユーザー・タスク・キー 9 モード・ディスパッチ時間	TMRKY9DS	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー・タスクが CICS キー 9 モード TCB の CICS ディスパッチャーによってディスパッチされた経過時間の合計。 このタスクがキー 9 モード TCB でディスパッチされた回数。 L9 モード TCB は、USERKEY OPENAPI アプリケーション・プログラムの場合に使用されます。
ユーザー・タスク L9 モード CPU 時間	TMRL9CPU	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> L9 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが L9 TCB モードでディスパッチされた回数。 L9 モード TCB は、USERKEY OPENAPI アプリケーション・プログラムの場合に使用されます。
XML システム・サービスの CPU 時間	TMRMLCTM	XML システム・サービスの CPU 時間
合計文書長	TMRMLTDL	文書の全長
EXEC CICS XML TRANSFORM 要求数	TMRMLXTC	EXEC CICS XML TRANSFORM 要求数
WebSphere MQ API SRB 時間	TMRMQAST	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> API 要求の実行中に WebSphere MQ の SRB に費やされた合計 CPU 時間。 タスクが SRB 時間を累積した回数。
WebSphere MQ Getwait 待ち時間	TMRMQGWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> WebSphere MQ によるタスクの GETWAIT 要求に対するサービス提供を待機するのにタスクが費やした時間。 WebSphere MQ がタスクの GETWAIT 要求に対してサービスを提供するのをタスクが待機した回数。
ネットワーク ID	TMRNETID	ネットワークの ID。
LU6.2 ネットワーク全体の UOW インスタンスとシーケンス番号	TMRNETSX	発信システムでネットワーク作業単位 ID の識別に使用される名前。この名前は、発信システムで作成された STCK 派生トークンを使用するか、IRC (MRO)、IPIC (IP 相互通信) または ISC (APPC) の付加機能管理ヘッダー (FMH) の一部として渡されたネットワーク作業単位を使用して、トランザクション接続時に割り当てられます。
Node.js アプリケーション名	TMRNJAPN	タスクが開始された Node.js アプリケーション名。
OTS 未確定待機時間	TMROIDWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> オブジェクト・トランザクション・サービスの未確定待機時間。 このタスクがオブジェクト・トランザクション・サービスの未確定を待機した回数。
OTS トランザクション ID	TMROTSID	オブジェクト・トランザクション・サービスのトランザクション ID。
チャンネルとの DPL プログラム・リンク要求数	TMRPCDCC	このタスクによって発行された DPL プログラム・リンク要求の数。
チャンネルとのすべての DPL プログラム・リンクのデータ長	TMRPCDLL	ユーザー・タスクにより CHANNEL オプション付きで発行された分散プログラム・リンク (DPL) 要求すべてのコンテナー内の合計データ長。この合計は、データのヘッダーの長さを含みます。
チャンネルとのすべての DPL 戻りの合計データ長	TMRPCDRL	ユーザー・タスクにより発行された DPL RETURN CHANNEL コマンドすべてのコンテナー内の合計データ長。この合計は、データのヘッダーの長さを含みます。
チャンネルとのプログラム・リンク要求数	TMRPCLCC	このタスクによって発行されたチャンネルとのプログラム・リンク要求の数。
チャンネルとのプログラム戻り要求数	TMRPCRC	このタスクによって発行されたチャンネルとのプログラム戻り要求の数。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
チャンネルとのすべてのプログラム戻りのデータ長	TMRPCRCL	ユーザー・タスクにより発行されたりモート疑似会話型 RETURN CHANNEL コマンドすべてのコンテナ内の合計データ長。この合計は、データのヘッダーの長さを含みます。
チャンネルとのプログラム XCTL 要求数	TMRPCXCC	このタスクによって発行されたチャンネルとのプログラム XCTL 要求の数。
コンテナ・チャンネル・ブラウズ要求数	TMRPGBCC	このタスクによって発行されたコンテナ・チャンネル・ブラウズ要求の数。
チャンネル・コンテナ用に作成されたコンテナ数	TMRPGCCC	このタスクによりチャンネル・コンテナ用に作成されたコンテナの数。
合計チャンネル・データ・コンテナ要求数	TMRPGCTC	このタスクによって発行されたチャンネル・データ・コンテナ要求の合計数。
コンテナ・チャンネル取得要求数	TMRPGGCC	このタスクによって発行される GET CONTAINER および GET64 CONTAINER チャンネル要求の数。
すべてのコンテナ・チャンネル取得要求のデータ長	TMRPGGCL	このタスクによって発行されたすべての GET CONTAINER および GET64 CONTAINER チャンネル要求のデータ長。
コンテナ・チャンネル移動要求数	TMRPGMCC	このタスクによって発行されたコンテナ・チャンネル移動要求の数。
コンテナ・チャンネル・プット要求数	TMRPGPCC	このタスクによって発行される PUT CONTAINER および PUT64 CONTAINER チャンネル要求の数。
すべてのコンテナ・チャンネル・プット要求のデータ長	TMRPGPCL	このタスクによって発行される PUT CONTAINER および PUT64 CONTAINER チャンネル要求すべてのデータ長。
パイプライン名	TMRPIPLN	パイプライン名
TCP/IP サービスのポート番号	TMRPORTN	TCP/IP サービスによって使用されるポート番号。
パートナー待ち時間	TMRPTPWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ パートナーの待ち時間の合計。 ・ タスクがパートナー・トランザクションの完了を待機した回数。
実 LU 名	TMRRLUNM	このトランザクションに関連した端末の VTAM 論理装置の名前。
ユーザー・タスク読み取り専用モード CPU 時間	TMRROCPU	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ このタスクにより使用された読み取り専用モードの CPU 時間。 ・ このタスクが読み取り専用モードでディスパッチされた回数。
ユーザー・タスク読み取り専用モード・ディスパッチ時間	TMRRODSP	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ このタスクにより使用された読み取り専用モード・ディスパッチ時間 (秒数)。 ・ このタスクが読み取り専用モードでディスパッチされた回数。
要求プロセッサ待ち時間	TMRROPWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要求プロセッサの入出力操作を待機するのに費やした経過時間。 ・ このタスクが要求プロセッサの入出力操作を待機した回数。
要求受信側待ち時間	TMRQRWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要求受信側の入出力操作を待機するのに費やした経過時間。 ・ このタスクが要求受信側の入出力操作を待機した回数。
受信文字数	TMRSOCIN	このタスクによって受信された文字の数。
CREATE 非永続ソケット要求数	TMRSOCNS	このタスクによって発行された Create 非永続ソケット要求の数。
送信文字数	TMRSOCOT	このタスクによって送信された文字の数。
CREATE 永続ソケット要求数	TMRSOCPS	このタスクによって発行された Create 永続ソケット要求の数。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
EXTRACT TCPIP 要求と EXTRACT CERTIFICATE 要求の数	TMRSOERC	EXTRACT TCPIP および EXTRACT CERTIFICATE 要求の合計数。
インバウンド・ソケット受信文字数	TMRSOI1C	このタスクによって受信されたインバウンド・ソケット文字の合計数。
インバウンド・ソケット受信要求数	TMRSOIMC	このタスクによって発行されたインバウンド・ソケット受信要求の数。
非永続ソケットのピーク数	TMRSONHW	このタスクに関連した非永続ソケットのピーク数。
インバウンド・ソケット送信文字数	TMRSOO1C	このタスクによって送信されたインバウンド・ソケット文字の数。
インバウンド・ソケット送信要求数	TMRSOOMC	このタスクによって発行されたインバウンド・ソケット送信要求の数。
アウトバウンド TCP/IP ソケット入出力待ち時間	TMRSOOWT	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> アウトバウンド・ソケットの入出力待ち時間の合計。 このタスクがアウトバウンド・ソケット入出力を待機した回数。
永続ソケットのピーク数	TMRSOPHW	このタスクに関連した永続ソケットのピーク数。
ソケット受信要求数	TMRSORCT	このタスクによって発行されたソケット受信要求の数。
ソケット送信要求数	TMRSOSCT	このタスクによって発行されたソケット送信要求の数。
合計ソケット要求数	TMRSOTC	このタスクによって発行されたソケット要求の合計数。
最大 CICS SSL TCB 遅延時間	TMRSTDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> システム初期化パラメーター MAXSSLTCBS によって設定された限界に CICS システムが達したため、ユーザー・タスクが CICS SSL TCB (S8 モード) を入手するために待機した経過時間。 システム初期化パラメーター MAXSSLTCBS によって設定された限界に CICS システムが達したため、ユーザー・タスクが CICS SS TCB (S8 モード) を入手するために待機した回数。
ユーザー・タスク T8 モード CPU 時間	TMRT8CPU	ユーザー・タスク T8 モードの CPU 時間
TCP/IP サービス名	TMRTCPSPV	TCP/IP サービスの名前。
トランザクション・グループ ID	TMRTGPID	このタスクに関連したトランザクション・グループの ID。
EXEC CICS ASKTIME 要求数	TMRTIATC	EXEC CICS ASKTIME 要求数
合計 EXEC xxxTIME 要求数	TMRTITC	EXEC xxxTIME 要求総数
最大スレッド TCB 遅延時間	TMRTDLY	最大スレッド TCB 遅延時間
URI マップ名	TMRURIMN	URI マップ名
Web ブラウズ要求数	TMRWBBOC	このタスクによって発行された Web ブラウズ要求の数。
WEB BROWSE 要求数	TMRWBBC	このタスクによって発行された Web ブラウズ要求の合計数。
Web EXTRACT 要求数	TMRWBERC	このタスクによって発行された Web 取り出し要求の合計数。
Web 要求で受信したバイト数	TMRWBI1C	このタスクによって発行された Web 要求により受信されたバイト数。
Web 受信要求数	TMRWBIRC	このタスクによって発行された Web 受信要求の数。
WEB サービス起動要求数	TMRWBIWC	このタスクによって発行された WEB サービス起動要求の数。
Web 要求で送信したバイト数	TMRWBO1C	このタスクによって発行された Web 送信要求により送信されたバイト数。
Web 送信要求数	TMRWBOSC	このタスクによって発行された Web 送信要求の数。
Web 解析要求数	TMRWBPRC	このタスクによって発行された Web 解析要求の数。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
リポジトリから読み取られたデータのデータ長	TMRWBRDL	リポジトリから読み取られたデータのデータ長。
WEB 読み取り要求数	TMRWBROC	このタスクによって発行された Web 読み取り要求の数。
リポジトリ読み取り数	TMRWBPRR	このタスクによって発行されたリポジトリ読み取り要求の数。
WEB READ 要求数	TMRWBRRRC	このタスクによって発行された Web 読み取り要求の合計数。
リポジトリに書き込まれたデータのデータ長	TMRWBWDL	リポジトリから書き込まれたデータのデータ長。
Web 書き込み要求数	TMRWBWOC	このタスクによって発行された Web 書き込み要求の数。
WEB WRITE 要求数	TMRWBWRC	このタスクによって発行された Web 書き込み要求の合計数。
合計 WebSphere MQ 要求数	TMRWMQRC	タスクに関する WebSphere MQ 要求の総数。
プログラム名	TMRWPBMN	プログラム名
合計 WS アドレッシング要求数	TMRWSATC	WS アドレッシング要求総数
WSACONTEXT BUILD 要求数	TMRWSCBC	WSACONTEXT BUILD 要求数
WSACONTEXT GET 要求数	TMRWSCGC	WSACONTEXT GET 要求数
WSAEPR CREATE 要求数	TMRWSEPC	WSAEPCCT - WSAEPR CREATE 要求数
Web サービス・オペレーション名	TMRWSOPN	Web サービス・オペレーション名
Webservice 名	TMRWSVCN	Web サービス名
ユーザー・タスク X8 モード CPU 時間	TMRX8CPU	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> X8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが X8 TCB モードでディスパッチされた回数。
ユーザー・タスク X9 モード CPU 時間	TMRX9CPU	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> X9 の TCB モードでディスパッチされたときにこのタスクが使用した CPU 時間。 このタスクが X9 TCB モードでディスパッチされた回数。
最大 CICS XPLink TCB 遅延時間	TMRXTDLY	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 最大 CICS XPLink TCB 遅延時間。 ユーザー・タスクが CICS XPLink TCB を入手するために待機した回数。
トランザクション・クラス	TRANCLASS	タスクが属するトランザクション・クラスの名前。
トランザクション・フラグ	TRANFLAGS	このトランザクションの CICS トランザクション定義および状況情報フラグ。
トランザクション ID	TRANID	タスクに関連したトランザクション名。
トランザクション・タイプ	TRANATYPE	トランザクション開始タイプ。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> TO - 端末入力から接続。 S - 自動トランザクション開始 (ATI) による接続 (データなし) SD - 自動トランザクション開始 (ATI) による接続 (データあり) QD - 一時データのトリガー・レベルで接続 U - ユーザー要求による接続 TP - 端末 TCTTE トランザクション ID から接続 SZ - フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) による接続。
合計 TS 要求数	TSCOUNT	このユーザー・タスクによって発行された一時記憶域要求の数 (GET、PUT、および PURGE 要求を含む)。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
一時記憶域 GET 要求数	TSGETCNT	このタスクによって発行された一時記憶域取得/読み取り要求の数。
共用記憶域への TS GET 要求数	TSGETSCNT	共用記憶域への TS 取得数。
TS 入出力待ち時間	TSIOTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> 一時記憶域の入出力待ち時間の合計。 このタスクが一時記憶域入出力を待機した回数。
補助記憶域への TS PUT 要求数	TSPUTACNT	補助記憶域への TS 書き込み数。
主記憶域への TS PUT 要求数	TSPUTMCNT	主記憶域への TS 書き込み数。
共用記憶域への TS PUT 要求数	TSPUTSCNT	共用記憶域への TS 書き込み数。
リカバリー・マネージャー UOW の非分流	UNSHUNTED	同期点処理中にリカバリー・コーディネーターへの接続を失ったものの、未確定の障害のために除外されなかった作業単位の合計数。
ローカル作業単位 (UOW) ID	UOWID	このタスクに関連する作業単位のローカル ID。
LU6.2 ネットワーク全体の UOW インスタンスとシーケ ンス番号	UOWINSTSEQ	LU6.2 ネットワーク全体の作業単位の合計数。
ユーザー ID	USERID	タスクに関連したユーザー ID。
UDSA における最大プログラ ム・ストレージ	USRPS24HWM	UDSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
EUDSA における最大プログラ ム・ストレージ	USRPS31HWM	EUDSA のプログラム用にこのタスクで使用される最高水準点バイト数。
16MB 未満のユーザー・スト レージ GETMAIN 要求数	USTG24CNT	16 MB 境界未満のストレージについてこのユーザー・タスクによって発行されたユーザー・ストレージ GETMAIN 要求の数。
UDSA のタスクで使用される ピーク・バイト数	USTG24HWM	UDSA のこのタスクで使用されるピーク・バイト数。
16 MB 未満平均ストレージ使 用量	USTG24OCC	16 MB 境界未満のユーザー・タスクの平均ストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
16MB を超えるユーザー・スト レージ GETMAIN 要求数	USTG31CNT	16 MB 境界を超えるストレージについてこのユーザー・タスクによって発行されたユーザー・ストレージ GETMAIN 要求の数。
EUDSA のタスクで使用される ピーク・バイト数	USTG31HWM	EUDSA のこのタスクで使用されるピーク・バイト数。
16 MB を超える平均ストレ ージ使用量	USTG31OCC	16 MB 境界を超えるユーザー・タスクの平均ストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
ディスパッチ待ち時間	WAITTIME	これは、次のエレメントのいずれかを表示する複合フィールドです。 <ul style="list-style-type: none"> タスクが再ディスパッチを待つのに費やした平均時間。 このタスクが再ディスパッチを待機した回数。
Web 受信文字数	WBCHRIN	このタスクによって発行された WEB 受信の結果として、WEB を介して受信された文字数。
Web 送信文字数	WBCHROUT	このタスクによって発行された WEB 送信の結果として、WEB を介して送信された文字数。
INVOKE SOAP サービス障害	WBISSFCT	INVOKE xxxSERVICE SOAP 障害の数。
JSON 応答本体の長さ	WBJSNRPL	JSON 応答本体の長さ
JSON 要求本体の長さ	WBJSNRQL	JSON 要求本体の長さ
WEB RECEIVE 要求数	WBRCVCT	このタスクによって発行された Web 受信要求の合計数。
Web リポジトリ書き込み数	WBREPWCT	このタスクによって発行された WEB リポジトリ書き込み要求の数。
WEB SEND 要求数	WBSENDCT	このタスクによって発行された Web 送信要求の合計数。
SOAPFAULT CREATE 要求	WBSFCRCT	SOAPFAULT CREATE 要求の数。

表 76. HTASK ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
SOAPFAULT CREATE 要求の合計	WBSFTOCT	SOAPFAULT CREATE 要求の総数。
SOAP 要求本体の長さ	WBSREQBL	SOAP 要求ボディ長の長さ。
SOAP 応答本体の長さ	WBSRSPBL	SOAP 応答本体の長さ。
合計 Web 要求数	WBTOTCT	このタスクによって発行された Web 要求の合計数。これにはリポジットリー書き込み要求の数は含まれません。
ワークロード・マネージャー・レポート・クラス名	WLMRPTRCNAME	このトランザクションの MVS ワークロード・マネージャー (WLM) レポート・クラス。
ワークロード・マネージャー・サービス・クラス名	WLMSRVNAME	このトランザクションの MVS ワークロード・マネージャー (WLM) サービス・クラス。

タスク・ヒストリー・コレクション - MASHIST

「**CICS 領域のヒストリー収集**」(MASHIST) ビューには、CICS 領域の CICSplex SM ヒストリー・レコードの状況に関する情報が表示されます。ヒストリカル・タスク・データのサポートは、CICSplex SM リソース・モニターを基にしています。MTRAN というモニター・リソース・クラスと共にモニター定義をインストールして、ヒストリカル・タスク・データを保存する対象となるトランザクションの ID を指定する必要があります。また、VSAM データ・セットを定義し、DD カードを使用して MAS 領域に割り振り、所要のモニター機能パラメーターを設定する必要があります。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「ヒストリー・ビュー」 > 「ヒストリー・ビュー」 > 「タスク・ヒストリー・コレクション」

表 77. 提供された「MAS ヒストリー」(MASHIST) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
MAS ヒストリー EYUSTARTMASHIST.DETAILED	CICS 領域のヒストリー・レコードの現在状況に関する詳細情報
MAS ヒストリー EYUSTARTMASHIST.RESUME	CICS 領域用の CICSplex SM ヒストリー・レコードを再開します。CICS 領域のヒストリーの記録が現在中断状態にある場合、それが再開され、再度アクティブになります。
MAS ヒストリー EYUSTARTMASHIST.SUSPEND	CICS 領域用の CICSplex SM ヒストリー・レコードを中断します。その領域のヒストリーの記録を再開するアクションが実行されるまで、それ以上のヒストリカル・タスク・レコードは収集されません。
MAS ヒストリー EYUSTARTMASHIST.TABULAR	CICS 領域のヒストリー・レコードの現在状況に関するテーブル形式の情報

アクション

表 78. MASHIST ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
RESUME	CICS 領域用の CICSplex SM ヒストリー・レコードを再開します。CICS 領域のヒストリーの記録が現在中断状態にある場合、それが再開され、再度アクティブになります。
SUSPEND	CICS 領域用の CICSplex SM ヒストリー・レコードを中断します。その領域のヒストリーの記録を再開するアクションが実行されるまで、それ以上のヒストリカル・タスク・レコードは収集されません。

フィールド

表 79. MASHIST ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
現行データ・セットの接尾部	CDSSUF	CICS 領域のヒストリー・データが含まれる現在の VSAM KSDS データ・セットの接尾部
現在のデータ・セットにおけるレコード数	CRECCNT	現在のヒストリー・データ・セット内のレコード数。
現在のデータ・セットがラップされた回数	CWRAPCNT	現在のヒストリー・データ・セットがラップされた回数。 データ・セットは一杯になるとラップされます。
ヒストリー・データ・セットの数	HDSCOUNT	使用できるヒストリー・データ・セット数。
ヒストリー理由コード	REASON	<p>ヒストリー・データ・レコーダー・タスクからの理由コード。 値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IOERROR - EYUHISTx データ・セットからの読み取り中に予期しないエラーが発生しました。 原因として考えられるのは、ファイル定義に関する問題、または、MAS ヒストリー・レコーダー機能に関連する CICSplex SM EYUPARM への照会に関する問題です。 • INVALIDFILE - EYUHISTx データ・セットの 1 つ以上の属性を、MAS ヒストリー・レコーダー機能で受け入れることができません。 • OK - MAS ヒストリー・レコーダーは作動可能です。 • NOTAVAILABLE - MAS ヒストリー・レコーダーは、少なくとも 2 つの EYUHISTx ヒストリー・データ・セットがないと、ヒストリーを記録できるようになりません。
ヒストリー・レコーダー状況	STATUS	<p>ヒストリカル・データ・レコーダー・タスクが、以下のいずれかの状態にあるかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ACTIVE - MAS ヒストリー・レコーダーを使用してタスク・レコードを記録できます。 • INACTIVE - MAS ヒストリー・レコーダーを使用してタスク・レコードを記録することはできません。 • SUSPEND - MAS ヒストリー・レコーダーは、一時的にタスク・レコードを記録できなくなっています。 • SUSPENDING - MAS ヒストリー・レコーダーは、SUSPEND 状態に移行中です。 タスク・レコードは記録されなくなっています。 レコーダーが次のタスク・レコードを受け取ると、レコーダーの STATUS フィールドが SUSPEND に変わります。 • RESUMING - MAS ヒストリー・レコーダーは再度タスク・レコードの記録を開始しています。 レコーダーが次のタスク・レコードを受け取ると、レコーダーの STATUS フィールドが ACTIVE に変わります。
現行レコーダーのタスク ID	TASKNO	ヒストリー・レコーダー・タスクの ID。

CICSplex 認知の MAS - MAS

「**CICSplex 認知の MAS**」 (MAS) ビューは、CICSplex で認知されている MAS に関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「ヒストリー・ビュー」 > 「ヒストリー・ビュー」 > 「**CICSplex 認知の MAS**」

表 80. 提供された「CICSplex に既知の MAS」 (MAS) ビュー・セットのビュー	
ビュー	注
CICSplex 認知の MAS EYUSTARTMAS.CPSMDUMP	MAS、管理 CMAS、ESSS (Environmental Services Subsystem) アドレス・スペース、および選択されたコンポーネントのデータ・スペースを含む CICSplex SM 診断ダンプを取ります。

表 80. 提供された「CICSplex に既知の MAS」 (MAS) ビュー・セットのビュー (続き)	
ビュー	注
CICSplex 認知の MAS EYUSTARTMAS.DETAIL1	選択した MAS に関するリアルタイム分析詳細情報
CICSplex 認知の MAS EYUSTARTMAS.DETAIL2	選択した MAS に関するモニター詳細情報
CICSplex 認知の MAS EYUSTARTMAS.DETAILED	選択した MAS に関する詳細一般情報
CICSplex 認知の MAS EYUSTARTMAS.FORCEDISCON	MAS の ESSS 接続を強制終了します。注: アクティブ・システムに対して ForceDiscon が出された場合、異常終了が発生する可能性があります。ForceDiscon は、CICS システムとしてシステムが強制終了されたが、ESSS への接続が続いている場合にのみ使用します。ForceDiscon は、その前に StopUncon が出され、ESSS からシステムが強制終了されなかった場合にのみ使用します。
CICSplex 認知の MAS EYUSTARTMAS.SET	選択された MAS の属性を変更します。
CICSplex 認知の MAS EYUSTARTMAS.STOP	CICS システム内の MAS エージェント・コードを停止します。注: MAS がワークロード管理用のルーティング領域として機能し、DTR プログラムが EYU9XLOP である場合、MAS エージェント・コードを停止することはできません。
CICSplex 認知の MAS EYUSTARTMAS.STOPUNCON	CICS システム内の MAS エージェント・コードを停止します。注: MAS がワークロード管理用のルーティング領域として機能し、DTR プログラムが EYU9XLOP である場合、StopUncon が MAS エージェント・コードを停止します。それより後にルートが試行された場合、MAS 内で EYUO 異常終了が発生します。
CICSplex 認知の MAS EYUSTARTMAS.TABULAR	コンテキストと識別される CICSplex に関連したすべての MAS に関する表形式の情報

アクション

表 81. MAS ビューで使用可能なアクション	
意味	説明
CPSMDUMP	MAS、管理 CMAS、ESSS (Environmental Services Subsystem) アドレス・スペース、および選択されたコンポーネントのデータ・スペースを含む CICSplex SM 診断ダンプを取ります。
FORCEDISCON	MAS の ESSS 接続を強制終了します。注: アクティブ・システムに対して ForceDiscon が出された場合、異常終了が発生する可能性があります。ForceDiscon は、CICS システムとしてシステムが強制終了されたが、ESSS への接続が続いている場合にのみ使用します。ForceDiscon は、その前に StopUncon が出され、ESSS からシステムが強制終了されなかった場合にのみ使用します。
SET	選択された MAS の属性を変更します。
STOP	CICS システム内の MAS エージェント・コードを停止します。注: MAS がワークロード管理用のルーティング領域として機能し、DTR プログラムが EYU9XLOP である場合、MAS エージェント・コードを停止することはできません。
STOPUNCON	CICS システム内の MAS エージェント・コードを停止します。注: MAS がワークロード管理用のルーティング領域として機能し、DTR プログラムが EYU9XLOP である場合、StopUncon が MAS エージェント・コードを停止します。それより後にルートが試行された場合、MAS 内で EYUO 異常終了が発生します。

フィールド

表 82. MAS ビューのフィールド		
フィールド	属性名	説明
期間定義名	ACTVTIME	この CICS システムの実行時間を識別する期間定義の名前。
自動インストールの失敗アクション	AINSFAIL	指定された条件に関する通知を生成する時に使用するアクション定義の名前。分析仕様からアクション定義アクションを派生させるには、 inherit を指定します。
自動インストール要求タイプ	AUTOINST	リソース記述によりシステムに関連付けられたリソースを、MAS から CMAS への接続時に自動的にインストールするかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • ALWAYS - CICS の始動後に、MAS が接続するたびにリソースをインストールします。 • COLDONLY - CICS INITIAL または COLD スタート後に MAS が接続する際に限り、リソースをインストールします。 • NEVER - この CICS システムにリソースを自動的にインストールすることはありません。 • WARMONLY - CICS ウォーム・スタートまたは緊急時再始動 (AUTO) 後に MAS が接続する際に限り、リソースをインストールします。
ビジネス・アプリケーション・サービス (BAS) のトレース・フラグ	BASTRACE	ビジネス・アプリケーション・サービスのトレース・フラグの設定。 トレース・フラグの設定を変更するのは、 IBM システム・サポート・センタ の担当者が要請した場合に限られます。
RS サーバーの最下位層	BOTRSUPD	この属性は CICSplex SM シスプレックスの最適化されたワークロードに適用されます。MAS が以前のリリースのものであるために sysplex 最適化ワークロードがサポートされない場合、この値には 0 が入ります。この値を他の値に変更することはできません。 最適化されたワークロードをサポートする MAS のリリースであれば、次のヘルプ説明が適用されます。 シスプレックスの最適化ワークロードでは、この値はタスク・ロード・パーセンテージから 実際のタスク数に変換されます。その数は、最下位層のタスク・ロード範囲 (ゼロからこの値まで) を定義するために使用されます。 値の範囲は 1 から 25 まで、または INHERIT です。 <ul style="list-style-type: none"> • 値 INHERIT は、この CICS 領域の親 CICSplex 定義 (CPLEXDEF) オブジェクトのこの属性に指定されている値を割り当てることを意味します。これはこの属性のデフォルト設定です。 • 1 から 25 までの値が、領域の MAXTASKS 設定に対する比率として適用されます。0 からこの値までのタスク数の値が、タスク・ロード最下位層として 認識されます。領域のタスク・ロードがこの範囲に入ると、ロードの変更ごとにカップリング・ファシリティにブロードキャストされます。ロードがこの値に達すると、RS サーバー更新頻度のタスク規則が活動化されます。 デフォルト値は 1% です。この値をここで変更して、現行の CICS 領域に割り当てられた値を動的に変更することができます。変更をこの CICS 領域の再始動後に適用する場合、「CICS システム定義」パネルでもこの値を変更する必要があります。 この値を変更する場合は、変更がワークロードおよびカップリング・ファシリティのスループットに与える影響を考慮した上で行ってください。
キャッシュ・サービスのトレース・フラグ	CHETRACE	キャッシュ・サービスのトレース・フラグの設定。 トレース・フラグの設定を変更するのは、 IBM システム・サポート・センタ の担当者が要請した場合に限られます。
CICS システム名	CICSNAME	現在 CICSplex SM に認識されている CICS システムの名前。CICS システムが自分を CICSplex SM に認識させると、それは MAS と見なされます。
CICS 領域モニターのサンプリング間隔	CICSSAMP	指定されたモニター・タイプのサンプル・データを収集する要求があってからその次の要求が来るまで CICSplex SM が待機する秒数(1 から 86400 の範囲)。値 0 は、リソース・モニターが行われないという意味です。

表 82. MAS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
MAS の状況	CICSSTATE	<p>ACTIVE または INACTIVE の MAS の状況。CICSplex SM が管理できるのは、アクティブな MAS のみです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ACTIVE <ul style="list-style-type: none"> – CICS システムはアクティブで、CICSplex SM に接続されています。 • INACTIVE <ul style="list-style-type: none"> – CICS システムが非アクティブか、CICSplex SM に接続されていないか、あるいは MAS を管理する CMAS への通信がアクティブではありません。 <p>MAS は次の 2 つの理由のいずれかにより、非アクティブである可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 停止アクションを使用して、MAS エージェントを停止した。 • CICS システム自体が非アクティブだが、依然として認識されている。 <p>その他の有効なオプションには LOSTCONN、LOSTCMAS、および LOSTMAS があります。 注:</p> <p>このフィールドがブランクの場合は、MAS は一時的に非アクティブ状態とアクティブ状態の間にあります。</p>
CMAS 名	CMASNAME	指定された MAS の管理に参加している CMAS の名前。
コミュニケーションのトレース・フラグ	COMTRACE	<p>通信トレース・フラグの設定。</p> <p>トレース・フラグの設定を変更するのは、IBM システム・サポート・センターの担当者が要請した場合に限られます。</p>
接続モニターのサンプリング間隔	CONNSAMP	指定されたモニター・タイプのサンプル・データを収集する要求があつてからその次の要求が来るまで CICSplex SM が待機する秒数(1 から 86400 の範囲)。値 0 は、リソース・モニターが行われないという意味です。
MAS の CPSM バージョン	CPSMVER	現行 MAS の CICSplex SM バージョン。
データ・リポジトリ・サービスのトレース・フラグ	DATTRACE	<p>データ・リポジトリ・サービスのトレース・フラグの設定。</p> <p>トレース・フラグの設定を変更するのは、IBM システム・サポート・センターの担当者が要請した場合に限られます。</p>
夏時間調整が有効	DAYLIGHTSV	<p>夏時間調整を現在設定しているかどうかを示します。 以下のように指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YES - 夏時間を設定しています。 • NO - 夏時間を設定していません。 • INHERIT - この CICS システムの接続先の CMAS か、または CICS システムが非アクティブの場合は 1 次 CMAS に割り当てられた夏時間標識に割り当てられている値を使用します。 • N_A - 適用外。
DB2/DBCTRL モニターのサンプリング間隔	DBXSAMP	指定されたモニター・タイプのサンプル・データを収集する要求があつてからその次の要求が来るまで CICSplex SM が待機する秒数(1 から 86400 の範囲)。値 0 は、リソース・モニターが行われないという意味です。
CICS システム記述	DESC	CICS システムの説明。
ファイル・モニターのサンプリング間隔	FILESAMP	指定されたモニター・タイプのサンプル・データを収集する要求があつてからその次の要求が来るまで CICSplex SM が待機する秒数(1 から 86400 の範囲)。値 0 は、リソース・モニターが行われないという意味です。
グローバル領域モニターのサンプリング間隔	GLBLSAMP	指定されたモニター・タイプのサンプル・データを収集する要求があつてからその次の要求が来るまで CICSplex SM が待機する秒数(1 から 86400 の範囲)。値 0 は、リソース・モニターが行われないという意味です。
ホスト名	HOST	システムの 116 文字のホスト名 (例えば www.example.com)、またはその小数点付き 10 進数 IP アドレス (例えば 9.20.181.3)。これは IPIC SYSLINK 接続に使用されます。
ジャーナル・モニターのサンプリング間隔	JRNLSAMP	指定されたモニター・タイプのサンプル・データを収集する要求があつてからその次の要求が来るまで CICSplex SM が待機する秒数(1 から 86400 の範囲)。値 0 は、リソース・モニターが行われないという意味です。

表 82. MAS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
カーネル・リンケージのトレース・フラグ	KNLTRACE	カーネル・リンケージのトレース・フラグの設定。 トレース・フラグの設定を変更するのは、 IBM システム・サポート・センター の担当者が要請した場合に限られます。
MAS サービスのトレース・フラグ	MASTRACE	MAS サービスのトレース・フラグの設定。 トレース・フラグの設定を変更するのは、 IBM システム・サポート・センター の担当者が要請した場合に限られます。
MAS のタイプ	MASTYPE	MAS と指定された CMAS の間に存在する関係のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • LOCAL - MAS は CMAS と同じ MVS イメージ上にあり、CICSplex SM ESSS 機能を使用して CMAS と通信します。 • REMOTE - MAS はスタンドアロン CICS 領域です (SMSS)。 • N_A - MAS は現在アクティブではありません。タイプを判別できません。
Monitoring status (モニター状況)	MONSTATUS	この MAS 中でリソース・モニターがアクティブかどうかを示します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • YES <ul style="list-style-type: none"> – この MAS 中でリソース・モニターがアクティブです。 • NO <ul style="list-style-type: none"> – この MAS 中でリソース・モニターが非アクティブです。MAS の初期化が行われたばかりか、またはモニターがオンになるよう更新された場合は、モニターが完全に初期化されるまでこの値が表示されます。 • N_A <ul style="list-style-type: none"> – MAS はその CMAS に接続されていません (「MAS の状況」フィールドに INACTIVE と表示されます)。 • FORCE <ul style="list-style-type: none"> – リソース・モニターを、それがリアルタイム分析で使用されている場合でも停止します。すべてのリソース・モニターが停止されます。評価定義によってモニター・テーブル・リソースが指定されている場合、その評価定義は非アクティブになります。 <p>注: モニターを完全に初期化するには、MAS とモニターの指定を関連付ける必要があります。</p>
メッセージ・サービスのトレース・フラグ	MSGTRACE	メッセージ・サービスのトレース・フラグの設定。 トレース・フラグの設定を変更するのは、 IBM システム・サポート・センター の担当者が要請した場合に限られます。
CICS 最大タスク到達イベントに対するアクション	MXTACTION	指定された条件に関する通知を生成する時に使用するアクション定義の名前。分析仕様からアクション定義アクションを派生させるには、 inherit を指定します。
CICS 最大タスク数到達イベントの重大度	MXTSEV	名前指定された条件に関連した重大度レベル。重大度コードは VLS、LS、LW、HW、HS、または VHS です。この条件をモニターから除外するには、N_A を指定してください。
ネットワーク ID	NETWORKID	システムのネットワーク ID。NETWORKID は、APPLID オプションと組み合わせて使用され、IPIC を介して接続中のシステムで固有の名前が使われるようにします。これは IPIC SYSLINK 接続に使用されます。
無応答 MAS イベントに対するアクション	NRMACTION	指定された条件に関する通知を生成する時に使用するアクション定義の名前。分析仕様からアクション定義アクションを派生させるには、 inherit を指定します。
無応答 MAS イベントの重大度	NRMSEV	名前指定された条件に関連した重大度レベル。重大度コードは VLS、LS、LW、HW、HS、または VHS です。この条件をモニターから除外するには、N_A を指定してください。
ポート番号	PORT	この IPIC 接続上のアウトバウンド要求で 사용되는ポート番号を指定する 1 から 65535 までの範囲の 10 進数。つまり、リモート・システムが listen する対象であるポートの番号。これは IPIC SYSLINK 接続に使用されます。

表 82. MAS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
1 次 CMAS 名	PRICMAS	この CICS システムの可用性をモニターするタスクを割り当てられている CMAS の名前。
プログラム・モニターのサンプル リング間隔	PROGSAMP	指定されたモニター・タイプのサンプル・データを収集する要求があつてからその次の要求が来るまで CICSplex SM が待機する秒数(1 から 86400 の範囲)。値 0 は、リソース・モニターが行われなかったという意味です。
キュー・サービスのトレース・ フラグ	QUETRACE	キュー・サービスのトレース・フラグの設定。 トレース・フラグの設定を変更するのは、 IBM システム・サポート・センターの担当者が要請した場合に限られます。
RS サーバー読み取り間隔	READRS	<p>この属性は CICSplex SM シスプレックスの最適化されたワークロードに適用されます。MAS が以前のリリースのものであるために Sysplex 最適化ワークロードがサポートされない場合、この値には 0 が入ります。この値を他の値に変更することはできません。</p> <p>最適化されたワークロードをサポートする MAS のリリースであれば、次のヘルプ説明が適用されます。</p> <p>最適化モードで実行されるワークロードにおいて、この値は、ルーティング領域が CICS CFDT サーバーから要求する領域状況の最新表示の最小間隔を指定します。これは、この CICS 領域で使用される現行値です。</p> <p>値の範囲は 0 から 2000 で、ミリ秒単位で示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 値 0 を使用すると、対象領域の状況を確認するたびにその状況を更新するように、ルーティング領域から要求されます。 1 から 2000 までの値は、この領域の状況データを最新表示する前に経過する必要のある最小時間(ミリ秒)を指定します。 <p>小さい値は、大きい値の場合よりも頻繁に RS サーバーのターゲットの状況がルーターによって更新されることを意味します。ワークロードが QUEUE モードにある場合は、この値を設定することで、ワークロードの対象有効範囲内の CICS 領域全体にタスク・ロードがより均等に分散されます (他の正常性および関連する要因がすべて同等であると仮定した場合)。しかし、RS サーバーの使用率がそれに対応して増加し、その結果 カップリング・ファシリティの 使用率が増加することがあります。</p> <p>値 1000 は 1 秒の間隔を表します。デフォルト値は 200 ミリ秒です。</p> <p>この値をここで変更して、現行の CICS 領域に割り当てられた値を動的に変更することができます。変更をこの CICS 領域の再始動後に適用する場合、「CICS システム定義」パネルでもこの値を変更する必要があります。</p>
データ保存期間のモニター	RETENTION	<p>収集されたデータがリソース・モニターの停止後に保持される分数。(リソース・モニターが停止するのは、CICS システムの停止時か、MAS ビュー・コマンドを使用して CICS システムのリソース・モニターを停止する場合です。) 可能な保存期間は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 - 1440 <ul style="list-style-type: none"> 収集されたデータは、指定された分数だけ保持されます。 0 <ul style="list-style-type: none"> 収集されたデータは保持されません。

表 82. MAS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
リアルタイム分析状況	RTASTATUS	<p>この MAS 中でリアルタイム分析(RTA)がアクティブかどうかを示します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YES <ul style="list-style-type: none"> – システム使用可能性モニターおよび MAS リソース・モニターはアクティブです。 • NO <ul style="list-style-type: none"> – RTA モニターはアクティブにはなりません。MAS の初期化が行われたばかりか、または分析がオンになるよう更新された場合は、RTA が完全に初期化されるまで NO が表示されます。 • SAM <ul style="list-style-type: none"> – システム使用可能性モニターがアクティブです。 • MRM <ul style="list-style-type: none"> – MAS リソース・モニターがアクティブです。 • N_A <ul style="list-style-type: none"> – MAS はその CMAS に接続されていません (「MAS の状況」フィールドに INACTIVE と表示されます)。 <p>注: リアルタイム分析を完全に初期化するには、MAS とリアルタイム分析の指定を関連付ける必要があります。</p>
リアルタイム分析 (RTA) のトレース・フラグ	RTATRACE	<p>リアルタイム分析のトレース・フラグの設定。</p> <p>トレース・フラグの設定を変更するのは、IBM システム・サポート・センターの担当者が要請した場合に限られます。</p>
システム使用可能性モニター・イベントに対するアクション	SAMACTION	<p>指定された条件に関する通知を生成する時に使用するアクション定義の名前。分析仕様からアクション定義アクションを派生させるには、inherit を指定します。</p>
システム使用可能性モニター・イベントの重大度	SAMSEV	<p>名前指定された条件に関連した重大度レベル。重大度コードは VLS、LS、LW、HW、HS、または VHS です。この条件をモニターから除外するには、N_A を指定してください。</p>
システム・ダンプ・イベントに対するアクション	SDMACTION	<p>指定された条件に関する通知を生成する時に使用するアクション定義の名前。分析仕様からアクション定義アクションを派生させるには、inherit を指定します。</p>
システム・ダンプ・イベントの重大度	SDMSEV	<p>名前指定された条件に関連した重大度レベル。重大度コードは VLS、LS、LW、HW、HS、または VHS です。この条件をモニターから除外するには、N_A を指定してください。</p>
シミュレート・セキュリティの免除チェック	SECBYPASS	<p>この CICS システムに関するすべてのシミュレートされた CICS セキュリティー検査を迂回するかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YES - この CICS システムに関するすべてのシミュレートされた CICS セキュリティー検査を迂回します。 • NO - この CICS システムに関するシミュレートされた CICS セキュリティー検査を迂回しません。 • INHERIT (アスタリスク) - この CICS システムに関連した CICSplex に割り当てられている値を使用します。 • N_A - 適用外。
シミュレート・セキュリティのコマンド・チェック	SECCMDCHK	<p>CICSplex SM セキュリティー検査がこの CICS システムに関する CICS コマンド検査をシミュレートするかどうかを示します。以下のように指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YES - この CICS システムに関する CICS セキュリティー検査をシミュレートします。 • NO - この CICS システムに関する CICS セキュリティー検査をシミュレートしません。 • INHERIT - この CICS システムに関連した CICSplex に割り当てられている値を使用します。 • N_A - 適用外。

表 82. MAS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
シミュレート・セキュリティのリソース・チェック	SECRESCHK	<p>CICSplex SM セキュリティ検査がこの CICS システムに関する CICS コマンド検査をシミュレートするかどうかを示します。以下のように指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YES - この CICS システムに関する CICS セキュリティ検査をシミュレートします。 • NO - この CICS システムに関する CICS セキュリティ検査をシミュレートしません。 • INHERIT (アスタリスク) - この CICS システムに関連した CICSplex に割り当てられている値を使用します。
ストレージ不足 (SOS) イベントに対するアクション	SOSACTION	指定された条件に関する通知を生成する時に使用するアクション定義の名前。分析仕様からアクション定義アクションを派生させるには、 inherit を指定します。
ストレージ不足 (SOS) イベントの重大度	SOSSEV	名前指定された条件に関連した重大度レベル。重大度コードは VLS、LS、LW、HW、HS、または VHS です。この条件をモニターから除外するには、N_A を指定してください。
共通サービスのトレース・フラグ	SRVTRACE	<p>外部サービスのトレース・フラグの設定。</p> <p>トレース・フラグの設定を変更するのは、IBM システム・サポート・センターの担当者が要請した場合に限られます。</p>
CICS 停止イベントに対するアクション	STLACTION	指定された条件に関する通知を生成する時に使用するアクション定義の名前。分析仕様からアクション定義アクションを派生させるには、 inherit を指定します。
CICS 停止イベントの重大度	STLSEV	名前指定された条件に関連した重大度レベル。重大度コードは VLS、LS、LW、HW、HS、または VHS です。この条件をモニターから除外するには、N_A を指定してください。
トランザクション・ダンプ・イベントに対するアクション	TDMACTION	指定された条件に関する通知を生成する時に使用するアクション定義の名前。分析仕様からアクション定義アクションを派生させるには、 inherit を指定します。
トランザクション・ダンプ・イベントの重大度	TDMSEV	名前指定された条件に関連した重大度レベル。重大度コードは VLS、LS、LW、HW、HS、または VHS です。この条件をモニターから除外するには、N_A を指定してください。
TDQ モニターのサンプリング間隔	TDQSAMP	指定されたモニター・タイプのサンプル・データを収集する要求があつてからその次の要求が来るまで CICSplex SM が待機する秒数(1 から 86400 の範囲)。値 0 は、リソース・モニターが行われなかったという意味です。
端末モニターのサンプリング間隔	TERMSAMP	指定されたモニター・タイプのサンプル・データを収集する要求があつてからその次の要求が来るまで CICSplex SM が待機する秒数(1 から 86400 の範囲)。値 0 は、リソース・モニターが行われなかったという意味です。
時間帯	TMEZONE	<p>この CICS システムが置かれている時間帯。以下のように指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • B から Z までの範囲のコード。 • INHERIT - この CICS システムの接続先の CMAS か、または CICS システムが非アクティブの場合は 1 次 CMAS に割り当てられた時間帯オフセットを継承します。 <p>注: いずれか 1 つの時刻フィールドに * (アスタリスク) を指定する場合は、3 つの時刻フィールドすべてにアスタリスクを指定しなければなりません。</p>
時間帯オフセット	TMEZONEO	<p>計算対象の時刻に適用される調整値。この値は、標準時間帯を使用しない地域において時間参照を解決するために使用されます。以下のように指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0 から 59 までの間の値 - この時間帯の場合 (標準的な時間帯を使用しない地域の場合) に時刻に追加する分数を示します。 • INHERIT - この CICS システムの接続先の CMAS か、または CICS システムが非アクティブの場合は 1 次 CMAS に割り当てられた時間帯オフセットを継承します。

表 82. MAS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
RS サーバーの最上位層	TOPRSUPD	<p>この属性は CICSplex SM シスプレックスの最適化されたワークロードに適用されます。MAS が以前のリリースのものであるために sysplex 最適化ワークロードがサポートされない場合、この値には 0 が入ります。この値を他の値に変更することはできません。</p> <p>最適化されたワークロードをサポートする MAS のリリースであれば、次のヘルプ説明が適用されます。</p> <p>シスプレックスの最適化ワークロードでは、この値はタスク・ロード・パーセンテージから 実際のタスク数に変換されます。その数は、領域の MAXTASK 値から減算されて、最上位層のタスク・ロード範囲を決定します。</p> <p>値の範囲は 1 から 25 まで、または INHERIT です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 値 INHERIT は、この CICS 領域の親 CICSplex 定義 (CPLEXDEF) オブジェクトのこの属性に指定されている値を割り当てることを意味します。これはこの属性のデフォルト設定です。 1 から 25 までの値が、領域の MAXTASKS 設定に対する比率として適用されます。結果として得られたタスク数値は 領域の MAXTASKS 設定値から減算されて、タスク・ロードの最上位層を設定します。領域内のタスク・ロードが MAXTASKS 制限に達した場合は、タスク・ロードがこの値を下回るまで、領域の MAXTASKS 状態はオフに切り替わらず、カップリング・ファシリティーにもブロードキャストされません。 <p>デフォルト値は 5% です。この値をここで変更して、現行の CICS 領域に割り当てられた値を動的に変更することができます。変更をこの CICS 領域の再始動後に適用する場合、「CICS システム定義」パネルでもこの値を変更する必要があります。</p> <p>この値を変更する場合は、変更がワークロードおよびカップリング・ファシリティーのスループットに与える影響を考慮した上で行ってください。</p>
トポロジーのトレース・フラグ	TOPTRACE	<p>トポロジーのトレース・フラグの設定。</p> <p>トレース・フラグの設定を変更するのは、IBM システム・サポート・センターの担当者が要請した場合に限られます。</p>
トランザクション・モニターのサンプリング間隔	TRANSAMP	<p>指定されたモニター・タイプのサンプル・データを収集する要求があつてからその次の要求が来るまで CICSplex SM が待機する秒数(1 から 86400 の範囲)。値 0 は、リソース・モニターが行われなかったという意味です。</p>
トレース・サービスのトレース・フラグ	TRATRACE	<p>トレース・サービスのトレース・フラグの設定。</p> <p>トレース・フラグの設定を変更するのは、IBM システム・サポート・センターの担当者が要請した場合に限られます。</p>

表 82. MAS ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
RS サーバー 更新頻度	UPDATERS	<p>この属性は CICSplex SM シスプレックスの最適化されたワークロードに適用されます。MAS が以前のリリースのものであるために sysplex 最適化ワークロードがサポートされない場合、この値には 0 が入ります。この値を他の値に変更することはできません。</p> <p>最適化されたワークロードをサポートする MAS のリリースであれば、次のヘルプ説明が適用されます。</p> <p>最適化モードで実行されるワークロードにおいて、この値は、ターゲット CICS 領域内の タスク・ロード値を変更するために CICS CFDT (RS) サーバーを呼び出す 頻度を示します。これは、この CICS 領域で使用される現行値です。</p> <p>値の範囲は 0 から 25 です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 値が 0 の場合、タスク・ロード数が増えられても、RS サーバーには通知されないため、この CICS 領域に対して最適化されたワークロード機能が無効になります。 • 1 から 25 までの値が、領域の MAXTASKS 設定に対する比率として適用されます。その結果のタスク数の値が、RS サーバーへの更新呼び出しを行うための数値しきい値として使用されます。 <p>例えば、MAXTASKS 設定が 120 でこの属性が 20 に設定されている場合、領域タスク・カウントが以下のように変わるときに、WLM ロード・カウントを更新するよう RS サーバーが呼び出されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • タスク 23 と 24 (20%) • タスク 47 と 48 (40%) • タスク 71 と 72 (60%) • タスク 95 と 96 (80%) • タスク 119 と 120 (100%) <p>RS サーバーは、領域のタスク・ロードがこれらの境界をまたいで増加または減少したときに更新されます。</p> <p>1 から 25 スケールのうちの小さい値を指定すると、タスク・ロード範囲全体を通して RS サーバーを更新する頻度が増します。ワークロードが QUEUE モードにある場合は、この値を設定することで、ワークロードの対象有効範囲内の CICS 領域全体にタスク・ロードがより均等に分散されます (他の正常性および関連する要因がすべて同等であると仮定した場合)。しかし、RS サーバーの使用率がそれに対応して増加し、その結果カップリング・ファシリティの使用率が増加することがあります。</p> <p>この値をここで変更して、現行の CICS 領域に割り当てられた値を動的に変更することができます。変更をこの CICS 領域の再起動後に適用する場合、「CICS システム定義」パネルでもこの値を変更する必要があります。</p>
WLM 最適化の使用可能化	WLMOPTEN	<p>この属性は、最適化されたワークロード・ルーティングが使用可能かどうかを示します。</p> <p>ENABLED に設定すると、この領域で最適化されたワークロード管理を使用できます。</p> <p>この属性を DISABLED に設定すると、最適化されたワークロード管理は抑止されます。</p> <p>値を変更して、現行の CICS 領域に割り当てられた値を動的に変更することができます。CICS の再起動後に、この変更内容をこの CICS 領域に適用する場合は、CICS システム定義パネルでもこの値を変更する必要があります。</p>

表 82. MAS ビューのフィールド (続き)		
フィールド	属性名	説明
タスク・ロード・キュー・モード	WLMQMODE	<p>この属性は CICSplex SM ワークロード・マネージャーで使用され、ターゲット領域に適用されます。この値によって、ターゲット CICS 領域のキューに入れられたタスク・ロードの評価方法を次のように指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • MAXTASK - アクティブ・タスクおよび MAXTASK のキューに入れられたタスクの両方が、領域のタスク・ロード評価に含まれること指定します。 • ALL - アクティブ・タスク、MAXTASK 限界のキューに入ったタスク、および TRANCLASS 限界のためにキューに入ったタスクを領域のタスク・ロード評価に含めることを指定します。 <p>デフォルト値は ALL です。</p> <p>この値に N_A が指定されていると、現在の MAS の CICS リリースがこの機能を十分にサポートしていないため、他の値に変更することはできません。</p> <p>この値をここで変更して、現行の CICS 領域に割り当てられた値を動的に変更することができます。変更をこの CICS 領域の再始動後に適用する場合、「CICS システム定義」パネルでもこの値を変更する必要があります。</p>
ワークロード・マネージャー状況	WLMSTATUS	<p>この MAS 中でワークロード・マネージャー (WLM) がアクティブかどうかを示します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YES <ul style="list-style-type: none"> – この MAS 中でワークロード・マネージャー (WLM) がアクティブです。 • NO <ul style="list-style-type: none"> – この MAS 中でワークロード・マネージャー (WLM) が非アクティブです。MAS の初期化が行われたばかりか、またはワークロード管理がオンになるよう更新された場合は、WLM が完全に初期化されるまでこの値が表示されます。 • N_A <ul style="list-style-type: none"> – MAS はその CMAS に接続されていません (「MAS の状況」フィールドに INACTIVE と表示されます)。 <p>注: ワークロード・マネージャーを完全に初期化するには、MAS とワークロード・マネージャーの指定を関連付ける必要があります。</p>
タスク・ロード・ヘルスしい値	WLMTHRSH	<p>この属性は CICSplex SM ワークロード・マネージャーが使用します。現在の領域タスク・ロードの比率しい値を指定します。これは現在のタスク数を最大タスク数で割ることで算出されます。ターゲット領域のロードがこのしい値に達すると、WLM はその領域の正常性がやや損なわれたと見なします。これによって、この領域の評価時に、より高いリンク重みが WLM ルーティング・アルゴリズムに適用されます。</p> <p>ターゲット 有効範囲に、ルーターに対するローカル領域および リモート領域が含まれる場合、WLM はリモート領域よりもローカル領域を優先します。この属性の効果は、ローカル領域のこのロードしい値に達した場合、WLM がリモート・ターゲットを代わりに 優先するようになることです。スコープ内のすべてのターゲットがこのロードしい値に達すると、WLM は再びローカルのターゲットを優先するようになります。</p> <p>値の範囲は 1 から 100 で、デフォルト値は 60 です。この値に 0 が指定される場合、現行の MAS は以前の CICS リリースのものであるためにこの機能をサポートすることができません。この値を他の値に変更することはできません。</p> <p>注: この値は、リンク中立な動的ルーティング要求のルーティング要因に適用されると、ヌルになります。LNQUEUE アルゴリズムと LINGOAL アルゴリズムでは、リンク・ウェイト自体が無視されるからです。</p> <p>この値をここで変更して、現行の CICS 領域に割り当てられた値を動的に変更することができます。変更をこの CICS 領域の再始動後に適用する場合、「CICS システム定義」パネルでもこの値を変更する必要があります。</p>
ワークロード管理のトレース・フラグ	WLMTRACE	<p>ワークロード管理のトレース・フラグの設定。</p> <p>トレース・フラグの設定を変更するのは、IBM システム・サポート・センタの担当者が要請した場合に限られます。</p>

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料の他の言語版を IBM から入手できる場合があります。ただし、これを入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。IBM 製品、プログラムまたはサービスに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができません。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様自身の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Director of Licensing

IBM Corporation

North Castle Drive, MD-NC119 Armonk,

NY 10504-1785

United States of America

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関す

る実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名前はすべて架空のものであり、類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

プログラミング・インターフェース情報

CICS には、プログラミング・インターフェースと見なすことのできる資料と、プログラミング・インターフェースと見なすことのできない資料があります。

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 6 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが含まれています。

- [アプリケーションの開発](#)
- [システム・プログラムの開発](#)
- [CICS TS セキュリティー](#)
- [外部インターフェースに向けた開発](#)
- [アプリケーション開発のリファレンス](#)
- [リファレンス: システム・プログラミング](#)
- [リファレンス: 接続](#)

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 6 のプログラミング・インターフェースとして意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が含まれています。

- [トラブルシューティングおよびサポート](#)
- [CICS TS 診断参照](#)

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 6 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが以下のマニュアルに含まれています。

- [アプリケーション・プログラミング・ガイドおよびアプリケーション・プログラミング・リファレンス](#)
- [Business Transaction Services](#)
- [Customization Guide](#)
- [C++ OO Class Libraries](#)
- [Debugging Tools Interfaces Reference](#)
- [Distributed Transaction Programming Guide](#)
- [External Interfaces Guide](#)
- [Front End Programming Interface Guide](#)

- IMS Database Control Guide
- インストール・ガイド
- セキュリティー・ガイド
- Supplied Transactions
- CICSplex SM Managing Workloads
- CICSplex SM Managing Resource Usage
- CICSplex SM アプリケーション・プログラミング・ガイドおよび CICSplex SM アプリケーション・プログラミング・リファレンス
- CICS における Java™ アプリケーション

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 6 のプログラミング・インターフェースとして 意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が以下のマニュアルに含まれています。

- Data Areas
- Diagnosis Reference
- Problem Determination Guide
- CICSplex SM Problem Determination Guide

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com® は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用範囲

IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商用使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

権利

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM これらの資料の内容 についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態 で提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品 (ソフトウェア・オファリング) では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース (メイン・インターフェース) の場合:

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース (データ・インターフェース) の場合:

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名またはその他の個人情報を、セッションごとの Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース (「Hello World」ページ) の場合:

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、個人情報を収集しないセッションごとの Cookie を使用する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICS Explorer® の場合:

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの設定および持続的な設定を使用して収集する場合があります。これらの設定を無効にすることはできませんが、ユーザー・パスワードの暗号化形式でのディスクへの保管は、サインオン中にチェック・ボックスにチェック・マークを付けることによるユーザーの明示的な操作によってのみ有効化することができます。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』 (<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビー

コン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』 (<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。
なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

「アクティブ・モニターの仕様」ビュー
一般 (POLMON) [3](#)
「一時記憶域のモニター・データ」ビュー
一般 (MTSQGBL) [33](#), [39](#)

[カ行]

「間接一時データ・キューのモニター・データ」ビュー
一般 (MINDTDQ) [55](#)
「管理対象データ・テーブルのモニター・データ」ビュー
一般 (MCMMDT) [20](#)
「完了したタスク (ヒストリー)」ビュー
一般 (HTASK) [61](#)
「区画外一時データ・キューのモニター・データ」ビュー
一般 (MXTRATDQ) [59](#)
「区画内一時データ・キューのモニター・データ」ビュー
一般 (MNTRATDQ) [56](#)
一般 (MTDQGBL) [31](#)

[サ行]

「ジャーナルのモニター・データ」ビュー
一般 (MJRNLNAM) [36](#)

[タ行]

「端末のモニター・データ」ビュー
一般 (MTERMNL) [42](#)
「トランザクション・クラスのモニター・データ」ビュー
一般 (MTRANCLS) [10](#)

[ハ行]

「プログラムのモニター・データ」ビュー
一般 (MPROGRAM) [37](#)

[マ行]

モニター・データ
タイプ [1](#)

[ラ行]

リソースのモニター
説明 [1](#)
リソース・モニター
説明 [1](#)
「リモート一時データ・キューのモニター・データ」ビュー
一般 (MREMTDQ) [58](#)
「リモート・トランザクションのモニター・データ」ビュー
一般 (MREMTRAN) [54](#)

「リモート・ファイルのモニター・データ」ビュー
一般 (MREMFIL) [25](#)
「ローカル・ファイルのモニター・データ」ビュー
一般 (MLOCFILE) [23](#)
「ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ」
ビュー
一般 (MLOCTRAN) [44](#)

C

「CICS 領域のモニター・データ」ビュー
一般 (MCICSRGN) [6](#)
「CICSplex 認知の MAS」ビュー
一般 (MAS) [86](#)

D

「DB2 スレッドのモニター・データ」ビュー
一般 (MDB2THRD) [16](#)
「DSA のモニター・データ」ビュー
一般 (MCICSDSA) [4](#)

F

「FEPI 接続のモニター・データ」ビュー
一般 (MFEPICON) [18](#)

H

HTASK ビュー [61](#)

I

「ISC/MRO 接続のモニター・データ」ビュー
一般 (MCONNECT) [12](#)

L

「LSR プールのモニター・データ」ビュー
一般 (MLSRPOOL) [28](#)
「LSR プール・バッファのモニター・データ」ビュー
一般 (MLSRPBUF) [27](#)
「LU 6.2 モード名のモニター・データ」ビュー
一般 (MMODNAME) [15](#)

M

MAS ヒストリー・ビュー
一般 (MASHIST) [85](#)
MAS ビュー [86](#)
MASHIST ビュー [85](#)
MCICSDSA ビュー [4](#)
MCICSRGN ビュー [6](#)
MCMMDT ビュー [20](#)
MCONNECT ビュー [12](#)

MDB2THRD ビュー [16](#)
MFEPICON ビュー [18](#)
MINDTDQ ビュー [55](#)
MJRNLNAM ビュー [36](#)
MLOCFILE ビュー [23](#)
MLOCTRAN ビュー [44](#)
MLSRPBUF ビュー [27](#)
MLSRPOOL ビュー [28](#)
MMODNAME ビュー [15](#)
MNTRATDQ ビュー [56](#)
MONITOR ビュー
説明 [1](#)
MPROGRAM ビュー [37](#)
MREMFILE ビュー [25](#)
MREMTDQ ビュー [58](#)
MREMTRAN ビュー [54](#)
MTDQGBL ビュー [31](#)
MTERMNL ビュー [42](#)
MTRANCLS ビュー [10](#)
MTSQGBL ビュー [33, 39](#)
MXTRATDQ ビュー [59](#)

P

POLMON ビュー [3](#)

W

Web ユーザー・インターフェース [v](#)

